

(様式第 10)

熊大病医事第 164 号  
平成 30 年

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人熊本大学長  
原田 信

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

|     |   |
|-----|---|
| 住 所 | 〒 8 6 0 - 8 5 5 5 熊本市中央区黒髪 2 丁目 3 9 番 1 号 |
| 氏 名 | 国立大学法人熊本大学                                |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

|             |
|-------------|
| 熊本大学医学部附属病院 |
|-------------|

3 所在の場所

|  |                            |
|--|----------------------------|
| 〒 8 6 0 - 8 5 5 6<br>熊本市中央区本荘 1 丁目 1 番 1 号 | 電話 (0 9 6) 3 4 2 - 2 1 1 1 |
|--|----------------------------|

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

|   |
|---|
| <p>① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p> |
|---|

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

| 内科             | 有                    | 無      |
|----------------|----------------------|--------|
| 内科と組み合わせた診療科名等 |                      |        |
| ①呼吸器内科         | ②消化器内科               | ③循環器内科 |
| 5神経内科          | ⑥血液内科                | 7内分泌内科 |
| 9感染症内科         | 10アレルギー疾患内科またはアレルギー科 | ④腎臓内科  |
|                |                      | ⑧代謝内科  |
|                |                      | ⑩リウマチ科 |
| 診療実績           |                      |        |

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

|  |         |
|--|---------|
| 外科   | (有) ・ 無 |
| 外科と組み合わせた診療科名<br><input checked="" type="checkbox"/> 1呼吸器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 2消化器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 3乳腺外科      4心臓外科<br>5血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 6心臓血管外科      7内分泌外科 <input checked="" type="checkbox"/> 8小児外科 |         |
| 診療実績   |         |

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

|  |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1精神科 <input checked="" type="checkbox"/> 2小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 4脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科 <input checked="" type="checkbox"/> 7産婦人科<br>8産科    9婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 10眼科 <input checked="" type="checkbox"/> 11耳鼻咽喉科    12放射線科 <input checked="" type="checkbox"/> 13放射線診断科<br><input checked="" type="checkbox"/> 14放射線治療科 <input checked="" type="checkbox"/> 15麻酔科 <input checked="" type="checkbox"/> 16救急科 |
|--|

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

|   |         |
|---|---------|
| 歯科  | (有) ・ 無 |
| 歯科と組み合わせた診療科名<br>1小児歯科    2矯正歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 3口腔外科 |         |
| 歯科の診療体制   |         |

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

|        |       |       |             |        |    |    |
|--------|-------|-------|-------------|--------|----|----|
| 1脳神経内科 | 2移植外科 | 3形成外科 | 4リハビリテーション科 | 5病理診断科 | 6  | 7  |
| 8      | 9     | 10    | 11          | 12     | 13 | 14 |
| 15     | 16    | 17    | 18          | 19     | 20 | 21 |

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

|     |     |    |    |      |      |
|-----|-----|----|----|------|------|
| 精神  | 感染症 | 結核 | 療養 | 一般   | 合計   |
| 50床 | 床   | 床  | 床  | 798床 | 848床 |

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職 種   | 常 勤  | 非常勤  | 合 計    | 職 種     | 員 数 | 職 種         | 員 数  |
|-------|------|------|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医 師   | 298人 | 308人 | 502.2人 | 看護補助者   | 26人 | 診療エックス線技師   | 0人   |
| 歯科医師  | 7人   | 24人  | 24.3人  | 理学療法士   | 17人 | 臨床検査技師      | 68人  |
| 薬剤師   | 67人  | 0人   | 67人    | 作業療法士   | 9人  | 衛生検査技師      | 0人   |
| 保健師   | 0人   | 0人   | 0人     | 視能訓練士   | 6人  | その他         | 0人   |
| 助産師   | 29人  | 1人   | 29.7人  | 義肢装具士   | 0人  | あん摩マッサージ指圧師 | 0人   |
| 看護師   | 761人 | 49人  | 797.3人 | 臨床工学士   | 20人 | 医療社会事業従事者   | 5人   |
| 准看護師  | 0人   | 0人   | 0人     | 栄養士     | 0人  | その他の技術員     | 18人  |
| 歯科衛生士 | 2人   | 0人   | 2人     | 歯科技工士   | 1人  | 事務職員        | 250人 |
| 管理栄養士 | 9人   | 1人   | 9.8人   | 診療放射線技師 | 46人 | その他の職員      | 52人  |

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

| 専門医名    | 人 数 | 専門医名     | 人 数  |
|---------|-----|----------|------|
| 総合内科専門医 | 60人 | 眼科専門医    | 8人   |
| 外科専門医   | 59人 | 耳鼻咽喉科専門医 | 10人  |
| 精神科専門医  | 7人  | 放射線科専門医  | 23人  |
| 小児科専門医  | 30人 | 脳神経外科専門医 | 15人  |
| 皮膚科専門医  | 12人 | 整形外科専門医  | 22人  |
| 泌尿器科専門医 | 10人 | 麻酔科専門医   | 18人  |
| 産婦人科専門医 | 23人 | 救急科専門医   | 7人   |
|         |     | 合 計      | 304人 |

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 谷原 秀信 ) 任命年月日 平成30年4月1日

平成25年4月～平成27年3月まで、医療安全管理委員会委員長(熊本大学医学部附属病院病院長)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外     | 歯科等    | 合計        |
|--------------|-----------|--------|-----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 674.5人    | 21.82人 | 696.32人   |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,408.36人 | 89.53人 | 1,497.89人 |
| 1日当たり平均調剤数   | 804.89剤   |        |           |
| 必要医師数        | 154.73人   |        |           |
| 必要歯科医師数      | 8人        |        |           |
| 必要薬剤師数       | 24人       |        |           |
| 必要(准)看護師数    | 401人      |        |           |

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

| 施設名      | 床面積  | 主要構造 | 設備         | 概要                         |         |            |
|----------|--|------|------------|----------------------------|---------|------------|
| 集中治療室    | 883 m <sup>2</sup>                                 | SR   | 病床数        | 30床                        | 心電計     | (有)・無      |
|          |  |      | 人工呼吸装置     | (有)・無                      | 心細動除去装置 | (有)・無      |
|          |  |      | その他の救急蘇生装置 | (有)・無                      | ペースメーカー | (有)・無      |
| 無菌病室等    | [固定式の場合] 床面積 246 m <sup>2</sup><br>[移動式の場合] 台数 21台 |      |            | 病床数                        | 16床     |            |
| 医薬品情報管理室 | [専用室の場合] 床積 53 m <sup>2</sup><br>[共用室の場合] 共用する室名   |      |            |                            |         |            |
| 化学検査室    | 591m <sup>2</sup>                                  | SR   | (主な設備)     | 汎用自動分析装置、電解質測定装置、HbA1c分析装置 |         |            |
| 細菌検査室    | 137m <sup>2</sup>                                  | SR   | (主な設備)     | 自動塗布装置、薬剤感受性装置、自動染色装置      |         |            |
| 病理検査室    | 446m <sup>2</sup>                                  | SR   | (主な設備)     | 自動固定包埋装置、自動染色装置、凍結切片作成装置   |         |            |
| 病理解剖室    | 187m <sup>2</sup>                                  | SR   | (主な設備)     | 病理解剖台、臓器写真撮影装置、オートクレーブ     |         |            |
| 研究室      | 133m <sup>2</sup>                                  | SR   | (主な設備)     | クリオスタット、遠心機、オートクレーブ        |         |            |
| 講義室      | 1,126m <sup>2</sup>                                | SR   | 室数         | 5室                         | 収容定員    | 828人       |
| 図書室      | 2,524m <sup>2</sup>                                | SR   | 室数         | 2室                         | 蔵書数     | 177,000冊程度 |

(注)1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

|      |                        |      |         |
|------|------------------------|------|---------|
| 紹介率  | 94.1%                  | 逆紹介率 | 83.8%   |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数              |      | 15,698人 |
|      | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数  |      | 15,173人 |
|      | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 |      | 1,326人  |
|      | D: 初診の患者の数             |      | 18,098人 |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

| 氏名    | 所属                        | 委員長<br>(○を付す) | 選定理由                     | 利害関係            | 委員の要件<br>該当状況 |
|-------|---------------------------|---------------|--------------------------|-----------------|---------------|
| 内門 泰斗 | 鹿児島大学医療安全管理部<br>安全管理部門    | ○             | 医療安全に関する見識を有する者          | 有・ <del>無</del> | 1             |
| 藤木 美才 | ふじき法律事務所                  |               | 法律に関する見識を有する者            | 有・ <del>無</del> | 1             |
| 石崎 哲彦 | 熊本大学肝移植患者会<br>いちよりの会 With |               | 医療を受ける者<br>その他の医療従事者以外の者 | 有・ <del>無</del> | 2             |

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

|                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 委員名簿の公表の有無               | <del>有</del> ・無 |
| 委員の選定理由の公表の有無            | <del>有</del> ・無 |
| 公表の方法<br>熊本大学ホームページによる公表 |                 |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類                   | 取扱患者数 |
|---------------------------|-------|
| 神経変性疾患の遺伝子診断              | 0人    |
| EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法) | 1人    |
| 前眼部三次元画像解析                | 4人    |
| 抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査     | 27人   |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |
|                           | 人     |

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類  | 取扱患者数 |
|--|-------|
| ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)  | 0人    |
| 放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中脳神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大腦、小脳又は脳幹であるものに限る。) | 1人    |
| インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)   | 2人    |
| テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)   | 0人    |
| 水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)  | 0人    |
| 術後のカベシタピン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法  | 0人    |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |
|  | 人     |

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

|           |      |       |   |
|-----------|------|-------|---|
| 医療技術名     | 該当なし | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |      |       |   |
| 医療技術名     |      | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |      |       |   |
| 医療技術名     |      | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |      |       |   |
| 医療技術名     |      | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |      |       |   |
| 医療技術名     |      | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |      |       |   |
| 医療技術名     |      | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |      |       |   |
| 医療技術名     |      | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |      |       |   |
| 医療技術名     |      | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |      |       |   |

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

|    | 疾患名                        | 患者数 |     | 疾患名                  | 患者数 |
|----|----------------------------|-----|-----|----------------------|-----|
| 1  | 球脊髄性筋萎縮症                   | 16  | 56  | ベーチェット病              | 104 |
| 2  | 筋萎縮性側索硬化症                  | 73  | 57  | 特発性拡張型心筋症            | 123 |
| 3  | 脊髄性筋萎縮症                    | 26  | 58  | 肥大型心筋症               | 81  |
| 4  | 原発性側索硬化症                   | 1   | 59  | 拘束型心筋症               | 0   |
| 5  | 進行性核上性麻痺                   | 23  | 60  | 再生不良性貧血              | 49  |
| 6  | パーキンソン病                    | 255 | 61  | 自己免疫性溶血性貧血           | 1   |
| 7  | 大脳皮質基底核変性症                 | 14  | 62  | 発作性夜間ヘモグロビン尿症        | 1   |
| 8  | ハンチントン病                    | 0   | 63  | 特発性血小板減少性紫斑病         | 49  |
| 9  | 神経有棘赤血球症                   | 0   | 64  | 血栓性血小板減少性紫斑病         | 0   |
| 10 | シャルコー・マリー・トゥース病            | 3   | 65  | 原発性免疫不全症候群           | 5   |
| 11 | 重症筋無力症                     | 187 | 66  | IgA腎症                | 56  |
| 12 | 先天性筋無力症候群                  | 0   | 67  | 多発性嚢胞腎               | 32  |
| 13 | 多発性硬化症/視神経脊髄炎              | 127 | 68  | 黄色靱帯骨化症              | 13  |
| 14 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー | 44  | 69  | 後縦靱帯骨化症              | 24  |
| 15 | 対入体筋炎                      | 11  | 70  | 広範脊柱管狭窄症             | 6   |
| 16 | クロー・深瀬症候群                  | 2   | 71  | 特発性大腿骨頭壊死症           | 24  |
| 17 | 多系統萎縮症                     | 43  | 72  | 下垂体性ADH分泌異常症         | 12  |
| 18 | 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)        | 99  | 73  | 下垂体性TSH分泌亢進症         | 6   |
| 19 | ライソゾーム病                    | 19  | 74  | 下垂体性PRL分泌亢進症         | 33  |
| 20 | 副腎白質ジストロフィー                | 0   | 75  | クッシング病               | 18  |
| 21 | ミトコンドリア病                   | 15  | 76  | 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症     | 3   |
| 22 | もやもや病                      | 89  | 77  | 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症      | 50  |
| 23 | プリオン病                      | 3   | 78  | 下垂体前葉機能低下症           | 227 |
| 24 | 亜急性硬化性全脳炎                  | 0   | 79  | 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | 1   |
| 25 | 進行性多巣性白質脳症                 | 1   | 80  | 甲状腺ホルモン不応症           | 0   |
| 26 | HTLV-1関連脊髄症                | 18  | 81  | 先天性副腎皮質酵素欠損症         | 8   |
| 27 | 特発性基底核石灰化症                 | 0   | 82  | 先天性副腎低形成症            | 0   |
| 28 | 全身性アミロイドーシス                | 134 | 83  | アジソン病                | 2   |
| 29 | ウルリッヒ病                     | 0   | 84  | サルコイドーシス             | 131 |
| 30 | 遠位型ミオパチー                   | 2   | 85  | 特発性間質性肺炎             | 64  |
| 31 | ベスレムミオパチー                  | 0   | 86  | 肺動脈性肺高血圧症            | 33  |
| 32 | 自己食空胞性ミオパチー                | 0   | 87  | 肺動脈閉塞症/肺毛細血管腫症       | 2   |
| 33 | シュワルツ・ヤンベル症候群              | 0   | 88  | 慢性血栓塞栓性肺高血圧症         | 8   |
| 34 | 神経線維腫症                     | 43  | 89  | リンパ管筋腫症              | 9   |
| 35 | 天疱瘡                        | 48  | 90  | 網膜色素変性症              | 24  |
| 36 | 表皮水疱症                      | 0   | 91  | バッド・キアリ症候群           | 1   |
| 37 | 膿疱性乾癬(汎発型)                 | 3   | 92  | 特発性門脈圧亢進症            | 6   |
| 38 | スティーヴンス・ジョンソン症候群           | 3   | 93  | 原発性胆汁性肝硬変            | 52  |
| 39 | 中毒性表皮壊死症                   | 1   | 94  | 原発性硬化性胆管炎            | 4   |
| 40 | 高安動脈炎                      | 26  | 95  | 自己免疫性肝炎              | 22  |
| 41 | 巨細胞性動脈炎                    | 2   | 96  | クローン病                | 102 |
| 42 | 結節性多発動脈炎                   | 27  | 97  | 潰瘍性大腸炎               | 183 |
| 43 | 顕微鏡的多発血管炎                  | 54  | 98  | 好酸球性消化管疾患            | 3   |
| 44 | 多発血管炎性肉芽腫症                 | 16  | 99  | 慢性特発性偽性腸閉塞症          | 0   |
| 45 | 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症             | 14  | 100 | 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症      | 0   |
| 46 | 悪性関節リウマチ                   | 11  | 101 | 腸管神経節細胞減少症           | 1   |
| 47 | パーシャール病                    | 4   | 102 | ルピンシュタイン・テイビ症候群      | 0   |
| 48 | 原発性抗リン脂質抗体症候群              | 2   | 103 | CFC症候群               | 0   |
| 49 | 全身性エリテマトーデス                | 412 | 104 | コステロ症候群              | 0   |
| 50 | 皮膚筋炎/多発性筋炎                 | 213 | 105 | チャージ症候群              | 0   |
| 51 | 全身性強皮症                     | 337 | 106 | クリオピリン関連周期熱症候群       | 0   |
| 52 | 混合性結合組織病                   | 64  | 107 | 全身型若年性特発性関節炎         | 2   |
| 53 | シェーグレン症候群                  | 74  | 108 | TNF受容体関連周期性症候群       | 0   |
| 54 | 成人スチル病                     | 13  | 109 | 非典型性溶血性尿毒症症候群        | 0   |
| 55 | 再発性多発軟骨炎                   | 3   | 110 | ブラウ症候群               | 1   |

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

| 患者数 | 疾患名                        | 患者数 | 疾患名                | 患者数 |
|-----|----------------------------|-----|--------------------|-----|
| 0   | 先天性ミオパチー                   | 161 | 家族性良性慢性天疱瘡         | 1   |
| 0   | マリネスコ・シェーグレン症候群            | 162 | 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。) | 18  |
| 22  | 筋ジストロフィー                   | 163 | 特発性後天性全身性無汗症       | 3   |
| 0   | 非ジストロフィー性ミオトニー症候群          | 164 | 眼皮皮膚白皮症            | 0   |
| 0   | 遺伝性周期性四肢麻痺                 | 165 | 肥厚性皮膚骨膜炎           | 0   |
| 0   | アトピー性脊髄炎                   | 166 | 弾性線維性仮性黄色腫         | 1   |
| 14  | 脊髄空洞症                      | 167 | マルファン症候群           | 0   |
| 0   | 脊髄髄膜瘤                      | 168 | エーラス・ダンロス症候群       | 2   |
| 0   | アイザックス症候群                  | 169 | メンケス病              | 0   |
| 0   | 遺伝性ジストニア                   | 170 | オクシピタル・ホーン症候群      | 0   |
| 0   | 神経フェリチン症                   | 171 | ウィルソン病             | 4   |
| 0   | 脳表ヘモジデリン沈着症                | 172 | 低ホスファターゼ症          | 0   |
| 0   | 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症     | 173 | VATER症候群           | 0   |
| 2   | 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症    | 174 | 那須・ハコラ病            | 0   |
| 0   | 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症 | 175 | ウィーバー症候群           | 0   |
| 0   | ペリー症候群                     | 176 | コフィン・ローリー症候群       | 0   |
| 9   | 前頭側頭葉変性症                   | 177 | 有馬症候群              | 0   |
| 0   | ピッカースタッフ脳幹脳炎               | 178 | モワット・ウィルソン症候群      | 0   |
| 1   | 痙攣重積型(二相性)急性脳症             | 179 | ウィリアムズ症候群          | 0   |
| 1   | 先天性無痛無汗症                   | 180 | ATR-X症候群           | 0   |
| 0   | アレキサンダー病                   | 181 | クルーゾン症候群           | 0   |
| 0   | 先天性核上性球麻痺                  | 182 | アペール症候群            | 0   |
| 0   | メビウス症候群                    | 183 | ファイファー症候群          | 1   |
| 0   | 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群        | 184 | アントレー・ピクスラー症候群     | 0   |
| 1   | アイカルディ症候群                  | 185 | コフィン・シリズ症候群        | 0   |
| 0   | 片側巨脳症                      | 186 | ロスマンド・トムソン症候群      | 0   |
| 2   | 限局性皮膚異形成                   | 187 | 歌舞伎症候群             | 0   |
| 1   | 神経細胞移動異常症                  | 188 | 多脾症候群              | 0   |
| 1   | 先天性大脳白質形成不全症               | 189 | 無脾症候群              | 0   |
| 0   | ドラベ症候群                     | 190 | 鰓耳腎症候群             | 0   |
| 1   | 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん           | 191 | ウェルナー症候群           | 1   |
| 0   | ミオクロニー欠伸てんかん               | 192 | コケイン症候群            | 0   |
| 0   | ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん          | 193 | ブラダー・ウィリ症候群        | 1   |
| 1   | レノックス・ガストー症候群              | 194 | ソトス症候群             | 0   |
| 0   | ウエスト症候群                    | 195 | ヌーナン症候群            | 0   |
| 0   | 大田原症候群                     | 196 | ヤング・シンブソン症候群       | 0   |
| 0   | 早期ミオクロニー脳症                 | 197 | 1p36欠失症候群          | 0   |
| 0   | 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん           | 198 | 4p欠失症候群            | 0   |
| 1   | 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群           | 199 | 5p欠失症候群            | 0   |
| 0   | 環状20番染色体症候群                | 200 | 第14番染色体父親性ダイソミー症候群 | 0   |
| 0   | ラスムッセン脳炎                   | 201 | アンジェルマン症候群         | 0   |
| 0   | PCDH19関連症候群                | 202 | スミス・マジニス症候群        | 0   |
| 0   | 難治頻回部分発作重積型急性脳炎            | 203 | 22q11.2欠失症候群       | 1   |
| 0   | 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症      | 204 | エマヌエル症候群           | 0   |
| 0   | ランドウ・クレフナー症候群              | 205 | 脆弱X症候群関連疾患         | 0   |
| 0   | レット症候群                     | 206 | 脆弱X症候群             | 0   |
| 0   | スタージ・ウェーバー症候群              | 207 | 総動脈幹遺残症            | 0   |
| 11  | 結節性硬化症                     | 208 | 修正大血管転位症           | 0   |
| 1   | 色素性乾皮症                     | 209 | 完全大血管転位症           | 0   |
| 1   | 先天性魚鱗癬                     | 210 | 単心室症               | 0   |

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

|     | 疾患名                          | 患者数 |     | 疾患名                        | 患者数 |
|-----|------------------------------|-----|-----|----------------------------|-----|
| 211 | 左心低形成症候群                     | 0   | 259 | レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症 | 0   |
| 212 | 三尖弁閉鎖症                       | 0   | 260 | シトステロール血症                  | 0   |
| 213 | 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症            | 0   | 261 | タンジール病                     | 0   |
| 214 | 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症              | 0   | 262 | 原発性高カイトロミクロン血症             | 0   |
| 215 | ファロー四徴症                      | 1   | 263 | 脳膜黄色腫症                     | 1   |
| 216 | 両大血管右室起始症                    | 0   | 264 | 無βリポタンパク血症                 | 0   |
| 217 | エプスタイン病                      | 0   | 265 | 脂肪萎縮症                      | 0   |
| 218 | アルポート症候群                     | 0   | 266 | 家族性地中海熱                    | 1   |
| 219 | ギャロウェイ・モフト症候群                | 0   | 267 | 高IgD症候群                    | 0   |
| 220 | 急速進行性糸球体腎炎                   | 0   | 268 | 中條・西村症候群                   | 0   |
| 221 | 抗糸球体基底膜腎炎                    | 2   | 269 | 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群    | 0   |
| 222 | 一次性ネフローゼ症候群                  | 26  | 270 | 慢性再発性多発性骨髄炎                | 0   |
| 223 | 一次性膜性増殖性糸球体腎炎                | 0   | 271 | 強直性脊椎炎                     | 3   |
| 224 | 紫斑病性腎炎                       | 6   | 272 | 進行性骨化性線維異形成症               | 0   |
| 225 | 先天性腎性尿崩症                     | 0   | 273 | 肋骨異常を伴う先天性側弯症              | 0   |
| 226 | 間質性膀胱炎(ハンナ型)                 | 1   | 274 | 骨形成不全症                     | 1   |
| 227 | オスラー病                        | 4   | 275 | タナトフォリック骨異形成症              | 0   |
| 228 | 閉塞性細気管支炎                     | 1   | 276 | 軟骨無形成症                     | 1   |
| 229 | 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)            | 1   | 277 | リンパ管腫症/ゴーハム病               | 0   |
| 230 | 肺胞低換気症候群                     | 0   | 278 | 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)           | 0   |
| 231 | α1-アンチトリプシン欠乏症               | 0   | 279 | 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)       | 0   |
| 232 | カーニー複合                       | 0   | 280 | 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)        | 0   |
| 233 | ウォルフラム症候群                    | 0   | 281 | クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群       | 2   |
| 234 | ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)   | 0   | 282 | 先天性赤血球形成異常性貧血              | 0   |
| 235 | 副甲状腺機能低下症                    | 1   | 283 | 後天性赤芽球癆                    | 1   |
| 236 | 偽性副甲状腺機能低下症                  | 0   | 284 | ダイヤモンド・ブラックファン貧血           | 0   |
| 237 | 副腎皮質刺激ホルモン不応症                | 0   | 285 | ファンコニ貧血                    | 0   |
| 238 | ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症             | 0   | 286 | 遺伝性鉄芽球性貧血                  | 0   |
| 239 | ビタミンD依存性くる病/骨軟化症             | 0   | 287 | エプスタイン症候群                  | 0   |
| 240 | フェニルケトン尿症                    | 4   | 288 | 自己免疫性出血病XIII               | 0   |
| 241 | 高チロシン血症1型                    | 0   | 289 | クロンカイト・カナダ症候群              | 0   |
| 242 | 高チロシン血症2型                    | 0   | 290 | 非特異性多発性小腸潰瘍症               | 1   |
| 243 | 高チロシン血症3型                    | 0   | 291 | ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)        | 0   |
| 244 | メーブルシロップ尿症                   | 0   | 292 | 総排泄腔外反症                    | 0   |
| 245 | プロピオン酸血症                     | 0   | 293 | 総排泄腔遺残                     | 1   |
| 246 | メチルマロン酸血症                    | 0   | 294 | 先天性横隔膜ヘルニア                 | 0   |
| 247 | イソ吉草酸血症                      | 0   | 295 | 乳幼児肝巨大血管腫                  | 0   |
| 248 | グルコーストランスポーター1欠損症            | 0   | 296 | 胆道閉鎖症                      | 10  |
| 249 | グルタル酸血症1型                    | 0   | 297 | アラジール症候群                   | 0   |
| 250 | グルタル酸血症2型                    | 0   | 298 | 遺伝性肺炎                      | 0   |
| 251 | 尿素サイクル異常症                    | 3   | 299 | 囊胞性線維症                     | 0   |
| 252 | リジン尿性蛋白不耐症                   | 0   | 300 | IgG4関連疾患                   | 5   |
| 253 | 先天性葉酸吸収不全                    | 0   | 301 | 黄斑ジストロフィー                  | 2   |
| 254 | ホルフィリン症                      | 3   | 302 | レーベル遺伝性視神経症                | 0   |
| 255 | 複合カルボキシラーゼ欠損症                | 0   | 303 | アッシャー症候群                   | 0   |
| 256 | 筋型糖原病                        | 0   | 304 | 若年発症型両側性感音聾                | 0   |
| 257 | 肝型糖原病                        | 5   | 305 | 遅発性内リンパ水腫                  | 0   |
| 258 | ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症 | 0   | 306 | 好酸球性副鼻腔炎                   | 5   |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

|     | 疾 患 名                            | 患者数 |     | 疾 患 名                         | 患者数 |
|-----|----------------------------------|-----|-----|-------------------------------|-----|
| 307 | カナパン病                            | 0   | 319 | セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症            | 0   |
| 308 | 進行性白質脳症                          | 0   | 320 | 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症 | 0   |
| 309 | 進行性ミオクローヌスてんかん                   | 0   | 321 | 非ケトーシス型高グリシン血症                | 0   |
| 310 | 先天異常症候群                          | 0   | 322 | $\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症           | 0   |
| 311 | 先天性三尖弁狭窄症                        | 0   | 323 | 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症             | 0   |
| 312 | 先天性僧帽弁狭窄症                        | 0   | 324 | メチルグルタコン酸尿症                   | 0   |
| 313 | 先天性肺静脈狭窄症                        | 0   | 325 | 遺伝性自己炎症疾患                     | 0   |
| 314 | 左肺動脈右肺動脈起始症                      | 0   | 326 | 大理石骨病                         | 0   |
| 315 | ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L<br>MX1B関連腎症 | 0   | 327 | 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)     | 1   |
| 316 | カルニチン回路異常症                       | 0   | 328 | 前眼部形成異常                       | 0   |
| 317 | 三頭酵素欠損症                          | 0   | 329 | 無虹彩症                          | 0   |
| 318 | シトリン欠損症                          | 1   | 330 | 先天性気管狭窄症                      | 0   |

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

| 施設基準の種類                       | 施設基準の種類                                  |
|-------------------------------|--|
| 特定機能病院入院基本料1. 一般病棟 イ (7対1看護)  | 病棟薬剤業務実施加算2                              |
| 特定機能病院入院基本料3. 精神病棟 ハ (13対1看護) | データ提出加算2                                 |
| 超急性期脳卒中加算                     | 提出データ評価加算                                |
| 診療録管理体制加算1                    | 入退院支援加算2                                 |
| 医師事務作業補助体制加算1(40対1補助体制加算)     | 入退院支援加算3                                 |
| 急性期看護補助体制加算(25対1 看護補助者5割以上)   | 精神疾患診療体制加算                               |
| 看護職員夜間12対1配置加算1               | 精神科急性期医師配置加算                             |
| 看護補助加算2(50対1)(精神病棟)           | 特定集中治療室管理料2                              |
| 療養環境加算                        | 特定集中治療室管理料3                              |
| 重症者等療養環境特別加算                  | ハイケアユニット入院医療管理料1                         |
| 無菌治療室管理加算1                    | 脳卒中ケアユニット入院医療管理料                         |
| 無菌治療室管理加算2                    | 総合周産期特定集中治療室管理料<br>(母体・胎児集中治療室、新生児集中治療室) |
| 緩和ケア診療加算                      | 新生児治療回復室入院医療管理料                          |
| 緩和ケア診療加算 個別栄養食事管理加算           | 小児入院医療管理料2                               |
| 精神科身体合併症管理加算                  | 小児入院医療管理料2に係る加算(プレイルーム加算)                |
| 精神科リエゾンチーム加算                  | 初診料(歯科)の注1に掲げる基準                         |
| 医療安全対策加算1                     | 地域歯科診療支援病院歯科初診料                          |
| 感染防止対策加算1                     | 歯科外来診療環境体制加算2                            |
| 感染防止対策地域連携加算                  | 歯科診療特別対応連携加算                             |
| 抗菌薬適正使用支援加算                   |  |
| 患者サポート体制充実加算                  |  |
| 褥瘡ハイリスク患者ケア加算                 |  |
| ハイリスク妊娠管理加算                   |  |
| ハイリスク分娩管理加算                   |  |
| 後発医薬品使用体制加算1                  |  |
| 病棟薬剤業務実施加算1                   |  |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類                       | 施設基準の種類                              |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| ウイルス疾患指導料                     | 持続血糖測定器加算                            |
| 慢性維持透析患者外来医学管理料 腎代替療法実績加算     | 遺伝学的検査                               |
| 糖尿病合併症管理料                     | 抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査) |
| がん性疼痛緩和指導管理料                  | HPV核酸検出                              |
| がん患者指導管理料イ                    | HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)                  |
| がん患者指導管理料ロ                    | 検体検査管理加算(Ⅰ)                          |
| がん患者指導管理料ハ                    | 検体検査管理加算(Ⅳ)                          |
| 外来緩和ケア管理料                     | 国際標準検査管理加算                           |
| 移植後患者指導管理料(臓器移植後)             | 遺伝カウンセリング加算                          |
| 移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)          | 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算             |
| 糖尿病透析予防指導管理料                  | 時間内歩行試験                              |
| 乳腺炎重症化予防ケア・指導料                | シャトルウォーキングテスト                        |
| 外来放射線照射診療料                    | 胎児心エコー法                              |
| ニコチン依存症管理料                    | ヘッドアップティルト試験                         |
| 療養・就労両立支援指導料の「注2」に掲げる相談体制充実加算 | 人工臓器検査                               |
| がん治療連携計画策定料                   | 皮下連続式グルコース測定                         |
| 肝炎インターフェロン治療計画料               | 長期継続頭蓋内脳波検査                          |
| ハイリスク妊産婦連携指導料1                | 脳波検査判断料1                             |
| ハイリスク妊産婦連携指導料2                | 神経学的検査                               |
| 薬剤管理指導料                       | 補聴器適合検査                              |
| 医療機器安全管理料1                    | ロービジョン検査判断料                          |
| 医療機器安全管理料2                    | 内服・点滴誘発試験                            |
| 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 | センチネルリンパ節生検(片側)                      |
| 在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料       | 画像診断管理加算1                            |
| 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料               | 画像診断管理加算2                            |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類                  | 施設基準の種類  |
|--------------------------|--|
| 遠隔画像診断                   | 精神科作業療法  |
| ポジトロン断層撮影                | 抗精神病特定薬剤治療指導管理料<br>(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)                 |
| ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影    | 医療保護入院等診療料   |
| CT撮影                     | レーザー機器加算(医科)   |
| 冠動脈CT撮影加算                | エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)                                      |
| MRI撮影                    | エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)                                     |
| 心臓MRI撮影加算                | 人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1   |
| 乳房MRI撮影加算                | 導入期加算2   |
| 小児鎮静下MRI撮影加算             | 透析液水質確保加算  |
| 抗悪性腫瘍剤処方管理加算             | 慢性維持透析濾過加算   |
| 外来化学療法加算1                | 人工臓臓療法   |
| 無菌製剤処理料                  | センチネルリンパ節加算  |
| 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)      | 皮膚移植術(死体)  |
| 心大血管疾患リハビリテーション料の初期加算    | 組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)                       |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)      | 骨移植術(軟骨移植術を含む。)<br>(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る)))           |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料の初期加算    | 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)                             |
| 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)         | 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術、<br>脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術 |
| 運動器リハビリテーション料の初期加算       | 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))                          |
| 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)         | 緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)                                   |
| 呼吸器リハビリテーション料の初期加算       | 網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)                               |
| がん患者リハビリテーション料           | 網膜再建術  |
| 認知症患者リハビリテーション料          | 人工中耳植込術  |
| 集団コミュニケーション療法料           | 人工内耳植込術  |
| 歯科口腔リハビリテーション料2          | 植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術                                   |
| 通院・在宅精神療法 児童思春期精神科専門管理加算 | 乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2                            |
| 認知療法・認知行動療法1             | 乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)<br>及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)) |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類   | 施設基準の種類  |
|---|--|
| ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)  | 腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)                                       |
| 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) | 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)                              |
| 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)   | 同種死体腎移植術   |
| 胸腔鏡下弁形成術  | 生体腎移植術   |
| 経カテーテル大動脈弁置換術   | 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術   |
| 胸腔鏡下弁置換術  | 人工尿道括約筋植込・置換術  |
| 経皮的中隔心筋焼灼術  | 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術  |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  | 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)                            |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)  | 医科点数表第2章第10部手術通則第16号に掲げる手術(胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)) |
| 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術  | 輸血管理料Ⅱ   |
| 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術  | 胃瘻造設時嚥下機能評価加算  |
| 経静脈電極除去術  | 麻酔管理料(Ⅰ)   |
| 両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術  | 麻酔管理料(Ⅱ)   |
| 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)  | 放射線治療専任加算  |
| バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術   | 外来放射線治療加算  |
| 胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)   | 1回線量増加加算   |
| 腹腔鏡下肝切除術  | 高エネルギー放射線治療  |
| 生体部分肝移植術  | 強度変調放射線治療(IMRT)  |
| 同種死体肝移植術  | 画像誘導放射線治療(IGRT)  |
| 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術  | 体外照射呼吸性移動対策加算  |
| 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術   | 定位放射線治療  |
| 生体部分小腸移植術   | 定位放射線治療呼吸性移動対策加算   |
| 同種死体小腸移植術   | 保険医療機関間の連携による病理診断  |
| 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術   | 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製                      |
| 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術  | 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速細胞診                           |





(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類                                   | 施設基準等の種類 |
|--|----------|
| ・単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染迅速診断(リアルタイムPCR法) | ・        |
| ・EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)                 | ・        |
| ・前眼部三次元画像解析                                | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |
| ・  | ・        |

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況                | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 20回   |
| 剖 検 の 状 況                           | 剖検症例数 19例 剖検率 8.3%  |

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

|    | 研究課題名                                      | 研究者氏名  | 所属部門 | 金額        | 補助元又は委託元        |
|----|--|--------|------|-----------|-----------------|
| 1  | 4次元コーンビームCTの画質改善と位置照合精度の最適化                | 下東 吉信  | 附属病院 | 1,200,000 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 2  | AutophagyによるARDS制御機構解明とmicroRNAによる治療法開発    | 田代 貴大  | 附属病院 | 2,772,529 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 3  | CEBPA遺伝子3' UTRメチル化を伴うMyeloid-T白血病の分子基盤の解明  | 岩永 栄作  | 附属病院 | 1,600,000 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 4  | GOMの酵素活性を標的としたCADASILの治療戦略の展開              | 植田 明彦  | 附属病院 | 2,000,000 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 5  | HIV-1 Capsid蛋白の自己崩壊を誘導する、新規Capsid阻害剤の開発    | 天野 将之  | 附属病院 | 1,466,529 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 6  | HIV感染者合併脳心血管疾患におけるvWFとADAMTS13の関与          | 宮川 寿一  | 附属病院 | 1,836,947 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 7  | MNAMを介するSirt1安定化メカニズムによる加齢性難聴発症予防          | 草場 雄基  | 附属病院 | 955,489   | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 8  | NAD中間代謝産物を用いた加齢性難聴の発症防止に関する研究              | 山田 卓生  | 附属病院 | 2,500,000 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 9  | PKG1 $\alpha$ ロイシンジッパーを介した動態制御の解明と心不全治療の応用 | 中村 太志  | 附属病院 | 1,300,000 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 10 | tRNA修飾異常が聴覚に及ぼす影響についての検討                   | 小川 晋太郎 | 附属病院 | 2,100,000 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 11 | Tsukushiによる創傷治癒メカニズムの分子基盤解明                | 新森 大佑  | 附属病院 | 1,388,142 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 12 | TTRの断片化を活用したFAP病態解明へのプレイクスルーと新規疾患モデル構築     | 植田 光晴  | 附属病院 | 1,525,312 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 13 | Wntシグナル経路を介したCdh1による大腸癌浸潤・転移の制御            | 直江 秀昭  | 附属病院 | 1,400,000 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 14 | アミロイドーシスに関する調査研究                           | 植田 光晴  | 附属病院 | 200,000   | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 15 | アラキドン酸カスケードを介した癌幹細胞制御機構の解明                 | 石本 崇胤  | 附属病院 | 2,358,066 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |
| 16 | アンモニオトランスポーター (Rhcg) 制御による新規糖尿病性腎症治療薬の開発   | 中山 裕史  | 附属病院 | 1,500,000 | ③ 独立行政法人日本学術振興会 |

|    |  |       |      |           |    |               |
|----|--|-------|------|-----------|----|---------------|
| 17 | インスリンシグナルを標的とする新規microRNAの同定とその意義の解明     | 井形 元維 | 附属病院 | 1,305,342 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 18 | インスリン抵抗性の制御に関与するメタロプロテアーゼの同定とその調節機序の解析   | 川崎 修二 | 附属病院 | 1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 19 | がん関連線維芽細胞に着眼した腫瘍内不均一性の分子機構解明と新規がん治療戦略の開発 | 佐藤 亮  | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 20 | ギラン・バレー症候群における自律神経障害                     | 渡利 菜里 | 附属病院 | 1,900,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 21 | ゴーシェー病II型患者由来iPS細胞を用いた新規治療薬の開発           | 城戸 淳  | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 22 | セリンプロテアーゼ・ヘプシンの腎臓における生理的機能の分子解明          | 安達 政隆 | 附属病院 | 2,049,388 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 23 | データマイニング手法を用いた呼吸器・集中治療医学に関する知識の探索        | 廣佐古 進 | 附属病院 | 326,482   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 24 | パレット食道癌の新規バイオマーカー開発を目指したゲノム低メチル化の網羅的解析   | 原田 和人 | 附属病院 | 2,774,982 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 25 | ヒストン脱メチル化酵素を制御するmicroRNAを標的とした新規治療法の開発   | 坂本 快郎 | 附属病院 | 2,724,966 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 26 | ヒトグリオーマ初代培養株を用いた悪性グリオーマに対する局所治療法の開発      | 竹崎 達也 | 附属病院 | 2,398,734 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 27 | ヒト遺伝性難聴に対する根本治療確立を目指した基礎研究               | 蓑田 涼生 | 附属病院 | 1,800,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 28 | ヒト幹細胞から機能的3次元心筋組織の構築法および移植法の開発           | 野口 亮  | 附属病院 | 1,342,340 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 29 | ヒト子宮および腎臓の発生に協調的に関与する遺伝子群の変異/欠損の同定       | 値賀 正彦 | 附属病院 | 900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 30 | プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究                | 野村 恵子 | 附属病院 | 200,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 31 | マウスラセン神経節細胞におけるTis21の細胞保護作用              | 伊勢 桃子 | 附属病院 | 600,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 32 | マクロファージの分化制御を標的とした天然化合物による卵巣がん新規治療薬の開発   | 高石 清美 | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 33 | リンパ球温存放射線治療の開発                           | 斉藤 哲雄 | 附属病院 | 700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|    |   |        |      |           |    |               |
|----|---|--------|------|-----------|----|---------------|
| 34 | 胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析         | 吉田 直矢  | 附属病院 | 1,961,665 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 35 | 遺伝子改変iPS細胞由来ミエロイドラインを用いた進行期悪性黒色腫の免疫療法   | 宮下 梓   | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 36 | 医学生の参加型臨床実習と手術成績に関する地域共同のプロスペクティブ研究     | 石河 隆敏  | 附属病院 | 677,390   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 37 | 一過性局所神経脱落徴候から迫る新たな脳アミロイド・アンギオパチーの病態と診断法 | 中島 誠   | 附属病院 | 1,802,910 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 38 | 炎症・ERストレスに着目した生活習慣病関連腎症にMRP8が果たす役割の解明   | 水本 輝彦  | 附属病院 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 39 | 革新的治療法開発を目指した消化管術後の腸内細菌叢の網羅的解析          | 馬場 祥史  | 附属病院 | 2,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 40 | 肝芽腫組織からの幹細胞様細胞の単離と分化誘導モデルの作成            | 磯野 香織  | 附属病院 | 1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 41 | 肝細胞癌におけるTSP-1の発現と術後再発・転移機構の解明および治療法の開発  | 黒木 秀幸  | 附属病院 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 42 | 肝細胞癌におけるスタチンによる抗腫瘍効果の分子メカニズムの検討         | 東 孝暁   | 附属病院 | 2,808,960 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 43 | 肝細胞癌における癌関連好中球(TAN)の分離解析による役割の解明        | 岡部 弘尚  | 附属病院 | 1,938,744 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 44 | 癌C5aR、C5a遊離プロテアーゼを標的とした治療法の確立           | 新田 英利  | 附属病院 | 2,169,312 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 45 | 癌幹細胞性維持に関与する腫瘍間質由来ニッチ因子の同定と新規治療戦略の確立    | 石本 崇胤  | 附属病院 | 6,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 46 | 癌治療の個別化への道を切り開く予後規定因子CYLD発現消失の分子機能動態の解明 | 城野 博史  | 附属病院 | 5,028,912 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 47 | 癌特異的糖代謝をターゲットとする新しい肝癌治療法の開発             | 橋本 大輔  | 附属病院 | 1,900,158 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 48 | 癌微小周囲環境における補体を介した間質細胞の増殖・転移促進効果に関する研究   | 中原 修   | 附属病院 | 2,364,016 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 49 | 急性心筋梗塞におけるコルヒチンの急性期抗炎症作用と予後及び長期的効果の検討   | 藤末 昂一郎 | 附属病院 | 1,800,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|    |  |        |      |           |    |               |
|----|--|--------|------|-----------|----|---------------|
| 50 | 救急外来における頭部外傷症例の血中GFAP測定および臨床的有用性の検討      | 金子 唯   | 附属病院 | 671,829   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 51 | 緊急災害時の急性脳・心血管病に対する災害派遣専門チームの確立と予防法の開発    | 末田 大輔  | 附属病院 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 52 | 熊本地震における医療支援活動の振り返りと、今後への提言              | 松井 邦彦  | 附属病院 | 2,900,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 53 | 血管病変におけるSirt7の機能解析                       | 荒木 智   | 附属病院 | 2,654,263 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 54 | 口腔がんにおけるCetuximab耐性機構解析と免疫療法併用による新規治療の開発 | 永田 将士  | 附属病院 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 55 | 口腔がんに対する、がん抗原由来長鎖ペプチドを用いたがんペプチドワクチン療法の開発 | 平山 真敏  | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 56 | 口腔がん難民救済のためのペプチドワクチン療法実用化への第一歩を踏み出す研究    | 吉武 義泰  | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 57 | 口腔癌におけるANGPTL4の機能解析と治療標的としての評価           | 田中 拓也  | 附属病院 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 58 | 口腔癌におけるサイトカインを介した抗癌剤耐性機構解明と新規治療法開発       | 中川 純泰  | 附属病院 | 1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 59 | 口腔癌における抗腫瘍免疫とリンパ節免疫環境の関連性                | 川原 健太  | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 60 | 口腔癌の細胞外環境応答性エピゲノム解析に基づく新規診断法とエピゲノム治療法の創出 | 中元 雅史  | 附属病院 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 61 | 口腔扁平上皮癌におけるIL-6を介する放射線耐性機序の解明と新規治療法の開発   | 松岡 祐一郎 | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 62 | 口腔扁平上皮癌におけるtRNA修飾の網羅的解析及び機能解析と新規治療法の開発   | 高橋 望   | 附属病院 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 63 | 鉱質コルチコイド受容体を介した膵島細胞の慢性炎症とGLP-1分泌調節機序の解明  | 後藤 理英子 | 附属病院 | 1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 64 | 高解像度内圧計を用いた嚥下リハビリテーション手技に関する基礎的・臨床的研究    | 鮫島 靖浩  | 附属病院 | 509,457   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 65 | 骨髄播種癌細胞の休眠状態に基づく口腔癌の転移再発メカニズム解明と新規治療法の創出 | 中村 拓哉  | 附属病院 | 1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|    |  |        |      |           |    |               |
|----|--|--------|------|-----------|----|---------------|
| 66 | 細胞核DNA変異によるミトコンドリア機能異常が聴覚に及ぼす影響についての検討           | 三輪 徹   | 附属病院 | 1,900,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 67 | 子どもの慢性疲労と不注意の脳内機序解明と治療法開発研究                      | 上土井 貴子 | 附属病院 | 1,234,608 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 68 | 脂肪酸代謝、酸化ストレスを介したNAFLD/NASH肝細胞癌の発癌・進展機構解明         | 中川 茂樹  | 附属病院 | 1,846,147 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 69 | 時相変化に着目したAKI to CKD移行機序に果たす自然炎症の役割の解明            | 早田 学   | 附属病院 | 1,800,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 70 | 治療抵抗性口腔癌の高次エピゲノム解析に基づく新規診断法とエピゲノム治療法の創出          | 廣末 晃之  | 附属病院 | 1,515,648 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 71 | 治療抵抗性高血圧症に対する頭側延髄腹外側野の微小血管減圧術—確実な診断技術の開発         | 浜崎 禎   | 附属病院 | 1,893,816 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 72 | 自己免疫性ミオパチー発症における抗横紋筋抗体、壊死性ミオパチー抗体の意味論            | 高松 孝太郎 | 附属病院 | 1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 73 | 腫瘍内微小環境におけるマクロファージスカベンジャー受容体CD163の機能解明           | 白石 大偉輔 | 附属病院 | 1,306,981 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 74 | 樹状高分子デンドリマーの多機能性が変える難治性アミロイドーシスの根治治療             | 城野 博史  | 附属病院 | 2,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 75 | 出生児低体重モデルにおける心筋再生・病態応答能の検討                       | 有馬 勇一郎 | 附属病院 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 76 | 小径線維ニューロパチーにおける革新的な評価法の確立と新たな診断マーカーの探索           | 増田 曜章  | 附属病院 | 1,549,278 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 77 | 消化器癌におけるCCN familyの網羅的解析と癌進展及び耐性メカニズムの解明         | 長井 洋平  | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 78 | 消化器癌におけるHippo-pathwayを介した癌幹細胞性獲得機構の解明            | 林 洋光   | 附属病院 | 2,366,768 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 79 | 消化器癌におけるPPAR $\gamma$ アゴニストの代謝関連蛋白制御機構解明と新規治療の開発 | 澤山 浩   | 附属病院 | 2,894,842 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 80 | 消化器癌におけるがん代謝関連酵素LSD1の機能解析と新規治療法の開発               | 小澄 敬祐  | 附属病院 | 2,880,120 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 81 | 食道癌におけるプロモーター領域のメチル化とmicroRNA発現の網羅的解析            | 齋藤 誠哉  | 附属病院 | 2,566,300 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|    |  |       |      |           |    |               |
|----|--|-------|------|-----------|----|---------------|
| 82 | 食道癌の新規治療法開発を目指したmicrobiomeとエビジェネティクス解析   | 馬場 祥史 | 附属病院 | 4,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 83 | 心不全患者におけるNepriylsin濃度決定因子および予後への影響に関する研究 | 高潮 征爾 | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 84 | 新たな内分泌学的因子を包含した子宮内膜癌の分類と治療戦略の確立          | 齋藤 文誉 | 附属病院 | 1,449,449 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 85 | 新規マイオカインを用いた大動脈弁狭窄症患者における包括的手術リスク評価法の確立  | 花谷 信介 | 附属病院 | 1,970,316 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 86 | 新規長鎖ノンコーディングRNAに着目したCKD治療法開発のための基盤研究     | 森永 潤  | 附属病院 | 1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 87 | 腎障害形成・進展における硫酸抱合型尿毒素の役割究明を機軸とする尿毒症抑制薬の探索 | 齋藤 秀之 | 附属病院 | 3,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 88 | 生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究      | 吉浦 和宏 | 附属病院 | 500,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 89 | 生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究      | 石川 智久 | 附属病院 | 450,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 90 | 生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究      | 田中 馨  | 附属病院 | 400,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 91 | 生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究      | 堀田 牧  | 附属病院 | 112,779   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 92 | 声帯におけるビタミンAの分布と動態                        | 西本 康兵 | 附属病院 | 900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 93 | 声帯麻痺患者に対するIGF-1を用いた新たな治療法の開発             | 高野 若菜 | 附属病院 | 2,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 94 | 先進的MRIパラメーターによる脳腫瘍の定量的性状解析と手術支援          | 北島 美香 | 附属病院 | 704,883   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 95 | 先天性無痛無汗症の中樞神経病態と神経成長因子依存性ニューロンの生理学的機能    | 犬童 康弘 | 附属病院 | 1,312,802 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 96 | 全身性強皮症の皮膚線維化におけるトロンボスポンジン1の役割の検討         | 牧野 雄成 | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 97 | 多層検出器CTを用いたリンパ節転移の定量的評価法の開発              | 猪山 裕治 | 附属病院 | 800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |



|     |   |        |      |           |    |               |
|-----|---|--------|------|-----------|----|---------------|
| 98  | 多様なエピジェネティクス異常に基づく悪性神経膠腫の体系化の確立と治療抵抗性の克服        | 中村 英夫  | 附属病院 | 1,520,777 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 99  | 大腸癌における、エピジェネティクスを標的とした新規分子標的治療薬の検討             | 徳永 竜馬  | 附属病院 | 1,903,559 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 100 | 大腸癌におけるRNF43遺伝子による腫瘍増殖メカニズムの解明                  | 杉原 栄孝  | 附属病院 | 1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 101 | 大腸癌におけるstatinの抗腫瘍効果メカニズムの解明と新規治療法の開発            | 石川 晋之  | 附属病院 | 2,223,720 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 102 | 大腸癌の抗腫瘍免疫応答と抗癌剤感受性に関わる細菌を標的とした革新的治療法の開発         | 美馬 浩介  | 附属病院 | 4,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 103 | 大腸癌の新規治療法開発を目指したカヘキシア経路の網羅的解析                   | 宮本 裕士  | 附属病院 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 104 | 大腸癌幹細胞における抗がん剤耐性獲得メカニズムの解明と治療標的因子の同定            | 泉 大輔   | 附属病院 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 105 | 胆管癌におけるエピジェネティクスを標的とした新規分子標的治療薬の検討              | 近本 亮   | 附属病院 | 2,541,442 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 106 | 胆道閉鎖症の細胆管化生とSOX9の研究から展開される肝疾患治療のための基盤研究         | 猪股 裕紀洋 | 附属病院 | 1,776,108 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 107 | 地域での地域医療実践教育拠点による総合診療及び総合診療医教育体制の有用性            | 小山 耕太  | 附属病院 | 700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 108 | 直腸癌術前化学放射線療法の効果予測マーカーとしての血清中microRNA解析          | 日吉 幸晴  | 附属病院 | 700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 109 | 低血糖による合併症増悪機序におけるmtROSとWarburg effectの関与        | 久木留 大介 | 附属病院 | 1,120,581 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 110 | 転移乳癌に対するエストロゲン付加療法メカニズム解析                       | 村上 敬一  | 附属病院 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 111 | 電子カルテ情報をセマンティクス(意味・内容)の標準化により分析可能なデータに変換するための研究 | 宇宿 功市郎 | 附属病院 | 250,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 112 | 動脈硬化巣局所のマクロファージ増殖におけるSkp2の役割の解明と治療への応用          | 石井 規夫  | 附属病院 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|     |  |       |      |           |    |               |
|-----|--|-------|------|-----------|----|---------------|
| 113 | 乳癌におけるリキッドバイオプシー法の開発と臨床応用への取り組み          | 竹下 卓志 | 附属病院 | 2,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 114 | 熱応答性ストレス反応経路活性化を介した抗炎症・抗糖尿病効果の分子機構解明     | 近藤 龍也 | 附属病院 | 1,324,982 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 115 | 脳原発悪性リンパ腫における上皮-間葉転換誘導因子の解析に基づく診断と治療への展開 | 牧野 敬史 | 附属病院 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 116 | 敗血症患者の救命率最大化を可能にする従来にない個別の薬物動態解析法の確立     | 尾田 一貴 | 附属病院 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 117 | 敗血症環境におけるNecroptosisを中心としたHMGB1の主導的役割の解明 | 岩下 晋輔 | 附属病院 | 1,344,159 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 118 | 皮膚筋炎におけるlncRNAの役割解明                      | 緒方 亜紀 | 附属病院 | 400,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 119 | 腹腔内環境をターゲットとした子宮内膜症の内分泌療法を脱却した新規治療薬の開発   | 伊藤 史子 | 附属病院 | 1,309,486 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 120 | 房室弁輪部起源心房性頻拍の機序および至適治療法に関する検討            | 山部 浩茂 | 附属病院 | 1,844,820 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 121 | 慢性炎症におけるALDH1陽性細胞分画拡大を介した肺癌進展メカニズムの解明    | 有馬 浩太 | 附属病院 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 122 | 免疫異常が鍵を握る自律神経疾患における新規自己抗体の探索と病態解明        | 向野 晃弘 | 附属病院 | 1,570,476 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 123 | 免疫抑制状態の解除によるがんペプチドワクチン療法の治療効果促進に関する研究    | 福間 大喜 | 附属病院 | 900,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 124 | 輸血医療におけるトレーサビリティ確保に関する研究                 | 米村 雄士 | 附属病院 | 150,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 125 | 卵巣明細胞腺癌における静脈血栓塞栓症の発症メカニズムの解明と治療戦略       | 坂口 勲  | 附属病院 | 1,404,596 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 126 | 緑内障病態におけるメカノストレスとHippo-YAP/TAZシグナルの研究    | 井上 俊洋 | 附属病院 | 1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 127 | 腱板骨結合部修復過程におけるScx発現前駆細胞の動態解明             | 徳永 琢也 | 附属病院 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 128 | 赤血球製剤使用ガイドラインの改訂                         | 米村 雄士 | 附属病院 | 200,000   | 補委 | 国立大学法人名古屋大学   |

|     |  |       |      |            |        |                         |
|-----|--|-------|------|------------|--------|-------------------------|
| 129 | 中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究  | 中村 英夫 | 附属病院 | 200,000    | 補<br>委 | 学校法人埼玉医科大学              |
| 130 | 急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立   | 野坂 生郷 | 附属病院 | 380,000    | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター      |
| 131 | 適格患者の登録・治療・評価、検体保存(BBJ)  | 野坂 生郷 | 附属病院 | 500,000    | 補<br>委 | 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター   |
| 132 | HIV-1 構造蛋白を過剰に安定化させる事で、CD4陽性免疫細胞へのウイルスの感染および増殖を抑制する、新規 HIV-1 感染症治療薬の開発   | 天野 将之 | 附属病院 | 1,890,000  | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学              |
| 133 | 悪性神経膠腫患者における網羅的遺伝子解析に基づく臨床経過の調査  | 中村 英夫 | 附属病院 | 2,000,000  | 補<br>委 | 出水市病院事業                 |
| 134 | 硫酸抱合型尿毒症物質産生阻害薬の探索   | 齋藤 秀之 | 附属病院 | 9,910,125  | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構      |
| 135 | 遅発型ポンペ病患者ハイリスクスクリーニング調査研究  | 小篠 史郎 | 附属病院 | 49,847     | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター |
| 136 | 冠動脈ステント留置術後12ヶ月超を経た心房細動患者に対するワーファリン単独療法の妥当性を検証する多施設無作為化試験【OAC-ALONE Study: Optimizing Antithrombotic Care in patients with Atrial fibrillation and coronary stent study】 | 海北 幸一 | 附属病院 | 24,923     | 補<br>委 | 一般財団法人生産開発科学研究所         |
| 137 | 多剤耐性HIV変異株に強力な高いCNS透過性を有する新規抗HIV薬の開発と実用化   | 満屋 裕明 | 附属病院 | 55,021,077 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構      |
| 138 | 野生型と薬剤耐性B型肝炎ウイルスに強力な活性を發揮する新規治療薬の研究・開発   | 満屋 裕明 | 附属病院 | 70,839,548 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構      |
| 139 | 骨髄不全症候群および発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)疑い症例におけるGPIアンカー膜蛋白欠損血球の保有率とその意義を明らかにするための観察研究(OPTIMA)  | 米村 雄士 | 附属病院 | 506,464    | 補<br>委 | 一般社団法人日本PNH研究会          |

|     |   |        |         |           |        |                               |
|-----|---|--------|---------|-----------|--------|-------------------------------|
| 140 | 骨髄不全患者における、PNH型血球割合とPNH関連の臨床症状を経時的にみる観察研究 (SUPREMACY)                                     | 米村 雄士  | 附属病院    | 1,000,000 | 補<br>委 | 一般社団法人日本PNH研究会                |
| 141 | 医療事故の発生を抑止する医療事故発生予測技術を可能とするビッグデータ解析基盤の研究開発   | 宇宿 功市郎 | 附属病院    | 156,640   | 補<br>委 | 九州総合通信局                       |
| 142 | HTLV-1の疫学研究及び総合対策に資する研究   | 野坂 生郷  | 附属病院    | 1,076,924 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構            |
| 143 | 家族性アミロイドポリニューロパチー治療への実用化を目指した新規マルチターゲット型アミロイドーシス治療薬の治療効果の検証                               | 城野 博史  | 附属病院    | 1,818,000 | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学                    |
| 144 | 持続する発熱性好中球減少症に対する従来型の経験的抗真菌治療とD-indexに基づく早期抗真菌治療の無作為割付比較試験 (CEDMIC trial) (日本FN研究会 第6次研究) | 宮川 寿一  | 附属病院    | 92,308    | 補<br>委 | 特定非営利活動法人臨床血液・腫瘍研究会イービーエス株式会社 |
| 145 | 食道癌術後再発に対する放射線治療成績  | 松山 知彦  | 附属病院    | 1,000,000 | 補<br>委 | 出水市病院事業                       |
| 146 | 転移性前立腺癌に対するGnRH アンタゴニスト単剤療法とGnRH アゴニストCAB療法のランダム化比較試験 (KYUCOG-1401)                       | 田上 憲一郎 | 附属病院    | 49,847    | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター            |
| 147 | 全国レベルでのデータベースの構築を目指して、SCRUM-Japanへの登録推進と、自施設における臨床データのEDC入力体制の整備                          | 猿渡 功一  | 附属病院    | 200,000   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター            |
| 148 | 臨床試験と全国患者実態把握によるindolent ATLに対する標準治療の開発研究   | 野坂 生郷  | 附属病院    | 230,769   | 補<br>委 | 学校法人埼玉医科大学                    |
| 149 | PD-1阻害抗体の抗腫瘍効果を増強するミトコンドリア活性化剤を用いた新規併用治療法の開発  | 佐伯 祥   | 附属病院    | 800,000   | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学                    |
| 150 | 再発又は難治性の成人T細胞白血病・リンパ腫に対するニボルマブの第Ⅱ相医師主導治験  | 野坂 生郷  | 附属病院    | 461,539   | 補<br>委 | 国立大学法人鹿児島大学                   |
| 151 | 造血幹細胞の機能維持を司るリボソーム生合成経路の検証  | 松井 啓隆  | 生命科学研究部 | 2,400,000 | 補<br>委 | 独立行政法人日本学術振興会                 |

|     |   |        |         |           |    |               |
|-----|---|--------|---------|-----------|----|---------------|
| 152 | 癌幹細胞とニッチを標的とした卵巣癌Dual-targeted therapy戦略        | 片瀧 秀隆  | 生命科学研究部 | 4,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 153 | FAPの次世代型複合的免疫療法によるアミロイド掃討作戦                     | 安東 由喜雄 | 生命科学研究部 | 2,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 154 | 患者由来マウスゼノグラフトのゲノミクス解析による薬剤感受性予測血中マーカーの開発        | 神波 大己  | 生命科学研究部 | 2,800,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 155 | ヒトT細胞白血病ウイルスI型による発がん機構の解明                       | 松岡 雅雄  | 生命科学研究部 | 4,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 156 | 熱応答性経路活性化による糖尿病及び合併症改善効果の解明と臨床応用への基盤構築          | 荒木 栄一  | 生命科学研究部 | 4,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 157 | エピゲノム制御機構の破綻によるグリオーマ発生・進展機構の解明と治療標的の探索          | 武笠 晃丈  | 生命科学研究部 | 3,488,352 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 158 | 房水動態と創傷治癒におけるエピゲノムとファイブロサイトに着目した緑内障病態の研究        | 谷原 秀信  | 生命科学研究部 | 5,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 159 | 脳アミロイドアンギオパチーの進行抑制因子SRPX1をスパーサーとする病態解析          | 井上 泰輝  | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 160 | 5-リポキシゲナーゼ制御によるPPAR $\gamma$ 活性化を介した新規糖尿病治療薬の開発 | 佐藤 美希  | 生命科学研究部 | 570,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 161 | 悪性神経膠腫のゲノム・エピゲノム変化による腫瘍進化機構の解明と新規標的療法の開発        | 武笠 晃丈  | 生命科学研究部 | 1,073,481 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 162 | ヒト造血細胞でのゲノム編集技術基盤の確立と血液腫瘍病態解析への応用               | 松井 啓隆  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 163 | インスリン分泌調節遺伝子を標的とした難治性下垂体腺腫の機能制御と新規治療法開発         | 矢野 茂敏  | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 164 | 悪性グリオーマのBRAF V600E遺伝子変異を標的とした新規治療法の開発           | 黒田 順一郎 | 生命科学研究部 | 1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 165 | 加齢による声帯粘膜固有層の線維化に対する新たな治療法の開発                   | 宮丸 悟   | 生命科学研究部 | 800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 166 | 難治性口腔癌の分泌型microRNAによる腫瘍微小環境構築の理解と新規治療法開発        | 吉田 遼司  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 167 | 循環器疾患における新規血栓形成能測定システムを用いた至適抗血栓療法確立             | 海北 幸一  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|     |   |        |         |           |    |               |
|-----|---|--------|---------|-----------|----|---------------|
| 168 | 慢性腎臓病における創薬ターゲットとしての内因性リガンドMRP8の役割の検討   | 桑原 孝成  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 169 | 糖尿病予測およびiPS細胞移植基盤の確立                    | 松本 志郎  | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 170 | 全身性強皮症を含む皮膚線維化疾患におけるlong non-coding RNA | 神人 正寿  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 171 | 悪性黒色腫に対するiPS細胞由来ミエロイドラインによる新規免疫療法の開発    | 福島 聡   | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 172 | 間葉性異形成胎盤の診断・管理指針作成に関する研究                | 大場 隆   | 生命科学研究部 | 1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 173 | 癒痕声帯における筋線維芽細胞の解析とその活性調節による声帯癒痕化抑制      | 熊井 良彦  | 生命科学研究部 | 600,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 174 | 房水生理活性物質の相互作用による緑内障発症機序の解明              | 井上 みゆき | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 175 | 口腔癌の薬剤耐性関連エクソソームmicroRNAの同定と診断・治療への応用   | 中山 秀樹  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 176 | 封入体筋炎の治療戦略を切り拓くための新たなモデルマウスの開発と治療法の探索   | 山下 賢   | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 177 | 非アルコール性脂肪肝炎の進展における肝内マクロファージ増殖の病態生理学的意義  | 瀬ノ口 隆文 | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 178 | 線維化におけるTGF- $\beta$ 情報伝達の関与についての研究      | 尹 浩信   | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 179 | CTの被曝低減を目的とした総合的研究                      | 山下 康行  | 生命科学研究部 | 700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 180 | GISTに対する分子標的薬耐性バイオマーカーの同定とその臨床応用        | 岩槻 政晃  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 181 | ミニチュアヒト肝臓を用いた肝癌の浸潤・転移機序解明による革新的肝癌治療の開発  | 山下 洋市  | 生命科学研究部 | 1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 182 | 腎癌におけるマクロファージ関連分子に注目した抗癌剤耐性メカニズムの解明     | 元島 崇信  | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 183 | 線維柱帯細胞の食食作用に対する生理活性物質の影響とその調節機構の解明      | 藤本 智和  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 184 | 骨髄播種癌細胞の休眠を担う自律的特性の解明と治療への展開            | 神力 悟   | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|     |   |       |         |           |    |               |
|-----|---|-------|---------|-----------|----|---------------|
| 185 | アセトアミノフェンの鎮痛機序の検討                             | 山本 達郎 | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 186 | 職業性接触皮膚炎の症例収集と2次、3次予防対策の構築                    | 皆本 景子 | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 187 | 緊急災害時のエコミークラス症候群に対する血栓症専門チームの確立と予防法の開発        | 坂本 憲治 | 生命科学研究部 | 1,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 188 | セリンプロテアーゼによる糸球体障害の分子機序解明ならびに新規CKD治療法への応用      | 柿添 豊  | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 189 | 慢性腎臓病発症・進展における腎内局所炎症の意義とその制御による新規治療法の探索       | 向山 政志 | 生命科学研究部 | 1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 190 | cPLA2 $\alpha$ 制御による糖尿病腎症の進展抑制効果の解明と新規腎症治療法開発 | 松村 剛  | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 191 | SGLT2阻害薬による腎糖代謝の変化と糖尿病腎症発症への影響に関する研究          | 河島 淳司 | 生命科学研究部 | 1,700,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 192 | 骨髄異形成症候群における治療ターゲットとしてのSALL4高発現の意義解析          | 立津 央  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 193 | 低ホスファターゼ症の新生児スクリーニング                          | 中村 公俊 | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 194 | アルツハイマー病と特発性正常圧水頭症の発現機序における相互作用についての研究        | 橋本 衛  | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 195 | 三次元放射線治療における体格調整放射線治療計画(PhART)提唱に向けた基礎研究      | 大屋 夏生 | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 196 | サルコペニアにおける免疫学的癌微小環境の意義                        | 今井 克憲 | 生命科学研究部 | 1,400,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 197 | 非小細胞肺癌術中迅速リンパ節転移診断のためのCDCA1-OSNA法の開発          | 鈴木 実  | 生命科学研究部 | 1,900,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 198 | 慢性炎症をターゲットとした動脈硬化の機序解明と、新たな薬物治療の可能性           | 河野 隆幸 | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 199 | 変形性関節症に対する小胞体ストレス応答を標的とした新規治療の開発              | 水田 博志 | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 200 | 舌癌に対する制御性T細胞除去療法の研究                           | 折田 頼尚 | 生命科学研究部 | 2,349,126 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |

|     |  |        |         |           |    |               |
|-----|--|--------|---------|-----------|----|---------------|
| 201 | 網膜色素上皮細胞とマイクログリアの相互作用と眼内増殖膜への影響に関する研究              | 高橋 枝里  | 生命科学研究部 | 1,100,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 202 | 傷害網膜における組織再構築に関わる細胞間シグナルの解明とその制御機構の探索              | 福島 美紀子 | 生命科学研究部 | 1,300,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 203 | 口腔癌におけるC5a-C5a受容体系の癌促進作用解析と標的治療への応用                | 尾木 秀直  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 204 | 大規模臨床検体を用いたGIST分子標的薬耐性バイオマーカーの網羅的解析と臨床応用(国際共同研究強化) | 岩槻 政晃  | 生命科学研究部 | 9,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 205 | EpCAM陽性の癌幹細胞を標的とした分子標的薬による難治性卵巣癌の新たな治療戦略           | 本原 剛志  | 生命科学研究部 | 1,000,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 206 | 小胞形成と共役したNedd4L活性化機構の解明                            | 坂本 泰久  | 生命科学研究部 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 207 | 腎集合尿管酸排泄機構におけるユビキチン-プロテアソーム系の役割の解明                 | 泉 裕一郎  | 生命科学研究部 | 1,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 208 | TTRアミロイドーシス発症・進展の鍵を握るイオンチャンネル障害の解析                 | 三隅 洋平  | 生命科学研究部 | 800,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 209 | 認知症患者を支える家族の介護負担感が患者に及ぼす影響に関する縦断的研究                | 小山 明日香 | 生命科学研究部 | 500,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 210 | ヒトT細胞白血病ウイルス1型の血液幹細胞への感染を介する新たな潜伏感染拡大機構            | 松岡 雅雄  | 生命科学研究部 | 2,500,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 211 | 線維柱帯細胞の可塑性に基づいた新治療開発に関する研究                         | 谷原 秀信  | 生命科学研究部 | 1,600,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 212 | 短鎖脂肪酸受容体の脂肪細胞遺伝子プログラム改変作用を応用した肥満治療法開発              | 荒木 栄一  | 生命科学研究部 | 700,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 213 | 次世代型培養技術を駆使したびまん性星細胞腫モデル細胞の樹立                      | 武笠 晃丈  | 生命科学研究部 | 2,541,259 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 214 | アセチルコリン受容体にフォーカスした自己免疫性自律神経節障害の多様性の解明              | 中根 俊成  | 生命科学研究部 | 1,200,000 | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 215 | 多層検出器CTによるがん治療効果の画像バイオマーカーおよび予後予測システムの開発           | 中浦 猛   | 生命科学研究部 | 500,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |
| 216 | 心臓弁膜症がもたらす心筋壁運動と血流異常に関するCTベクトル機能解析と臨床応用            | 宇都宮 大輔 | 生命科学研究部 | 500,000   | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会 |



|     |  |        |         |            |    |                 |
|-----|--|--------|---------|------------|----|-----------------|
| 217 | TNF $\alpha$ 変換酵素による白色脂肪細胞ブラウニング制御を応用した生活習慣病治療法構築                                    | 本島 寛之  | 生命科学研究部 | 1,400,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会   |
| 218 | マイクロRNAによる心不全病態形成の分子機構解明   | 宮田 敬士  | 生命科学研究部 | 1,200,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会   |
| 219 | 多層検出器CTを用いた冠動脈脆弱性プラークの新たな定量的評価法の開発   | 尾田 済太郎 | 生命科学研究部 | 2,300,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会   |
| 220 | 冠動脈サブトラクションCTAの撮像法の最適化および狭窄率・プラーク評価の検討   | 木藤 雅文  | 生命科学研究部 | 500,000    | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会   |
| 221 | 高血圧発症における新規長鎖ノンコーディングRNAの機能解明  | 謝 佩玉   | 生命科学研究部 | 1,400,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会   |
| 222 | 生理活性因子AGFの抗肥満作用機序解明と寿命延長作用の検討  | 杉崎 太一  | 生命科学研究部 | 1,200,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会   |
| 223 | HSP90阻害剤による希少かつ難治な血管肉腫に対する新規治療法  | 梶原 一亨  | 生命科学研究部 | 900,000    | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会   |
| 224 | 黄砂、PM2.5の急性心筋梗塞・心原性心停止発症に対する影響と高感受性集団の同定   | 小島 淳   | 生命科学研究部 | 1,600,000  | 補委 | 独立行政法人日本学術振興会   |
| 225 | 多系統蛋白質症(MSP)の疾患概念確立および診断基準作成、診療体制構築に関する研究  | 山下 賢   | 生命科学研究部 | 1,308,000  | 補委 | 厚生労働省           |
| 226 | 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究  | 尹 浩信   | 生命科学研究部 | 8,000,000  | 補委 | 厚生労働省           |
| 227 | 先天性代謝異常症の生涯にわたる診療支援を目指したガイドラインの作成・改訂および診療体制の整備に向けた調査研究                               | 中村 公俊  | 生命科学研究部 | 19,157,000 | 補委 | 厚生労働省           |
| 228 | 多面的アプローチを用いた高次脳機能障害患者の復職支援プログラムの開発に関する研究   | 橋本 衛   | 生命科学研究部 | 7,200,000  | 補委 | 厚生労働省           |
| 229 | Stage II / Stage III 結腸癌 治癒切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6療法の認容性に関する検討 (JFMC41-1001-C2) | 馬場 秀夫  | 研究部(医)  | 0          | 補委 | 財団法人がん集学的治療研究財団 |
| 230 | 頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為化比較試験(CAS-CARE)                             | 甲斐 豊   | 医学部附属病院 | 0          | 補委 | 財団法人先端医療振興財団    |

|     |   |       |        |           |        |                      |
|-----|---|-------|--------|-----------|--------|----------------------|
| 231 | 上皮成長因子受容体遺伝子変異(Exon 19 deletionまたはExon 21 point mutation)がない、または不明である非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン+ペムトレキセド+ベバシズマブ併用療法施行後、維持療法として、ペムトレキセド+ベバシズマブ併用療法をベバシズマブ単剤と比較する第Ⅲ相臨床試験(WJOG5610L)  | 藤井 一彦 | 研究部(医) | 0         | 補<br>委 | 特定非営利活動法人西日本がん研究機構   |
| 232 | KRAS野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法mFOLFOX6と周術期化学療法mFOLFOX6+セツキシマブの第Ⅲ相ランダム化比較試験(研究略称:EXPERT)  | 馬場 秀夫 | 研究部(医) | 0         | 補<br>委 | 公益財団法人先端医療振興財団       |
| 233 | 切除不能大腸癌1次治療におけるTS-1, irinotecan, bevacizumab併用療法の有用性を検証する臨床第Ⅲ相試験(TRICOLORE)   | 馬場 秀夫 | 研究部(医) | 1,057,840 | 補<br>委 | 特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会 |
| 234 | (本体研究)StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験ACHIEVE Trial(JFMC47-1202-C3)<br>(付随研究)StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験付随研究 | 馬場 秀夫 | 研究部(医) | 64,800    | 補<br>委 | 財団法人がん集学的治療研究財団      |
| 235 | HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたベバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究(JBCRG-C05)  | 山本 豊  | 研究部(医) | 15,385    | 補<br>委 | 一般社団法人JBCRG          |
| 236 | ハイリスク消化管間質腫瘍(GIST)に対する完全切除後の治療に対する研究(研究略称:STAR ReGISTry)  | 馬場 秀夫 | 研究部(医) | 0         | 補<br>委 | 公益財団法人先端医療振興財団       |

|     |  |       |         |         |        |                       |
|-----|--|-------|---------|---------|--------|-----------------------|
| 237 | 化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期肺扁平上皮癌に対するCBDCA+TS-1併用療法後のTS-1維持療法の無作為化第Ⅲ相試験(WJOG7512L)  | 藤井 一彦 | 研究部(医)  | 498,034 | 補<br>⑤ | 特定非営利活動法人西日本がん研究機構    |
| 238 | 膵癌術前化学療法としてのGemcitabine+S-1療法(GS療法)の第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験(Prep-02/JSAP-05)   | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0       | 補<br>⑤ | 特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット |
| 239 | 局所進行直腸癌に対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法の臨床第Ⅱ相試験(SAMRAI-2 TRIAL)  | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0       | 補<br>⑤ | 特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会  |
| 240 | 抗EGFR抗体薬パニツムマブ投与歴のあるKRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるパニツムマブ再投与の第Ⅱ相試験(JACCRO CC-09)   | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0       | 補<br>⑤ | 特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構 |
| 241 | 慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討<br>Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy - Statin and Eicosapentaenoic Acid (RESPECT-EPA)] | 坂本 憲治 | 医学部附属病院 | 0       | 補<br>⑤ | 一般財団法人生産開発科学研究所       |
| 242 | StageⅢ 結腸癌に対する術後補助化学療法としてのS-1+Oxaliplatin(C-SOX)療法の効果・安全性確認試験(KSCC1303)  | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0       | 補<br>⑤ | 一般社団法人九州臨床研究支援センター    |
| 243 | StageⅢ 治癒切除胃癌症例におけるTS-1術後補助化学療法の予後予測因子および副作用発現の危険因子についての探索的研究(JACCRO GC-07AR)  | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0       | 補<br>⑤ | 特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構 |
| 244 | 切除不能・再発結腸/直腸がん初回化学療法例に対するmFOLFOX6 + bevacizumab(BV)療法、または、XELOX + BV療法の治療感受性・耐性因子に関するバイオマーカー研究(WJOG7612GTR)  | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0       | 補<br>⑤ | 特定非営利活動法人西日本がん研究機構    |

|     |  |        |         |         |        |                                   |
|-----|--|--------|---------|---------|--------|-----------------------------------|
| 245 | 切除不能な進行・再発大腸癌に対する2次治療としてのXELIRI with/without Bevacizumab療法と FOLFIRI with/without Bevacizumab 療法の国際共同第Ⅲ相ランダム化比較試験 (AXEPT試験)   | 馬場 秀夫  | 研究部(医)  | 0       | 補<br>委 | 特定非営利活動法人疫学臨床試験研究支援機構(NPO法人ECRIN) |
| 246 | HER2 陽性進行・再発乳癌に対するトラスツマブ、ヘルツマブ、エリブリン併用療法の有用性の検討試験 (JBCRG-M03)  | 山本 豊   | 研究部(医)  | 0       | 補<br>委 | 一般社団法人JBCRG                       |
| 247 | ホルモン陽性HER2陰性進行再発乳癌に対する、ホルモン療法による維持療法を利用したペバシズマブ+パクリタキセル療法の治療最適化研究 (JBCRG-M04)  | 山本 豊   | 研究部(医)  | 116,307 | 補<br>委 | 一般社団法人JBCRG                       |
| 248 | 転移性前立腺癌に対するGnRH アンタゴニスト単剤療法とGnRH アゴニスト CAB 療法のランダム化比較試験 (KYUCOG-1401)  | 田上 憲一郎 | 医学部附属病院 | 49,847  | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター                |
| 249 | 成人肝臓移植術後の消化管障害に対するTJ-100 ツムラ大建中湯(医療用)の有効性に関する検討—多施設共同による二重盲検無作為化比較臨床試験—  | 猪股 裕紀洋 | 研究部(医)  | 0       | 補<br>委 | 国立大学法人京都大学                        |
| 250 | 根治切除可能な進行直腸癌に対する術前化学療法としてのSOX 療法と mFOLFOX6 療法の有用性の検討—ランダム化第Ⅱ相臨床試験— (KSCC1301)  | 馬場 秀夫  | 研究部(医)  | 0       | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター                |
| 251 | 切除不能進行・再発大腸癌患者におけるレゴラフェニブによる疲労・倦怠感に対する経口ステロイド剤予防療法の検討—無作為化、プラセボ対照、二重盲検、第Ⅱ相臨床試験 (KSCC1402)  | 馬場 秀夫  | 研究部(医)  | 0       | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター                |
| 252 | 冠動脈ステント留置術後12ヶ月超を経た心房細動患者に対するワーファリン単独療法の妥当性を検証する多施設無作為化試験【OAC-ALONE Study: Optimizing Antithrombotic Care in patients with Atrial fibrillation and coronary stEnt study】 | 海北 幸一  | 医学部附属病院 | 24,923  | 補<br>委 | 一般財団法人生産開発科学研究所                   |
| 253 | 静脈血栓塞栓症前向き追跡研究 (AKAFUJI study)   | 辻田 賢一  | 研究部(医)  | 0       | 補<br>委 | 国立大学法人三重大学医学部附属病院                 |

|     |  |       |         |           |        |                         |
|-----|--|-------|---------|-----------|--------|-------------------------|
| 254 | 切除不能KRAS 野生型大腸癌に対するI 次療法としてのセツキシマブ +IRIS 療法に関する第 I / II 相臨床試験 (KSCC1401)   | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター      |
| 255 | 切除不能進行・再発大腸癌におけるRAS 遺伝子変異型に対する一次治療 FOLFOXIRI+ペバシズマブ併用療法の第 II 相試験 (JACCRO CC-11)  | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構   |
| 256 | 非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/ TIA におけるリバーロキサバンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)  | 渡邊 聖樹 | 医学部附属病院 | 0         | 補<br>委 | 公益財団法人循環器病研究振興財団        |
| 257 | JFMC46-1201 再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV 療法の臨床的有用性に関する研究   | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 116,310   | 補<br>委 | 公益財団法人がん集学的治療研究財団       |
| 258 | 閉経後ER 陽性進行再発乳癌におけるフルベストラントの至適投与方法の検討(JBCRG-C06)  | 山本 豊  | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 一般社団法人JBCRG             |
| 259 | 日本人の頭頸部癌患者におけるCetuximabを含む治療の観察研究  | 大屋 夏生 | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構   |
| 260 | 安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE Study : Atrial Fibrillation and Ischemic events with Rivaroxaban in patients with stable coronary artery disease Study) | 海北 幸一 | 研究部(医)  | 249,234   | 補<br>委 | 公益財団法人循環器病研究振興財団        |
| 261 | プロテオーム統合データベースjPOSTおよびフォーカスデータベースの開発   | 荒木 令江 | 研究部(医)  | 6,900,000 | 補<br>委 | 国立研究開発法人科学技術振興機構        |
| 262 | 続発緑内障に対する0.4% リバシジル点眼の効果に関する多施設研究  | 谷原 秀信 | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 興和株式会社/特定非営利活動法人臨床評価研究所 |
| 263 | 関節リウマチに対するアバタセプトの効果の検討 (ABT-ATS)   | 平田 真哉 | 医学部附属病院 | 0         | 補<br>委 | 帝京大学臨床研究センター            |

|     |  |        |         |            |        |                        |
|-----|--|--------|---------|------------|--------|------------------------|
| 264 | オレンシアを投与された関節リウマチ・動脈硬化症併発患者における、動脈硬化進展の要因となる抗体群の同定と、抗体群・動脈硬化バイオマーカー・構造マーカーに対するオレンシアの有効性の検討<br>(略称: ORACLE Arthritis) | 平田 真哉  | 医学部附属病院 | 0          | 補<br>委 | 帝京大学臨床研究センター           |
| 265 | 脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討 CSPS.com  | 安東 由喜雄 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 公益財団法人循環器研究振興財団        |
| 266 | 化学療法末治療のHER2陰性進行・再発胃癌に対するオキサリプラチン+S-1療法について検討する第II相臨床試験<br>(KSCC1501A)   | 馬場 秀夫  | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター     |
| 267 | 化学療法末治療のHER2陰性進行・再発胃癌に対するオキサリプラチン+S-1+トラスツズマブ併用療法について検討する第II相臨床試験(KSCC1501B)   | 馬場 秀夫  | 研究部(医)  | 83,078     | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター     |
| 268 | HER2陽性の進行・再発乳癌に対するペルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究－ペルツズマブ再投与試験－<br>JBCRG-M05<br>(PRECIOUS)                                | 山本 豊   | 研究部(医)  | 16,616     | 補<br>委 | 一般社団法人JBCRG            |
| 269 | 既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルnab-パクリタキセルのランダム化比較第III相試験  | 藤井 一彦  | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学             |
| 270 | エクソソームRNA解析によるインフルエンザの予防・診断・治療基盤技術の創出  | 押海 裕之  | 研究部(医)  | 12,700,000 | 補<br>委 | 国立研究開発法人科学技術振興機構       |
| 271 | RNAモドミクスの確立及び神経・精神疾患への応用   | 魏 范研   | 研究部(医)  | 16,427,000 | 補<br>委 | 国立研究開発法人科学技術振興機構       |
| 272 | 「進行悪性黒色腫に対するニボルマブの有効性評価に関する観察研究－CREATIVE－」<br>(研究略称名: CSPOR-melanoma)  | 尹 浩信   | 研究部(医)  | 16,616     | 補<br>委 | 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター |
| 273 | 内分泌療法耐性エストロゲン受容体陽性転移乳がんに対する二次内分泌療法のコホート研究(研究略称名: HORSE-BC研究)   | 山本 豊   | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 一般社団法人CSPOR-BC         |
| 274 | 乳癌の術前・術後化学療法における発熱性好中球減少症に関する観察研究  | 山本 豊   | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 一般社団法人CSPOR-BC         |

|     |   |       |         |           |        |                           |
|-----|---|-------|---------|-----------|--------|---------------------------|
| 275 | 局所進行子宮頸癌根治放射線療法施行例に対するUFTによる補助化学療法のランダム化第Ⅲ相比較試験   | 片瀧 秀隆 | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 一般社団法人北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム |
| 276 | 骨髄不全症候群および発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)疑い症例におけるGPIアンカー膜蛋白欠損血球の保有率とその意義を明らかにするための観察研究(OPTIMA)   | 米村 雄士 | 医学部附属病院 | 500,000   | 補<br>委 | 一般社団法人日本PNH研究会            |
| 277 | 骨髄不全患者における、PNH型血球割合とPNH関連の臨床症状を経時的にみる観察研究(SUPREMACY)  | 米村 雄士 | 医学部附属病院 | 500,000   | 補<br>委 | 一般社団法人日本PNH研究会            |
| 278 | 思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第Ⅰ期;2012年4月-2019年12月)(2016年契約)  | 片瀧 秀隆 | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 公益財団法人国際科学振興財団/クオールRD株式会社 |
| 279 | 局所進行胃癌・食道胃接合部癌に対する術前化学療法としてのS-1+オキサリプラチン併用療法の有効性・安全性について検討する第Ⅱ相臨床試験(KSCC1601)   | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター        |
| 280 | 日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究): Japan Acute Myocardial Infarction Registry   | 小島 淳  | 研究部(医)  | 91,410    | 補<br>委 | 公益財団法人循環器病研究振興財団          |
| 281 | 局所進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン/nab-パクリタキセル(アブラキサン®)胸部放射線同時併用化学療法の臨床第Ⅰ/Ⅱ相試験   | 佐伯 祥  | 医学部附属病院 | 0         | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター        |
| 282 | エベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板剤2剤併用療法(DAPT)期間を1カ月に短縮することの安全性を評価する研究 [Short and Optimal duration of Dual AntiPlatelet Therapy study after everolimus-eluting cobalt-chromium stent -2 (STOPDAPT2)] | 辻田 賢一 | 研究部(医)  | 0         | 補<br>委 | 一般財団法人生産開発科学研究所           |
| 283 | Developing rational therapeutic approaches for acral melanoma (末端部黒子型悪性黒色腫に対する合理的治療法の開発)  | 福島 聡  | 研究部(医)  | 1,095,650 | 補<br>委 | カリフォルニア大学                 |

|     |  |       |         |            |        |   |
|-----|--|-------|---------|------------|--------|---|
| 284 | 高齢者化学療法未施行<br>III B/IV期扁平上皮肺がん<br>に対するnab-Paclitaxel +<br>Carboplatin併用療法と<br>Docetaxel単剤療法のラン<br>ダム化第III相試験     | 興梠 博次 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 独立行政法<br>人国立病院<br>機構名古屋<br>医療セン<br>ター             |
| 285 | 持続する発熱性好中球減<br>少症に対する 従来型の<br>経験的抗真菌治療とD-<br>indexに基づく早期抗真菌<br>治療の無作為割付比較<br>試験(CEDMIC trial)(日<br>本FN研究会 第6次研究) | 宮川 寿一 | 医学部附属病院 | 92,308     | 補<br>委 | 特定非営利<br>活動法人<br>臨床血液・<br>腫瘍研究会<br>イービーエ<br>ス株式会社 |
| 286 | 脳神経系細胞分画技術を<br>基盤とした体細胞変異の<br>解析   | 文東 美紀 | 研究部(医)  | 8,548,000  | 補<br>委 | 国立研究開<br>発法人科学<br>技術振興機<br>構                      |
| 287 | 分化型甲状腺癌を対象と<br>したレンパチニブの治療<br>効果探索のためのコホー<br>ト研究   | 岩瀬 弘敬 | 研究部(医)  | 49,848     | 補<br>委 | 公益財団法<br>人パブリック<br>ヘルスリ<br>サーチセン<br>ター            |
| 288 | 低リスク骨髄異形成症候<br>群におけるダルベポエチ<br>ン アルファに対する反応<br>性に関する解析  | 松岡 雅雄 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 一般社団法<br>人九州臨床<br>研究支援セ<br>ンター                    |
| 289 | 遅発型ポンベ病患者ハイ<br>リスクスクリーニング調査<br>研究  | 小篠 史郎 | 医学部附属病院 | 49,847     | 補<br>委 | 国立研究開<br>発法人国立<br>精神・神経<br>医療研究セ<br>ンター           |
| 290 | 根治療法後に再発を来し<br>た非転移性の去勢抵抗性<br>前立腺癌に対するエンザ<br>ルタミドの臨床効果および<br>安全性の検討<br>(JCASTRE-Zero)                            | 神波 大己 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 公益財団法<br>人先端医療<br>振興財団                            |
| 291 | regorafenib投与後の画像<br>変化と治療効果に関する<br>後方視的コホート研究<br>(KSCC1603)   | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 58,159     | 補<br>委 | 一般社団法<br>人九州臨床<br>研究支援セ<br>ンター                    |
| 292 | 静脈血栓塞栓症における<br>非ビタミンK阻害経口抗凝<br>固薬治療の前向き追跡研<br>究(KUROSIO study)   | 辻田 賢一 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 国立大学法<br>人三重大学<br>医学部附属<br>病院                     |
| 293 | 産婦人科学分野に関する<br>学術研究動向 -若年化<br>する子宮内膜症・子宮腺<br>筋症と妊孕性-   | 片渕 秀隆 | 研究部(医)  | 1,300,000  | 補<br>委 | 独立行政法<br>人日本学術<br>振興会                             |
| 294 | エビゲノム解析を起点とし<br>たうつ症状の病態と抗うつ<br>作用機序の解析  | 岩本 和也 | 研究部(医)  | 31,128,463 | 補<br>委 | 国立研究開<br>発法人日本<br>医療研究開<br>発機構                    |
| 295 | iPS細胞を用いた再生医<br>療における組織不適合の<br>解決  | 千住 覚  | 研究部(医)  | 19,980,770 | 補<br>委 | 国立研究開<br>発法人日本<br>医療研究開<br>発機構                    |



|     |  |        |         |            |        |                      |
|-----|--|--------|---------|------------|--------|----------------------|
| 296 | 医療事故の発生を抑止する医療事故発生予測技術を可能とするビッグデータ解析基盤の研究開発        | 宇宿 功市郎 | 医学部附属病院 | 200,000    | 補<br>委 | 九州総合通信局              |
| 297 | 糖尿病患者における肝細胞癌発生の実態把握とその分子機構                        | 荒木 栄一  | 研究部(医)  | 7,050,000  | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 298 | ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染細胞の特性解明に基づいた診断・予防・治療法開発研究          | 松岡 雅雄  | 研究部(医)  | 11,053,610 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 299 | 脳・腸連関を支える自律神経系の理解から恒常性維持機構の解明へ                     | 太田 訓正  | 研究部(医)  | 5,910,000  | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 300 | 組織修復に基づく恒常性維持機構の変容による生活習慣病の病態解明と制御                 | 尾池 雄一  | 研究部(医)  | 35,000,000 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 301 | 心臓・骨・腎臓ネットワーク機構とこれを支える血管恒常性メカニズムの解明                | 向山 政志  | 研究部(医)  | 4,000,000  | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 302 | 野生型と薬剤耐性B型肝炎ウイルスに強力な活性を發揮する新規治療薬の研究・開発             | 満屋 裕明  | 医学部附属病院 | 70,839,548 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 303 | 多剤耐性HIV変異株に強力な高いCNS透過性を有する新規抗HIV薬の開発と実用化           | 満屋 裕明  | 医学部附属病院 | 55,021,077 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 304 | HTLV-1の疫学研究及び総合対策に資する研究                            | 野坂 生郷  | 医学部附属病院 | 1,076,924  | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 305 | 硫酸抱合型尿毒症物質産生阻害薬の探索                                 | 齋藤 秀之  | 医学部附属病院 | 9,910,125  | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 306 | 電子顕微鏡で見る細胞の世界～ミクロのその先を見てみよう!                       | 若山 友彦  | 研究部(医)  | 200,000    | 補<br>委 | 独立行政法人日本学術振興会        |
| 307 | システイン合成を標的とする新規な抗菌化合物の探索と既存抗菌剤に対する増強作用の解析          | 澤 智裕   | 研究部(医)  | 1,822,727  | 補<br>委 | 国立大学法人東北大学           |
| 308 | 視機能が高齢者の身体機能に与える影響および予防・治療法の標準化に関する研究              | 谷原 秀信  | 研究部(医)  | 400,000    | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター |
| 309 | 在宅介護におけるネガティブアウトカムを呈する介護者の迅速な同定法の確立:サポートスキーム構築に向けて | 橋本 衛   | 研究部(医)  | 500,000    | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター |
| 310 | 遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の第2/3相試験                   | 山下 賢   | 研究部(医)  | 2,307,693  | 補<br>委 | 国立大学法人東北大学           |

|     |  |        |         |           |        |                            |
|-----|--|--------|---------|-----------|--------|----------------------------|
| 311 | 胆道閉鎖症の予後予測に関する新規バイオマーカー探索に関する研究  | 菅原 寧彦  | 研究部(医)  | 700,000   | 補<br>委 | 国立大学法人東北大学                 |
| 312 | 消化管内圧検査による舌骨・喉頭挙上訓練法の有効性の評価  | 熊井 良彦  | 研究部(医)  | 200,000   | 補<br>委 | 国立大学法人東北大学                 |
| 313 | 思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第I期;2012年4月-2019年12月)(2017年契約) | 片渕 秀隆  | 研究部(医)  | 42,308    | 補<br>委 | 公益財団法人国際科学振興財団/株式会社ヌーベルプラス |
| 314 | HER2陽性の進行・再発胃癌を対象としたトラスツズマブ既治療例におけるHER2 Statusに関する多施設共同観察研究(KSCC1604)                  | 馬場 秀夫  | 研究部(医)  | 124,617   | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター         |
| 315 | 心房細動合併急性冠症候群患者における抗血栓治療後の出血と血栓リスクに関する前向き観察研究(多施設共同研究)(STAR-ACS)                        | 辻田 賢一  | 研究部(医)  | 199,386   | 補<br>委 | 学校法人順天堂 順天堂大学              |
| 316 | 神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究(自己抗体介在性神経疾患の診断と治療に関する研究(自己抗体と病態関連に関する研究))                  | 安東 由喜雄 | 研究部(医)  | 500,000   | 補<br>委 | 国立精神・神経医療研究センター            |
| 317 | 筋ジストロフィーの臨床開発促進を目指した臨床研究(眼咽頭型筋ジストロフィーの患者登録システム構築と臨床疫学情報収集に関する研究)                       | 山下 賢   | 研究部(医)  | 700,000   | 補<br>委 | 国立精神・神経医療研究センター            |
| 318 | J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究   | 荒木 栄一  | 研究部(医)  | 300,000   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立国際医療研究センター       |
| 319 | 再発膠芽腫に対するテモゾロミド用量強化法を用いた標準治療確立に関する研究   | 中村 英夫  | 医学部附属病院 | 0         | 補<br>委 | 学校法人杏林学園杏林大学               |
| 320 | 全国レベルでのデータベースの構築を目指して、SCRUM-Japanへの登録推進と、自施設における臨床データのEDC入力体制の整備                       | 猿渡 功一  | 医学部附属病院 | 200,000   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター         |
| 321 | iPS細胞を用いた治療法における組織不適合ならびに発がんリスクの問題の革新的解決法の開発   | 千住 覚   | 研究部(医)  | 1,000,000 | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター         |
| 322 | iPS細胞由来のミエロイド系細胞ライン(iPS-ML)の臨床応用への基盤整備   | 千住 覚   | 研究部(医)  | 500,000   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター         |

|     |   |        |        |           |        |                         |
|-----|---|--------|--------|-----------|--------|-------------------------|
| 323 | 超高齢者社会における治療困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究  | 馬場 秀夫  | 研究部(医) | 93,870    | 補<br>委 | 国立研究開発法人 国立がん研究センター     |
| 324 | 先進的治療法が確立した新たな成育疾患のスクリーニング法の開発とその適応基準の作成に関する研究<br>(1. ライソゾーム病の新生児スクリーニングの実施とその解析 2. ライソゾーム病のハイスクリーニングの実施とその解析)      | 中村 公俊  | 研究部(医) | 750,000   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立成育医療研究センター    |
| 325 | 新生児マススクリーニング対象疾患等の診療に直結するエビデンス創出研究  | 中村 公俊  | 研究部(医) | 400,000   | 補<br>委 | 国立大学法人岐阜大学              |
| 326 | 未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究   | 安東 由喜雄 | 研究部(医) | 3,076,924 | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター |
| 327 | 肺腺癌の生存シグナル維持を担う分子標的の特性解明と特異的阻害剤の研究開発  | 山口 知也  | 研究部(医) | 3,500,000 | 補<br>委 | 国立大学法人名古屋大学             |
| 328 | 免疫抑制性ミエロイド細胞制御による新たな免疫療法の開発   | 菰原 義弘  | 研究部(医) | 2,880,000 | 補<br>委 | 国立大学法人京都大学              |
| 329 | 70歳以上の切除不能進行・再発結腸・直腸癌患者を対象としたTFTD(TAS-102)とBevacizumabの同時併用療法第Ⅱ相臨床試験(KSCC1602)                                      | 馬場 秀夫  | 研究部(医) | 0         | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター      |
| 330 | 切除不能進行・再発結腸・直腸癌症例におけるTFTD(TAS-102)の末梢血単核球における取り込み量測定の有用性の検討(KSCC1602-A)   | 馬場 秀夫  | 研究部(医) | 0         | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター      |
| 331 | 前治療のEGFR-TKI後に進行した、T790M陽性の局所進行または転移性非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたオシメルチニブ単剤療法とオシメルチニブ/カルボプラチン/ヘマトレキセド療法の無作為化非盲検第Ⅱ相試験(LOGIK1604) | 藤井 一彦  | 研究部(医) | 33,232    | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター      |
| 332 | 1) 尿素サイクル異常症患者の予後調査<br>2) 新生児におけるOCT欠損症スクリーニングのパイロット研究  | 中村 公俊  | 研究部(医) | 923,077   | 補<br>委 | 国立大学法人島根大学              |

|     |   |       |        |           |        |                      |
|-----|---|-------|--------|-----------|--------|----------------------|
| 333 | 山本小班 インターグループ試験<br>特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン+nab-パクリタキセル+ニンテダニブ療法とカルボプラチン+nab-パクリタキセル療法のランダム化第II相試験(J-SONIC) | 藤井 一彦 | 研究部(医) | 0         | 補<br>委 | 特定非営利活動法人西日本がん研究機構   |
| 334 | 循環調節分子の生体での機能解明による新規治療の開発基盤研究<br>(分担研究課題名:循環機能障害の分子機構心筋由来分泌因子の機能解明による新規心不全治療の開発基盤研究解明と治療法開発)                    | 尾池 雄一 | 研究部(医) | 720,000   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立循環器病研究センター |
| 335 | 循環器疾患診療実態調査(JROAD)におけるJROAD-DPCと臨床データのValidationに関する研究(分担研究課題:虚血性心疾患に関するValidation)                             | 辻田 賢一 | 研究部(医) | 500,000   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立循環器病研究センター |
| 336 | 急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病のゲノム解析とバイオマーカーに基づいた造血幹細胞移植の最適化に関する研究   | 松岡 雅雄 | 研究部(医) | 1,500,000 | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター   |
| 337 | 多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立   | 日比 泰造 | 研究部(医) | 153,847   | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学           |
| 338 | 切除不能または再発食道癌に対するCF(シスプラチン+5-FU)療法とbDCF(biweeklyドセタキセル+CF)療法のランダム化第III相比較試験                                      | 馬場 秀夫 | 研究部(医) | 769,231   | 補<br>委 | 静岡県立静岡がんセンター         |
| 339 | HLA改変マウスを用いたHBV感染モデルにおけるcccDNA制御とHBV再活性化メカニズムの解析  | 佐々木 裕 | 研究部(医) | 6,153,847 | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立国際医療研究センター |
| 340 | 経カテーテル大動脈弁置換術の有効性・最適化・費用対効果を明らかにする研究<br>分担:経カテーテル大動脈弁置換術前後でQOLの改善を認めない、あるいは心不全を発症する患者の同定と評価                     | 辻田 賢一 | 研究部(医) | 101,329   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立循環器病研究センター |
| 341 | 健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究  | 橋本 衛  | 研究部(医) | 8,461,539 | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学           |

|     |  |       |         |            |        |                      |
|-----|--|-------|---------|------------|--------|----------------------|
| 342 | 軽度認知障害(MCI)ならびに軽症認知症患者に対する本人の病識ならびに心情調査と、BPSD予防を念頭に置いた軽症認知症の対応指針の作成と検証                             | 橋本 衛  | 研究部(医)  | 500,000    | 補<br>委 | 国立大学法人大阪大学           |
| 343 | 慢性疲労症候群の血清学的診断法の新規開発   | 中根 俊成 | 研究部(医)  | 1,538,462  | 補<br>委 | 国立研究開発法人理化学研究所       |
| 344 | 第1/2a相試験 長期投与試験  | 松岡 雅雄 | 研究部(医)  | 400,000    | 補<br>委 | 学校法人聖マリアンナ医科大学       |
| 345 | 全国的レジストリーによる脳卒中および循環器疾患の実態把握の確立と両疾患合併に関する包括的診療実態解明に関する研究   | 辻田 賢一 | 研究部(医)  | 384,616    | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立循環器病研究センター |
| 346 | 小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究  | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 461,539    | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター   |
| 347 | tRNA修飾以上を起因とする疾患の診断システム開発  | 富澤 一仁 | 研究部(医)  | 14,060,000 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 348 | 抗腫瘍効果を有するiPS細胞由来免疫細胞の非臨床試験   | 千住 覚  | 研究部(医)  | 46,153,847 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 349 | 食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎抑制作用の検討ーエレンタール®非投与群を対照群としたランダム化第Ⅲ相比較臨床試験(EPOC2 study)                  | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 公益財団法人がん集学的治療研究財団    |
| 350 | ライフデザイン啓発事業  | 大場 隆  | 研究部(医)  | 409,300    | 補<br>委 | 熊本県                  |
| 351 | HER2 陰性転移・再発乳癌患者を対象にエリ布林とS1のhealth-related quality of life(HRQoL)を比較するランダム化第Ⅲ相試験<br>(研究略称名:RESQ研究) | 岩瀬 弘敬 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 一般社団法人CSPOR-BC       |
| 352 | 重症下肢虚血肢に対するローターブレードの適応拡大を目的とした臨床試験【CCT-C-2923】   | 辻田 賢一 | 研究部(医)  | 307,693    | 補<br>委 | 公益社団法人日本医師会          |
| 353 | 中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究  | 中村 英夫 | 医学部附属病院 | 200,000    | 補<br>委 | 学校法人埼玉医科大学           |
| 354 | がん細胞および免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立  | 福島 聡  | 研究部(医)  | 10,769,231 | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター   |

|     |  |       |         |            |        |                      |
|-----|--|-------|---------|------------|--------|----------------------|
| 355 | 赤血球製剤使用ガイドラインの改訂   | 米村 雄士 | 医学部附属病院 | 200,000    | 補<br>委 | 国立大学法人名古屋大学          |
| 356 | 急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立                             | 野坂 生郷 | 医学部附属病院 | 380,000    | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立がん研究センター   |
| 357 | 細菌の酸化ストレス耐性を標的とした新規治療戦略の開発   | 澤 智裕  | 研究部(医)  | 9,770,770  | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 358 | 第3世代EGFR-TKI(オシメルチニブ)の耐性機序にかかわるバイオマーカー探索に関する研究(LOGIK1607)                | 藤井 一彦 | 研究部(医)  | 16,616     | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター   |
| 359 | 車中泊・避難所でのエコノミークラス症候群に対する災害時スクリーニング技術の開発(熊本地震後のエコノミークラス症候群予防啓発活動と実態調査)    | 坂本 憲治 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立循環器病研究センター |
| 360 | 大腸癌肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究                                       | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 153,847    | 補<br>委 | 愛知県がんセンター            |
| 361 | 再発膠芽腫に対する用量強化テモゾロミド+ペバシズマブ逐次併用療法をペバシズマブ療法と比較する多施設共同ランダム化第Ⅲ相試験(JCOG1308C) | 武笠 晃丈 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 杏林大学医学部附属病院          |
| 362 | 皮膚癌の病態について   | 尹 浩信  | 研究部(医)  | 1,000,000  | 補<br>委 | 出水市病院事業              |
| 363 | GPR77の下行性疼痛抑制系における役割   | 山本 達郎 | 研究部(医)  | 2,000,000  | 補<br>委 | 出水市病院事業              |
| 364 | 腫瘍診断における機械学習の応用  | 中浦 猛  | 研究部(医)  | 1,000,000  | 補<br>委 | 出水市病院事業              |
| 365 | 高齢者進行・再発胃癌に対する1次治療としてのS-1+ラムシルマブ療法多施設共同第Ⅱ相試験                             | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 一般社団法人九州臨床研究支援センター   |
| 366 | 神経膠腫(グリオーマ)の治療抵抗性に関連した不均一性獲得機構の解明とそれに対応する治療戦略の構築                         | 武笠 晃丈 | 研究部(医)  | 16,216,870 | 補<br>委 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構   |
| 367 | 内分泌学的因子を包含した新たな子宮内膜癌の治療戦略に関する研究  | 片渕 秀隆 | 研究部(医)  | 1,000,000  | 補<br>委 | 出水市病院事業              |
| 368 | HTLV-1プロウイルスとゲノム組み込み部位の解析による病態解明と発症危険群の同定                                | 松岡 雅雄 | 研究部(医)  | 10,384,616 | 補<br>委 | 国立大学法人京都大学           |

|     |  |       |         |            |        |                                       |
|-----|--|-------|---------|------------|--------|---------------------------------------|
| 369 | 適格患者の登録・治療・<br>評価、検体保存(BBJ)  | 野坂 生郷 | 医学部附属病院 | 500,000    | 補<br>委 | 独立行政法<br>人国立病院<br>機構名古屋<br>医療セン<br>ター |
| 370 | 脳転移(放射線未治療)<br>のあるT790M陽性非小細<br>胞肺癌に対するオシメル<br>チニブの第II相試験<br>(LOGIK1603/WJOG9116<br>L) | 藤井 一彦 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 一般社団法<br>人九州臨床<br>研究支援セ<br>ンター        |
| 371 | 第3世代EGFRチロシキ<br>ナーゼ阻害剤効果予測に<br>おける血漿遊離DNAの有<br>用性についての研究                               | 松井 啓隆 | 研究部(医)  | 1,200,000  | 補<br>委 | 国立大学法<br>人佐賀大学                        |
| 372 | 低分化型胃癌によるカヘ<br>キシア病態機構の解明  | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 3,000,000  | 補<br>委 | 出水市病院<br>事業                           |
| 373 | 悪性神経膠腫患者におけ<br>る網羅的遺伝子解析に基<br>づく臨床経過の調査  | 中村 英夫 | 医学部附属病院 | 2,000,000  | 補<br>委 | 出水市病院<br>事業                           |
| 374 | 食道癌術後再発に対する<br>放射線治療成績   | 松山 知彦 | 医学部附属病院 | 1,000,000  | 補<br>委 | 出水市病院<br>事業                           |
| 375 | ロンサーフ(TFTD)使用<br>症例の後ろ向き観察(コ<br>ホート)研究(JFMC50-<br>1701-C6)                             | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 719,470    | 補<br>委 | 公益財団法<br>人がん集学<br>的治療研究<br>財団         |
| 376 | 海外とのネットワークを活<br>用した多剤耐性結核の総<br>合的対策に資する研究  | 前田 洋助 | 研究部(医)  | 1,307,693  | 補<br>委 | 学校法人順<br>正学園                          |
| 377 | 超高齢者社会における治<br>癒困難な高齢切除不能進<br>行再発大腸癌患者に対<br>する標準治療確立のため<br>の研究                         | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 306,130    | 補<br>委 | 学校法人埼<br>玉医科大学                        |
| 378 | 糖尿病MCI患者のアルツ<br>ハイマー病移行を抑制す<br>る糖尿病治療法の検討<br>(分担課題名:MCIの評<br>価)                        | 橋本 衛  | 研究部(医)  | 200,000    | 補<br>委 | 国立大学法<br>人大阪大学                        |
| 379 | 高尿酸血症を合併した慢<br>性腎臓病患者に対する積<br>極的尿酸降下療法の有<br>効性を検証するランダム<br>化比較試験(TARGET-<br>UA 試験)     | 向山 政志 | 研究部(医)  | 0          | 補<br>委 | 公立大学法<br>人奈良県立<br>医科大学                |
| 380 | ミトコンドリア関連臓器の<br>老化とエネルギー代謝機<br>構変容・破綻との連関の<br>分子基盤解明                                   | 尾池 雄一 | 研究部(医)  | 18,000,000 | 補<br>委 | 国立大学法<br>人東北大学                        |
| 381 | SIRT7による臓器老化メカ<br>ニズムの解明とその制御  | 山縣 和也 | 研究部(医)  | 12,000,000 | 補<br>委 | 国立大学法<br>人東北大学                        |
| 382 | 肺腺がんにおける内因性<br>微粒子の制御機構の解明   | 山口 知也 | 研究部(医)  | 10,000,000 | 補<br>委 | 国立研究開<br>発法人科学<br>技術振興機<br>構          |

|     |   |        |         |            |        |  |
|-----|---|--------|---------|------------|--------|--|
| 383 | HIV-1 構造蛋白を過剰に安定化させる事で、CD4陽性免疫細胞へのウイルスの感染および増殖を抑制する、新規 HIV-1 感染症治療薬の開発    | 天野 将之  | 医学部附属病院 | 1,890,000  | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学                             |
| 384 | 特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究 (NEJ030)   | 一安 秀範  | 医学部附属病院 | 0          | 補<br>委 | 特定非営利活動法人 North East Japan Study Group |
| 385 | 遺伝性脳小血管病 CADASIL のデータベース構築と運用 (CADASIL 患者データベースの構築と血液・髄液バイオマーカーの探索)       | 安東 由喜雄 | 研究部 (医) | 615,385    | 補<br>委 | 国立大学法人三重大学                             |
| 386 | 統一化、標準化された寿命研究支援システムの構築・推進  | 尾池 雄一  | 研究部 (医) | 13,846,154 | 補<br>委 | 公益財団法人先端医療振興財団                         |
| 387 | 老化耐性ハダカデバネズミ特有の細胞老化/細胞死調節機構   | 三浦 恭子  | 研究部 (医) | 14,153,846 | 補<br>委 | 国立大学法人大阪大学                             |
| 388 | ANGPTL2 を標的とする画期的心不全等遺伝子治療薬の開発  | 尾池 雄一  | 研究部 (医) | 30,000,000 | 補<br>委 | 国立研究開発法人科学技術振興機構                       |
| 389 | がん免疫を賦活化する細胞外小胞の生成メカニズムと作用機序の解明   | 諸石 寿朗  | 研究部 (医) | 8,000,000  | 補<br>委 | 国立研究開発法人科学技術振興機構                       |
| 390 | 臨床試験と全国患者実態把握による indolent ATL に対する標準治療の開発研究                               | 野坂 生郷  | 医学部附属病院 | 230,769    | 補<br>委 | 学校法人埼玉医科大学                             |
| 391 | PD-1 阻害抗体の抗腫瘍効果を増強するミトコンドリア活性化剤を用いた新規併用治療法の開発                             | 佐伯 祥   | 医学部附属病院 | 800,000    | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学                             |
| 392 | Triple negative 乳癌における、エリブリンメシル酸塩を用いた術前化学療法多施設共同無作為化第 II 相臨床試験 (JBCRG-22) | 山本 豊   | 研究部 (医) | 1,538,462  | 補<br>委 | 一般社団法人 JBCRG                           |
| 393 | 重症熱性血小板減少症候群患者を対象としたファビピラビルの臨床試験 2017 (sft sv)                            | 松岡 雅雄  | 研究部 (医) | 0          | 補<br>委 | 国立大学法人愛媛大学医学部附属病院<br>株式会社新日本科学 SMO     |
| 394 | 経カテーテル大動脈弁置換術前後で QOL の改善を認めない、あるいは心不全を発症する患者の同定と評価                        | 辻田 賢一  | 研究部 (医) | 283,287    | 補<br>委 | 国立大学法人北海道大学                            |
| 395 | 左室収縮性が保持された心不全合併高齢 2 型糖尿病患者における SGLT2 阻害薬カナグリフロジンの有効性・安全性に及ぼす影響           | 辻田 賢一  | 研究部 (医) | 0          | 補<br>委 | 公立大学法人奈良県立医科大学                         |



|     |  |       |         |             |        |                   |
|-----|--|-------|---------|-------------|--------|-------------------|
| 396 | HBZ RNAによる転写異常の網羅的解析とその作用機序  | 松岡 雅雄 | 研究部(医)  | 3,000,000   | 補<br>委 | 国立大学法人京都大学        |
| 397 | 平成29年度子どもの健康と環境に関する全国調査に係るパイロット調査(南九州・沖縄ユニットセンター)委託業務  | 加藤 貴彦 | 研究部(医)  | 6,364,741   | 補<br>委 | 国立研究開発法人国立環境研究所   |
| 398 | 家族性アミロイドポリニューロパチー治療への実用化を目指した新規マルチターゲット型アミロイドシス治療薬の治療効果の検証   | 城野 博史 | 医学部附属病院 | 1,818,000   | 補<br>委 | 国立大学法人九州大学        |
| 399 | 平成29年度子どもの健康と環境に関する全国調査南九州・沖縄ユニットセンター委託業務  | 加藤 貴彦 | 研究部(医)  | 160,540,177 | 補<br>委 | 環境省               |
| 400 | 標準化学療法に不応・不耐の切除不能進行・再発大腸癌に対するTFTD(ロンサーフ®)+Bevacizumab併用療法のRAS遺伝子変異有無別の有効性と安全性を確認する第II相試験(JFMC51-1702-C7) | 馬場 秀夫 | 研究部(医)  | 0           | 補<br>委 | 公益財団法人がん集学的治療研究財団 |
| 401 | 「フルベストラント使用中に病勢進行したホルモンレセプター陽性進行・再発乳癌患者に対する、パルボシクリブ追加投与の有効性の検討ー多施設共同単群第II相臨床試験ー」JBCRG-M07(FUTURE)        | 山本 豊  | 研究部(医)  | 0           | 補<br>委 | 一般社団法人JBCRG       |
| 402 | JBCRG-M06「HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ヘルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ヘルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第III相臨床研究」             | 山本 豊  | 研究部(医)  | 41,539      | 補<br>委 | 一般社団法人JBCRG       |
| 403 | 冠動脈多枝病変における冠動脈バイパス手術と経皮的冠動脈形成術のハイブリッド治療の有効性についての多施設前向き研究 - PRIDE-metal registry -                        | 辻田 賢一 | 研究部(医)  | 0           | 補<br>委 | 帝京大学              |
| 404 | 再発又は難治性の成人T細胞白血病・リンパ腫に対するニボルマブの第II相医師主導治験  | 野坂 生郷 | 医学部附属病院 | 461,539     | 補<br>委 | 国立大学法人鹿児島大学       |

404件

1,261,377,491

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なもの  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名                                       | 筆頭著者の<br>特定機能病院における所属 | 題名   | 雑誌名・<br>出版年月等                                | 論文種別             |
|----|---|-----------------------|--|--|------------------|
| 1  | Okabayashi H, Ichiyasu H, Hirooka S, et al. | 呼吸器内科                 | Clinical effects of direct hemoperfusion using a polymyxin B-immobilized fiber column in clinically amyopathic dermatomyositis-associated rapidly progressive interstitial pneumonias                        | BMC Pulm Med. 2017 Oct 24;17(1):134          | Original Article |
| 2  | Horio Y, Ichiyasu H, Kojima K, et al.       | 呼吸器内科                 | Protective effect of Galectin-9 in murine model of lung emphysema: Involvement of neutrophil migration and MMP-9 production  | PLoS One. 2017 Jul 12;12(7):e0180742.        | Original Article |
| 3  | Migiyama Y, Hiroosako S, Tokunaga K, et al. | 呼吸器内科                 | Aerosolized tobramycin for Pseudomonas aeruginosa ventilator-associated pneumonia in patients with acute respiratory distress syndrome   | Pulm Pharmacol Ther. 2017 Aug;45:142-147.    | Original Article |
| 4  | Ichiyasu H, Horio Y, Masunaga A, et al.     | 呼吸器内科                 | Efficacy of direct hemoperfusion using polymyxin B-immobilized fiber column (PMX-DHP) in rapidly progressive interstitial pneumonias: Results of a historical control study and a review of previous studies | Ther Adv Respir Dis. 2017 Jul;11(7):261-275. | Original Article |
| 5  | Iriki T, Ohnishi K, Fujiwara Y, et al.      | 呼吸器内科                 | The cell-cell interaction between tumor-associated macrophages and small cell lung cancer cells is involved in tumor progression via STAT3 activation.   | Lung Cancer. 2017 Apr;106:22-32.             | Original Article |
| 6  | Tomita Y, Sueta D, Kakiuchi Y, et al.       | 呼吸器内科                 | Acute coronary syndrome as a possible immune-related adverse event in a lung cancer patient achieving a complete response to anti-PD-1 immune checkpoint antibody  | Ann Oncol. 2017 Nov 1;28(11):2893-2895.      | Case report      |

|    |  |                    |  |   |                  |
|----|--|--------------------|--|---|------------------|
| 7  | Setoyama H, Tanaka M, Nagumo K, et al.             | 消化器内科              | Oral branched-chain amino acid granules improve structure and function of human serum albumin in liver cirrhotic patients.   | J Gastroenterol. 2017 Jun;52(6):754-765.                | Original Article |
| 8  | Gushima R, Narita R, Shono T, et al.               | 消化器内科              | Esophageal adenocarcinoma with enteroblastic differentiation arising in ectopic gastric mucosa in the cervical esophagus: a case report and literature review.                                 | J Gastrointestin Liver Dis. 2017 Jun;26(2):193-197.     | Case report      |
| 9  | Ueno N, Nishimura N, Ueno S, et al.                | 血液内科、膠原病内科         | PU.1 acts as tumor suppressor for myeloma cells through direct transcriptional repression of IRF4.   | Oncogene. 2017 Aug; 36(31):4481-4497.                   | Original Article |
| 10 | Nishimura N, Endo S, Ueno S, et al.                | 血液内科、膠原病内科         | A xenograft model reveals that PU.1 functions as a tumor suppressor for multiple myeloma in vivo.  | Biochem Biophys Res Commun. 2017 May 13;486(4):916-922. | Original Article |
| 11 | Amano M, Miguel Salcedo-Gómez P, Yedidi RS, et al. | 血液内科、膠原病内科         | GRL-09510, a Unique P2-Crown-Tetrahydrofuranylurethane -Containing HIV-1 Protease Inhibitor, Maintains Its Favorable Antiviral Activity against Highly-Drug-Resistant HIV-1 Variants in vitro. | Sci Rep. 2017 Sep 25;7(1):12235.                        | Original Article |
| 12 | Kawano Y, Roccaro AM, Ghobrial IM, et al.          | 血液内科、膠原病内科         | Multiple Myeloma and the Immune Microenvironment.  | Curr Cancer Drug Targets. 2017;17(9):806-818.           | Review           |
| 13 | Tokunaga K, Yamamura A, Ueno S, et al.             | 血液内科、膠原病内科         | Isolated Pancreatic Myeloid Sarcoma Associated with t(8;21)/RUNX1-RUNX1T1 rearrangement.   | Intern Med. 2018 Feb 15;57(4):563-568.                  | Case report      |
| 14 | Furuta R, Yasunaga JI, Miura M, et al.             | 血液内科、膠原病内科         | Human T-cell leukemia virus type 1 infects multiple lineage hematopoietic cells in vivo.   | PLoS Pathog. 2017 Nov 29;13(11):e1006722                | Original Article |
| 15 | Nosaka K, Iwanaga M, Imaizumi Y, et al.            | 血液内科、膠原病内科、感染免疫診療部 | Epidemiological and clinical features of adult T-cell leukemia-lymphoma in Japan. 2010-2011: A nationwide survey   | Cancer Sci. 2017 Dec;108(12):2478-2486                  | Original Article |

|    |   |              |  |   |                  |
|----|---|--------------|--|---|------------------|
| 16 | Morinaga J, Zhao J, Endo M, et al.        | 腎臓内科         | Association of circulating ANGPTL 3, 4, and 8 levels with medical status in a population undergoing routine medical checkups: a cross-sectional study.   | PLoS One. 2018 Mar 14;13(3):e0193731.               | Original Article |
| 17 | Hayata M, Yamashita J, Tokunaga K, et al. | 腎臓内科         | Refractory peritonitis by spontaneous perforation of the common bile duct in a patient receiving peritoneal dialysis.  | Renal Replacement Therapy. 2017 May; 3: 53          | Case report      |
| 18 | Izumi Y, Inoue H, Nakayama Y, et al.      | 腎臓内科         | TSS-Seq analysis of low pH-induced gene expression in intercalated cells in the renal collecting duct.   | PLoS One. 2017 Aug 31;12(8):e0184185.               | Original Article |
| 19 | Kukidome D, Nishikawa T, Sato M, et al.   | 糖尿病・代謝・内分泌内科 | Impaired balance is related to the progression of diabetic complications in both young and older adults.   | J Diabetes Complications. 2017 Aug;31(8):1275-1282. | Original Article |
| 20 | Kondo T, Nakamura M, Kitano S, et al.     | 糖尿病・代謝・内分泌内科 | The clinical course and pathophysiological investigation of adolescent gestational diabetes insipidus: a case report.  | BMC Endocr Disord. 2018 Jan 30;18(1):4.             | Case report      |
| 21 | Araki E, Onishi Y, Asano M, et al.        | 糖尿病・代謝・内分泌内科 | Efficacy and safety of dapagliflozin over 1 year as add-on to insulin therapy in Japanese patients with type 2 diabetes: the DAISY (Dapagliflozin Added to patients under InSulin therapy) trial.                            | Diabetes Obes Metab. 2017 Apr;19(4):562-570.        | Original Article |
| 22 | Araki E, Yamashita S, Arai H, et al.      | 糖尿病・代謝・内分泌内科 | Effects of Pemafibrate, a Novel Selective PPAR $\alpha$ Modulator, on Lipid and Glucose Metabolism in Patients With Type 2 Diabetes and Hypertriglyceridemia: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Phase 3 Trial. | Diabetes Care. 2018 Mar;41(3):538-546.              | Original Article |

小計 7

|    |  |              |  |   |                  |
|----|--|--------------|--|---|------------------|
| 23 | Ono K, Igata M, Kondo T, et al.            | 糖尿病・代謝・内分泌内科 | Identification of microRNA that represses IRS-1 expression in liver.   | PLoS One. 2018 Jan 24;13(1):e0191553.             | Original Article |
| 24 | Kajihara N, Kukidome D, Sada K, et al.     | 糖尿病・代謝・内分泌内科 | Low glucose induces mitochondrial reactive oxygen species via fatty acid oxidation in bovine aortic endothelial cells.   | J Diabetes Investig. 2017 Nov;8(6):750-761.       | Original Article |
| 25 | Matsumura T, Yamamoto E, Tsujita K, et al. | 糖尿病・代謝・内分泌内科 | Potential of Monocyte Count for the Assessment of Cardiovascular Disease.  | Cardiovasc Pharmacol. 2017 Sep 11; 6:217.         | Review           |
| 26 | Akasaka T, Sueta D, Arima Y, et al.        | 循環器内科        | CYP2C19 variants and epoxyeicosatrienoic acids in patients with microvascular angina   | Int J Cardiol Heart Vasc. 2017 Apr 12;15:15-20.   | Original Article |
| 27 | Tabata N, Sueta D, Yamashita T, et al.     | 循環器内科        | Relationship between asymptomatic intracranial lesions and brachial-ankle pulse wave velocity in coronary artery disease patients without stroke.                        | Hypertens Res. 2017 Apr;40(4):392-398.            | Original Article |
| 28 | Oimatsu Y, Kaikita K, Ishii M, et al.      | 循環器内科        | Total thrombus-formation analysis system predicts periprocedural bleeding events in patients with coronary artery disease undergoing percutaneous coronary intervention. | J Am Heart Assoc. 2017 Apr 24;6(4). pii: e005263. | Original Article |
| 29 | Akasaka T, Sueta D, Tabata N, et al.       | 循環器内科        | Effects of the mean amplitude of glycemic excursions and vascular endothelial dysfunction on cardiovascular events in nondiabetic patients with coronary artery disease. | J Am Heart Assoc. 2017 Apr 26;6(5). pii: e004841. | Original Article |
| 30 | Sueta D, Suyama K, Sueta A, et al.         | 専門医療実践学寄附講座  | Lenvatinib, an Oral Multi-kinases Inhibitor, - Associated Hypertension - Potential Role of Vascular Endothelial Dysfunction -  | Atherosclerosis. 2017 May;260:116-120.            | Original Article |

|    |   |               |   |   |                  |
|----|---|---------------|---|---|------------------|
| 31 | Yamamura S,<br>Izumiya Y,<br>Ishida T             | 循環器内科         | Reduced trans-mitral A-wave velocity predicts the presence of wild-type transthyretin amyloidosis in elderly patients with left ventricular hypertrophy.                                      | Heart Vessels. 2017 Jun;32(6):708-713.                      | Original Article |
| 32 | Nakanishi N,<br>Ishii M,<br>Kaikita K, et al.     | 循環器内科         | When Is the Optimal Timing of Surgical Intervention for Severe Functional Tricuspid Regurgitation?  | Case Rep Cardiol. 2017;2017:9232658.                        | Case report      |
| 33 | Ishii M,<br>Kaikita K, Ito M, et al.              | 循環器内科         | Direct Oral Anticoagulants Form Thrombus Different From Warfarin in a Microchip Flow Chamber System.  | Sci Rep. 2017 Aug 7;7(1):7399.                              | Original Article |
| 34 | Kaikita K,<br>Tsujita K.                          | 循環器内科         | Hypoalbuminemia and inflammation as prognostic markers in patients undergoing percutaneous coronary intervention.   | Circ J. 2017 Aug 25;81(9):1268-1269.                        | Original Article |
| 35 | Tabata N,<br>Yamamoto E,<br>Hokimoto S,<br>et al. | 循環器内科         | Prognostic Value of the CHADS <sub>2</sub> Score for Adverse Cardiovascular Events in Coronary Artery Disease Patients without Atrial Fibrillation-A Multi-Center Observational Cohort Study. | J Am Heart Assoc. 2017 Aug 16;6(8). pii: e006355.           | Original Article |
| 36 | Fujisue K,<br>Tsujita K.                          | 循環器内科         | Current status of lipid management in acute coronary syndrome.  | J Cardiol. 2017 Aug;70(2):101-106.                          | Review           |
| 37 | Kojima S,<br>Michikawa T,<br>Ueda K, et al.       | 心不全先進医療共同研究講座 | Asian Dust Exposure Triggers Acute Myocardial Infarction.   | Eur Heart J. 2017 Nov 14;38(43):3202-3208.                  | Original Article |
| 38 | Ishii M,<br>Kaikita K,<br>Sato K, et al.          | 循環器内科         | Cardioprotective Effects of LCZ696 (Sacubitril/Valsartan) After Experimental Acute Myocardial Infarction.   | JACC: Basic to Translational Science. 2017 Dec;2(6):655-668 | Original Article |
| 39 | Sueta D,<br>Kaikita K<br>Okamoto N,<br>et al.     | 専門医療実践学寄附講座   | Edoxaban Enhances Thromboprophylaxis by Physiotherapy After Total Knee Arthroplasty -The Randomized Controlled ESCORT-TKA Trial-  | Circ J. 2018 Jan 25;82(2):524-531.                          | Original Article |

|    |  |             |   |  |                  |
|----|--|-------------|---|--|------------------|
| 40 | Takashio S,<br>Yamamuro M,<br>Izumiya Y, et<br>al. | 循環器内科       | Diagnostic utility of<br>cardiac troponin T<br>level in patients with<br>cardiac amyloidosis.   | ESC Heart Fail. 2018<br>Feb;5(1):27-35.              | Original Article |
| 41 | Yamabe H,<br>Kaikita K,<br>Matsumura<br>T, et al.  | 不整脈先端医療寄附講座 | Study on the Effect of<br>Irbesartan on Atrial<br>Fibrillation<br>Recurrence in<br>Kumamoto: Atrial<br>Fibrillation<br>Suppression Trial<br>(SILK study).       | J Cardiol. 2018<br>Feb;71(2):129-134.                | Original Article |
| 42 | Nishihara T,<br>Oda S, Sueta<br>D, et al.          | 循環器内科       | Clinical usefulness of<br>dual-energy cardiac<br>computed<br>tomography in Acute<br>coronary syndrome<br>using a dual-layer<br>spectral detector<br>scanner.    | Circ Cardiovasc Imaging.<br>2018 Feb;11(2):e007277.  | Case report      |
| 43 | Izumiya Y,<br>Takashio S,<br>Oda S, et al.         | 循環器内科       | Recent advances in<br>diagnosis and<br>treatment of cardiac<br>amyloidosis  | J Cardiol. 2018<br>Feb;71(2):135-143.                | Review           |
| 44 | Arima Y,<br>Hokimoto S,<br>Tabata N.               | 循環器内科       | Evaluation of<br>Collateral Source<br>Characteristics With<br>3-Dimensional<br>Analysis Using<br>Micro-X-Ray<br>Computed<br>Tomography.                         | J Am Heart Assoc. 2018<br>Mar 23;7(6). pii: e007800. | Original Article |
| 45 | Tokitsu T,<br>Yamamoto E,<br>Oike F, et al.        | 循環器内科       | Clinical significance<br>of brachial-ankle<br>pulse-wave velocity<br>in patients with heart<br>failure with preserved<br>left ventricular<br>ejection fraction. | J Hypertens. 2018<br>Mar;36(3):560-568.              | Original Article |
| 46 | Inoue Y,<br>Ueda M,<br>Tasaki M, et<br>al.         | 神経内科        | Sushi repeat-<br>containing protein 1:<br>a novel disease-<br>associated molecule<br>in cerebral amyloid<br>angiopathy.   | Acta Neuropathol. 2017<br>Oct;134(4):605-617.        | Original Article |
| 47 | Masuda T,<br>Ueda M,<br>Suenaga G,<br>et al.       | 神経内科        | Early skin<br>denervation in<br>hereditary and<br>iatrogenic<br>transthyretin amyloid<br>neuropathy.  | Neurology. 2017 Jun<br>6;88(23):2192-2197.           | Original Article |
| 48 | Tawara N,<br>Yamashita S,<br>Zhang X, et<br>al.    | 神経内科        | Pathomechanisms of<br>anti-cytosolic 5'-<br>nucleotidase 1A<br>autoantibodies in<br>sporadic inclusion<br>body myositis   | Ann Neurol. 2017<br>Apr;81(4):512-525.               | Original Article |

|    |   |        |  |  |                  |
|----|---|--------|--|--|------------------|
| 49 | Misumi Y,<br>Ueda M,<br>Yamashita T,<br>et al.    | 神経内科   | Novel screening for transthyretin amyloidosis by using fat ultrasonography                                     | Ann Neurol. 2017 Apr;81(4):604-608.                                | Original Article |
| 50 | Nakahara K,<br>Nakane S,<br>Nakajima M,<br>et al. | 神経内科   | Effect of thymectomy for thymic atrophy in myasthenia gravis:A retrospective study on 93 patients              | J Neuroimmunol. 2017 Apr 15;305:182-185.                           | Original Article |
| 51 | Nakane S,<br>Mukaino A,<br>Maeda Y, et al.        | 神経内科   | Extra-autonomic manifestations in autoimmune autonomic ganglionopathy: a Japanese survey                       | J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2017 Apr;88(4):367-368.             | Letter           |
| 52 | Nagao Y,<br>Nakajima M,<br>Hirahara T,<br>et al.  | 神経内科   | Calcified cerebral embolism due to a calcified amorphous tumor.  | J Stroke Cerebrovasc Dis. 2018 Feb 22. pii: S1052-3057(18)30041-7. | Case report      |
| 53 | Yamashita S,<br>Nakama T,<br>Ueda M, et al.       | 神経内科   | Tongue strength in patients with subacute myelo-optico-neuropathy.   | J Clin Neurosci. 2018 Jan;47:84-88.                                | Original Article |
| 54 | Fukui T.  | 心臓血管外科 | Management of acute aortic dissection and thoracic aortic rupture. J Intensive Care.                           | J Intensive Care. 2018 Mar 1;6:15.                                 | Review           |
| 55 | Koga A,<br>Okamoto K,<br>Tazume H, et al.         | 心臓血管外科 | Use of an On-X Prosthetic Valve In A 42-Year Old Female With Antiphospholipid Syndrome.                        | Heart Surg Forum. 2018 Jan 31;21(1):E026-E027.                     | Case report      |
| 56 | Tazume H,<br>Okamoto K,<br>Fukui T.               | 心臓血管外科 | Concomitant aorto-right subclavian artery bypass with off-pump coronary artery bypass grafting: a case report. | J Cardiothorac Surg. 2017 Oct 11;12(1):90.                         | Case report      |
| 57 | Sassa T,<br>Okamoto K,<br>Tazume H, et al.        | 心臓血管外科 | Tricuspid Valve Repair With Artificial Chorda After Previous Ventricular Septal Defect Repair.                 | Ann Thorac Surg. 2017 Apr;103(4):e335-e337.                        | Case report      |
| 58 | Okamoto K,<br>Tazume H,<br>Hoga A, et al.         | 心臓血管外科 | Repair of left ventricular rupture in a patient with mitral annular calcification.                             | Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2017 Jun 1;24(6):972-973.         | Case report      |
| 59 | Suzuki M,<br>Mori T,<br>Shiraishi K,<br>et al.    | 呼吸器外科  | What is the optimal adjuvant therapy for T3N0 lung cancer invading the chest wall?                             | J Thorac Dis. 2017 Nov;9(11):4233-4235.                            | Others           |



|    |   |       |   |  |                  |
|----|---|-------|---|--|------------------|
| 60 | Mori T, Nishi W, Yamada T, et al.           | 呼吸器外科 | Interstitial fluid pressure of thymic epithelial tumours.   | Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2017 Aug 1;25(2):167-172. | Original Article |
| 61 | Motooka Y, Fujino K, Sato Y, et al.         | 呼吸器外科 | Pathobiology of Notch2 in lung cancer.  | Pathology. 2017 Aug;49(5):486-493.                         | Original Article |
| 62 | Ishimoto T, Miyake K, Nandi, T, et al.      | 消化器外科 | Activation of transforming growth factor beta 1 signaling in gastric cancer-associated fibroblasts increases their motility, via expression of rhomboid 5 homolog 2, and ability to induce invasiveness of gastric cancer cells | Gastroenterology. 2017 Jul;153(1):191-204.e16.             | Original Article |
| 63 | Imai K, Allard MA, Castro Benitez C, et al. | 消化器外科 | Long-term outcomes of radiofrequency ablation combined with hepatectomy compared with hepatectomy alone for colorectal liver metastases   | Br J Surg. 2017 Apr;104(5):570-579.                        | Original Article |
| 64 | Okabe H, Hashimoto D, Chikamoto A, et al.   | 消化器外科 | Shape and enhancement characteristics of pancreatic neuroendocrine tumor on preoperative contrast-enhanced computed tomography may be prognostic indicators   | Ann Surg Oncol. 2017 May;24(5):1399-1405.                  | Original Article |
| 65 | Chikamoto A, Inoue R, Komohara Y, et al.    | 消化器外科 | Preoperative high maximum standardized uptake value in association with glucose transporter 1 predicts poor prognosis in pancreatic cancer  | Ann Surg Oncol. 2017 Jul;24(7):2040-2046. 24(7):2040-2046  | Original Article |
| 66 | Miyamoto Y, Suyama K, Baba H.               | 消化器外科 | Recent advances in targeting the EGFR signaling pathway for the treatment of metastatic colorectal cancer   | Int J Mol Sci. 2017 Apr 2;18(4) :E752                      | Review           |
| 67 | Hashimoto D, Chikamoto A, Masuda T, et al.  | 消化器外科 | Pancreatic cancer arising from the remnant pancreas: Is it a local recurrence or new primary lesion?  | Pancreas. 2017 Oct;46(9):1083-1090                         | Review           |

|    |   |       |  |  |                  |
|----|---|-------|--|--|------------------|
| 68 | Hashimoto D, Nakagawa S, Umezaki N, et al.  | 消化器外科 | Efficacy and safety of postoperative anticoagulation prophylaxis with enoxaparin in patients undergoing pancreatic surgery: A prospective trial and literature review  | Pancreatology.2017 May-Jun;17(3):464-470     | Original Article |
| 69 | Yoshida N, Baba Y, Baba H.                  | 消化器外科 | Preoperative malnutrition and prognosis after neoadjuvant chemotherapy followed by subsequent esophagectomy  | J Thorac Dis.2017 Oct;9(10):3437-3439        | Others           |
| 70 | Yamashita Y, Tsujita E, Chikamoto A, et al. | 消化器外科 | Linear stapling device with pre-attached bioabsorbable polyglycolic acid felt reduces postoperative pancreatic fistula after distal pancreatectomy   | Anticancer Res.2017 Apr;37(4):1865-1868      | Original Article |
| 71 | Kitano Y, Yamashita Y, Yamamura K, et al.   | 消化器外科 | Effects of preoperative neutrophil-to-lymphocyte and platelet-to-lymphocyte ratios on survival in patients with extrahepatic cholangiocarcinoma  | Anticancer Res.2017 Jun;37(6):3229-3237      | Original Article |
| 72 | Yamashita Y, Baba H.                        | 消化器外科 | How can we predict hepatic insufficiency after resection of colorectal liver metastases?   | Transl Cancer Res.2017 Dec;6(S9):S1435-S1438 | Others           |
| 73 | Miyamoto Y, Zhang W, Lenz HJ.               | 消化器外科 | Molecular landscape and treatment options for patients with metastatic colorectal cancer   | Indian J Surg Oncol.2017 Dec;8(4):580-590    | Review           |
| 74 | Yamashita Y, Shirabe K, Beppu T, et al.     | 消化器外科 | Surgical management of recurrent intrahepatic cholangiocarcinoma; predictors, adjuvant chemotherapy, and surgical therapy for recurrence: a multi-Institutional study by the kyushu study group of liver surgery | Ann Gastroenterol Surg.2017 Jul;7(1):24-26   | Original Article |
| 75 | Sawayama H, Yoshida N, Miyamoto Y, et al.   | 消化器外科 | Primary colonic well-differentiated / dedifferentiated liposarcoma of the ascending colon: a case report   | Surg Case Rep.2017 Aug;3(1):96               | Case report      |

|    |  |       |   |   |                  |
|----|--|-------|---|---|------------------|
| 76 | Sawayama H, Miyanari N, Sugihara H, et al. | 消化器外科 | A fascia lata free flap in pelvic exenteration for Fournier gangrene due to advanced rectal cancer: a case report   | Surg Case Rep.2017 Dec;3(1):74              | Case report      |
| 77 | Kitano Y, Kuramoto M, Masuda T, et al.     | 消化器外科 | Ascending colon cancer with synchronous external iliac and inguinal lymph node metastases but without regional lymph node metastasis: a case report and brief literature review | Surg Case Rep.2017 Dec; 3(1):32             | Case report      |
| 78 | Baba Y, Iwatsuki M, Yoshida N, et al.      | 消化器外科 | Review of the gut microbiome and esophageal cancer: Pathogenesis and potential clinical implications  | Ann Gastroenterol Surg.2017 Jul;7(1):99-104 | Review           |
| 79 | Yamashita Y, Imai K, Mima K, et al.        | 消化器外科 | Idiosyncratic drug-induced liver injury: A short review   | Hepatol Commun. 2017 Jun 28;1(6):494-500.   | Review           |
| 80 | Baba Y, Yoshida N, Kinoshita K, et al.     | 消化器外科 | Clinical and prognostic features of patients with esophageal cancer and multiple primary cancers: A retrospective single-institution study                                      | Ann Surg.2018 Mar;267(3):478-483            | Original Article |
| 81 | Kitano Y, Baba Y, Nakagawa S, et al.       | 消化器外科 | Nrf2 promotes oesophageal cancer cell proliferation via metabolic reprogramming and detoxification of reactive oxygen species   | J Pathol.2018 Mar;244(3):346-357            | Review           |
| 82 | Kitano Y, Okabe H, Yamashita Y, et al.     | 消化器外科 | Tumour-infiltrating inflammatory and immune cells in patients with extrahepatic cholangiocarcinoma  | Br J Cancer.2018 Jan;118(2):171-180         | Original Article |
| 83 | Kuroda D, Sawayama H, Kurashige J, et al.  | 消化器外科 | Controlling Nutritional Status (CONUT) score is a prognostic marker for gastric cancer patients after curative resection  | Gastric Cancer.2018 Mar;21(2):204-212       | Original Article |

|    |   |          |  |  |                  |
|----|---|----------|--|--|------------------|
| 84 | Nakagawa S, Umezaki N, Yamao T, et al.              | 消化器外科    | Survival impact of lymphocyte infiltration into the tumor of hepatocellular carcinoma in hepatitis B virus-positive or non-B non-C patients who underwent curative resection | Hepatol Res.2018 Feb;48(3):E126-E132       | Original Article |
| 85 | Baba Y, Yagi T, Sawayama H, et al.                  | 消化器外科    | Long interspersed element-1 methylation level as a prognostic biomarker in gastrointestinal cancers  | Digestion.2018 Jan;97(1):26-30             | Review           |
| 86 | Miyamoto Y, Oki E, Emi Y, et al.                    | 消化器外科    | Low visceral fat content is a negative predictive marker for bevacizumab in metastatic colorectal cancer   | Anticancer Res.2018 Jan;38(1):491-499      | Original Article |
| 87 | Imai K, Yamashita Y, Yusa T, et al.                 | 消化器外科    | Microvascular invasion in small-sized hepatocellular carcinoma: significance for outcomes following hepatectomy and radiofrequency ablation                                  | Anticancer Res.2018 Feb;38(2):1053-1060    | Original Article |
| 88 | Baba H.   | 消化器外科    | Editorial.   | Ann Gastroenterol Surg.2018 Jan;2(1):4-5   | Others           |
| 89 | Takeshita T, Yamamoto Y, Yamamoto-Ibusuki M, et al. | 乳腺・内分泌外科 | Clinical significance of plasma cell-free DNA mutations in PIK3CA, AKT1, and ESR1 gene according to treatment lines in ER-positive breast cancer.                            | Mol Cancer. 2018 Feb 26;17(1):67.          | Original Article |
| 90 | Suyama K, Tomiguchi M, Takeshita T, et al.          | 乳腺・内分泌外科 | Factors involved in early lenvatinib dose reduction: a retrospective analysis.   | Med Oncol. 2018 Jan 31;35(3):19.           | Case report      |
| 91 | Takeshita T, Yamamoto Y, Yamamoto-Ibusuki M, et al. | 乳腺・内分泌外科 | Prevalence of ESR1 E380Q mutation in tumor tissue and plasma from Japanese breast cancer patients.   | BMC Cancer. 2017 Nov 22;17(1):786.         | Original Article |
| 92 | Sueta A, Yamamoto Y, Tomiguchi M, et al.            | 乳腺・内分泌外科 | Differential expression of exosomal miRNAs between breast cancer patients with and without recurrence.   | Oncotarget. 2017 Jul 22;8(41):69934-69944. | Original Article |

|     |   |           |  |  |                  |
|-----|---|-----------|--|--|------------------|
| 93  | Takeshita T, Yamamoto Y, Yamamoto-Ibusuki M, et al. | 乳腺・内分泌外科  | Analysis of ESR1 and PIK3CA mutations in plasma cell-free DNA from ER-positive breast cancer patients.                             | Oncotarget. 2017 Jun 14;8(32):52142-52155. | Original Article |
| 94  | Takeshita T, Yamamoto Y, Yamamoto-Ibusuki M, et al. | 乳腺・内分泌外科  | Comparison of ESR1 Mutations in Tumor Tissue and Matched Plasma Samples from Metastatic Breast Cancer Patients.                    | Transl Oncol. 2017 Oct;10(5):766-771.      | Original Article |
| 95  | Suyama K, Fujiwara S, Takeshita T, et al.           | 乳腺・内分泌外科  | Clinical features of lenvatinib treatment in elderly patients with advanced thyroid cancer.  | Mol Clin Oncol. 2017 Jul;7(1):24-26.       | Original Article |
| 96  | Oya Y, Sugawara Y, Honda M, et al.                  | 小児外科・移植外科 | Living Donor Liver Transplantation for Progressive Familial Intrahepatic Cholestasis Type 1: Two Reported Cases.                   | Transplant Proc. 2017 Jun;49(5):1123-1125. | Case report      |
| 97  | Miura K, Sakamoto S, Shimata K, et al.              | 小児外科・移植外科 | The outcomes of pediatric liver retransplantation from a living donor: a 17-year single-center experience.                         | Surg Today. 2017 Nov;47(11):1405-1414.     | Original Article |
| 98  | Yamamoto H, Uchida K, Kawabata S, et al.            | 小児外科・移植外科 | Feasibility of Monotherapy by Rituximab Without Additional Desensitization in ABO-incompatible Living Donor Liver Transplantation. | Transplantation. 2018 Jan;102(1):97-104.   | Original Article |
| 99  | Sugawara Y, Hibi T.                                 | 小児外科・移植外科 | Direct-acting agents for hepatitis C virus before and after liver transplantation.   | Biosci Trends. 2018 Jan 9;11(6):606-611.   | Review           |
| 100 | Shimata K, Sugawara Y, Hibi T.                      | 小児外科・移植外科 | Liver transplantation for unresectable pancreatic neuroendocrine tumors with liver metastases in an era of transplant oncology.    | Gland Surg. 2018 Feb;7(1):42-46.           | Review           |
| 101 | Shimata K, Sugawara Y, Yamamoto H, et al.           | 小児外科・移植外科 | A Case Report of Living Donor Liver Transplantation for Fulminant Hepatitis Related to Hepatitis E Virus Infection.                | Prog Transplant. 2018 Mar;28(1):91-92.     | Case report      |

|     |  |                   |  |  |                  |
|-----|--|-------------------|--|--|------------------|
| 102 | Shimata K*,<br>Sakamoto R*,<br>Anan T, et<br>al.           | 小児外科・移植外科、小児<br>科 | Fatal graft-versus-<br>host disease after<br>living-donor liver<br>transplantation from<br>an HLA-DR-<br>mismatched donor  | Pediatr Transplant. 2017<br>Nov;21(7).                   | Case report      |
| 103 | Motoshima T,<br>Miura Y,<br>Wakigami N,<br>et al.          | 泌尿器科              | Phenotypical change<br>of tumor-associated<br>macrophages in<br>metastatic lesions of<br>clear cell renal cell<br>carcinoma.   | Med Mol Morphol. 2018<br>Mar;51(1):57-63.                | Original Article |
| 104 | Tayama S*,<br>Motohara T*,<br>Narantuya D,<br>et al.       | 産科婦人科             | The impact of<br>EpCAM expression<br>on response to<br>chemotherapy and<br>clinical outcomes in<br>patients with<br>epithelial ovarian<br>cancer.  | Oncotarget. 2017 Jul<br>4;8(27):44312-44325.             | Original Article |
| 105 | Yamaguchi<br>M, Honda R,<br>Erdenebaatar<br>C, et al.      | 産科婦人科             | Treatment of cervical<br>pregnancy with<br>ultrasound-guided<br>local methotrexate<br>injection.   | Ultrasound Obstet<br>Gynecol. 2017<br>Dec;50(6):781-787. | Original Article |
| 106 | Motooka Y,<br>Motohara T,<br>Honda R, et<br>al.            | 産科婦人科             | Radical resection of<br>an endometrioid<br>carcinoma arising<br>from endometriosis in<br>the round ligament<br>within the right canal<br>of Nuck: a case<br>report and literature<br>review.           | Gynecol Oncol Rep. 2018<br>Jan 31;24:61-64.              | Case report      |
| 107 | Erdenebaatar<br>C*,<br>Yamaguchi<br>M*, Saito F,<br>et al. | 産科婦人科             | Administration of<br>Cabergoline<br>Contributes to<br>Preserving Fertility in<br>Young<br>Hyperprolactinemic<br>Patients With<br>Endometrial Cancer<br>Treated With<br>Medroxyprogesterone<br>Acetate. | Int J Gynecol Cancer.<br>2018 Mar;28(3):539-544.         | Original Article |
| 108 | Momosaki K,<br>Kido J,<br>Matsumoto S,<br>et al.           | 小児科               | High-risk screening<br>for Gaucher disease<br>in patients with<br>neurological<br>symptoms.  | J Hum Genet. 2018 Mar<br>30;63:717-721.                  | Original Article |
| 109 | Kido J, Inoue<br>H, Suzuki Y,<br>et al.                    | 小児科               | A Significant<br>Difference in the<br>Blood Carnitine<br>Values Obtained by<br>the Enzymatic<br>Cycling and Tandem<br>Mass Spectrometry<br>Methods.  | Clin Lab. 2018 Jan<br>1;64(1):211-215.                   | Letter           |

|     |  |               |   |   |                  |
|-----|--|---------------|---|---|------------------|
| 110 | Kido J,<br>Yoshida T,<br>Mitsubuchi<br>H, et al.   | 小児科           | Impact of the 2016 Kumamoto Earthquake on a female patient with ornithine transcarbamoylase deficiency.   | Pediatr Int. 2017<br>Nov;59(11):1213-1215.                        | Case report      |
| 111 | Kido J,<br>Matsumoto S,<br>Momosaki K,<br>et al.   | 小児科           | Liver transplantation may prevent neurodevelopmental deterioration in high-risk patients with urea cycle disorders.   | Pediatr Transplant. 2017<br>Sep;21(6).                            | Original Article |
| 112 | Yoshida T,<br>Kido J,<br>Mitsubuchi<br>H, et al.   | 小児科           | Clinical manifestations in two patients with pyruvate dehydrogenase deficiency and long-term survival.  | Hum Genome Var. 2017<br>Jun 1;4:17020.                            | Case report      |
| 113 | Sakamoto R,<br>Matsumoto S,<br>Shimazu T,et<br>al. | 小児科           | A Case of Treated Gaucher Disease with Progressive Neurological Damage  | Med Sci Case Rep 2017<br>May; 4:37-40                             | Case report      |
| 114 | Ide J,<br>Mochizuki Y,<br>van Noort A,<br>et al.   | 関節再建先端治療学寄附講座 | Local rhBMP-12 on an Absorbable Collagen Sponge as an Adjuvant Therapy for Rotator Cuff Repair-A Phase 1, Randomized, Standard of Care Control, Multicenter Study: Part 2-A Pilot Study of Functional Recovery and Structural Outcomes. | Orthop J Sports Med.<br>2017 Sep<br>12;5(9):232596711772674<br>0. | Original Article |
| 115 | Hirose<br>J,Nagata<br>T,Ogushi M,<br>et al.        | 医療情報経営企画部     | Validation of Each Category of Kihon Checklist for Assessing Physical Functioning, Nutrition and Cognitive Status in a Community-Dwelling Older Japanese Cohort.  | Epidemiology (Sunnyvale)<br>.2017;7 (5): 1-15                     | Original Article |
| 116 | Tokunaga T,<br>Karasugi T,<br>Arimura H, et<br>al. | 整形外科          | Enhancement of rotator cuff tendon-bone healing with FGF-2 impregnated in gelatin hydrogel sheets in a rabbit model.  | J Shoulder Elbow Surg.<br>2017 Oct;26(10):1708-<br>1717.          | Original Article |
| 117 | Nakamura E.  | 整形外科          | Importance of a Dynamic Evaluation of Tibial Osteotomy for Medial Knee Osteoarthritis.  | Clinics in Surgery.2017<br>Dec;2:1832                             | Review           |

|     |   |               |  |   |                  |
|-----|---|---------------|--|---|------------------|
| 118 | Tanoue H, Morinaga J, Yoshizawa T, et al.             | 整形外科          | Angiopoietin-like protein 2 promotes chondrogenic differentiation during bone growth as a cartilage matrix factor.                 | Osteoarthritis Cartilage. 2018 Jan;26(1):108-117.         | Original Article |
| 119 | Ide J, Tokunaga T.                                    | 関節再建先端治療学寄附講座 | Rotator cuff tendon-to-bone healing at 12 months after patch grafting of acellular dermal matrix in an animal model.               | J Orthop Sci. 2018 Mar;23(2):207-212.                     | Original Article |
| 120 | Egashira S, Jinnin M, Ajino M, et al.                 | 皮膚科           | Chronic sun exposure-related fusion oncogenes EGFR-PPARGC1A in cutaneous squamous cell carcinoma.                                  | Sci Rep. 2017 Oct 4;7(1):12654.                           | Original Article |
| 121 | Kajihara I, Yamada-Kanazawa S, Maeda-Otsuka S, et al. | 皮膚科           | Secukinumab-induced interstitial pneumonia in a patient with psoriasis vulgaris.   | J Dermatol. 2017 Dec;44(12):e322-e323.                    | Case report      |
| 122 | Nakashima S, Jinnin M, Kanemaru H, et al.             | 皮膚科           | The role of miR-210, E2F3 and ephrin A3 in angiosarcoma cell proliferation.  | Eur J Dermatol. 2017 Oct 1;27(5):464-471.                 | Original Article |
| 123 | Ichihara A, Jinnin M, Ihn H.                          | 皮膚科           | Treatment of psoriasis with ustekinumab improved skin tightening in systemic sclerosis.  | Clin Exp Rheumatol. 2017 Sep-Oct;35 Suppl 106(4):208-210. | Case report      |
| 124 | Sawamura S, Jinnin M, Shimbara M, et al.              | 皮膚科           | Serum levels of genomic DNA of $\alpha$ 1(I) collagen are elevated in scleroderma patients.  | J Dermatol. 2017 Aug;44(8):927-931.                       | Original Article |
| 125 | Sawamura S, Kajihara I, Jinnin M, et al.              | 皮膚科           | Cutaneous spindle cell adenolipoma on the nose: A rare variant of lipoma.  | J Dermatol. 2017 Jul;44(7):e156-e157.                     | Original Article |
| 126 | Egashira S, Kajihara I, Kanemaru H, et al.            | 皮膚科           | Achieved good response of S-1 and docetaxel combination chemotherapy in two patients with metastatic extramammary Paget's disease. | J Dermatol. 2017 May;44(5):e103-e104.                     | Case report      |
| 127 | Maeda S, Kajihara I, Ogata A, et al.                  | 皮膚科           | Bromoderma in a pituitary adenoma patient treated with bromocriptine.  | J Dermatol. 2017 May;44(5):e95-e96.                       | Case report      |

小計 10



|     |  |     |  |  |                  |
|-----|--|-----|--|--|------------------|
| 128 | Sawamura S, Kajihara I, Makino K, et al.           | 皮膚科 | Systemic lupus erythematosus associated with myasthenia gravis, pemphigus foliaceus and chronic thyroiditis after thymectomy.                              | Australas J Dermatol. 2017 Aug;58(3):e120-e122.        | Case report      |
| 129 | Yamada-Kanazawa S, Kajihara I, Fukushima S, et al. | 皮膚科 | Inhibition of heat shock protein 90 exerts an antitumour effect in angiosarcoma: involvement of the vascular endothelial growth factor signalling pathway. | Br J Dermatol. 2017 Aug;177(2):456-469.                | Original Article |
| 130 | Aoi J, Fukushima S, Jinnin M, et al.               | 皮膚科 | Fluorescence in situ hybridization for diagnosis of malignant melanoma using RREB1, MYB, Cep6, and CCND1 probes in Japanese patients.                      | Dermatologica Sinica, 2017 Dec;35:213-214.             | Original Article |
| 131 | Ishibashi T, Jinnin M, Kajihara I, et al.          | 皮膚科 | Bullous dermatosis of the elderly leg: a new clinical entity?  | Drug Discov Ther. 2017;11(6):346-348.                  | Case report      |
| 132 | Sawamura S, Jinnin M, Kajihara I, et al.           | 皮膚科 | Do scleroderma patients look young?: Evaluation by using facial imaging system.  | Drug Discov Ther. 2017;11(6):342-345                   | Original Article |
| 133 | Matsumura R, Inoue T, Matsumura A, et al.          | 眼科  | Efficacy of ripasudil as a second-line medication in addition to a prostaglandin analog in patients with exfoliation glaucoma: A pilot study               | Clin Drug Investig. 2017 Jun;37(6):535-539.            | Original Article |
| 134 | Futakuchi A, Inoue T, Fujimoto T, et al.           | 眼科  | Molecular mechanisms underlying the filtration bleb-maintaining effects of suberoylanilide hydroxamic acid (SAHA).   | Invest Ophthalmol Vis Sci. 2017 Apr 1;58(4):2421-2429. | Original Article |
| 135 | Fujimoto T, Inoue T, Ohira S, et al.               | 眼科  | Inhibition of Rho kinase induces antioxidative molecules and suppresses reactive oxidative species in trabecular meshwork cells                            | J Ophthalmol. 2017;2017:7598140.                       | Original Article |

|     |  |             |  |  |                  |
|-----|--|-------------|--|--|------------------|
| 136 | Watanabe-Kitamura F, Inoue T, Kojima S ,et al. | 眼科          | Prospective 3D investigation of bleb wall after trabeculectomy using anterior-segment OCT.   | J Ophthalmol. 2017;2017:8261364.                   | Original Article |
| 137 | Iraha S, Tu HY, Yamasaki S ,et al.             | 眼科          | Establishment of immunodeficient retinal degeneration model mice and functional maturation of human ESC-derived retinal sheets after transplantation   | Stem Cell Reports. 2018 Mar 13;10(3):1059-1074.    | Original Article |
| 138 | Kumai Y, Yoshida N, Kamenosono Y,et al.        | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | Effects of Chin-Down Maneuver on the Parameters of Swallowing Function After Esophagectomy With 3-Field Lymphadenectomy Examined by Videofluoroscopy. Arch Phys Med Rehabil.   | Arch Phys Med Rehabil. 2017 Jun;98(6):1174-1179.   | Original Article |
| 139 | Takeda H ,Minoda R, Miwa T, et al.             | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | Transplanting mouse induced pluripotent stem cells into mouse otocysts in vivo.  | Neurosci Lett. 2017 Apr 24;647:153-158.            | Letter           |
| 140 | Kodama H, Kumai Y,Nishimoto K, et al.          | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | The Ferret as a Surgical Model for Vocal Fold Scar Creation and Treatment.   | Ann Otol Rhinol Laryngol. 2018 Mar;127(3):146-154. | Original Article |
| 141 | Sakata J, Yoshida R, Matsuoka Y, et al.        | 歯科口腔外科      | Predictive value of the combination of SMAD4 expression and lymphocyte infiltration in malignant transformation of oral leukoplakia.   | Cancer Med. 2017 Apr;6(4):730-738.                 | Original Article |
| 142 | Arita H, Nagata M, Yoshida R, et al.           | 歯科口腔外科      | FBWX7 expression affects the response to chemoradiotherapy and overall survival among patients with oral squamous cell carcinoma: a retrospective study  | Tumour Biol. 2017 Oct;39(10):101042831773 1771.    | Original Article |
| 143 | Tsuruta M, Ueda S, Yew PY, et al.              | 歯科口腔外科      | Bladder cancer-associated cancer-testis antigen-derived long peptides encompassing both CTL and promiscuous HLA class II-restricted Th cell epitopes induced CD4+ T cells expressing converged T-cell receptor genes in vitro. | Oncoimmunology. 2018 Jan 5;7(4):e1415687.          | Original Article |

|     |   |          |  |   |                  |
|-----|---|----------|--|---|------------------|
| 144 | Sakata J, Yamana K, Yoshida R, et al.   | 歯科口腔外科   | Tumor budding as a novel predictor of occult metastasis in cT2N0 tongue squamous cell carcinoma.   | Hum Pathol. 2018 Jan 4. pii: S0046-8177(17)30492-6. | Original Article |
| 145 | Kawahara K, Hiraki A, Yoshida R, et al. | 歯科口腔外科   | Salivary duct carcinoma treated with cetuximab-based targeted therapy: a case report   | Mol Clin Oncol. 2017 Jun;6(6):886-892.              | Case report      |
| 146 | Yoshida R, Ito T, Hassan WA, et al.     | 歯科口腔外科   | Notch1 in oral squamous cell carcinoma.  | Histol Histopathol. 2017 Apr;32(4):315-323.         | Review           |
| 147 | Kidoh M, Utsunomiya D, Oda S, et al.    | 画像診断・治療科 | Breast dose reduction for chest CT by modifying the scanning parameters based on the pre-scan size-specific dose estimate (SSDE).  | Eur Radiol. 2017 Jun;27:2267-2274.                  | Original Article |
| 148 | Nagayama Y, Nakaura T, Tsuji A, et al.  | 画像診断・治療科 | Radiation dose reduction using 100-kVp and a sinogram-affirmed iterative reconstruction algorithm in adolescent head CT: Impact on grey-white matter contrast and image noise. | Eur Radiol. 2017 Jul;27:2717-2725.                  | Original Article |
| 149 | Iyama Y, Nakaura T, Katahira K, et al.  | 画像診断・治療科 | Development and validation of a logistic regression model to distinguish transition zone cancers from benign prostatic hyperplasia on multi-parametric prostate MRI.           | Eur Radiol. 2017 Sep;27:3600-3608.                  | Original Article |
| 150 | Kidoh M, Utsunomiya D, Funama Y, et al. | 画像診断・治療科 | Vectors through a cross-sectional image (VCI): A visualization method for four-dimensional motion analysis for cardiac computed tomography.                                    | J Cardiovasc Comput Tomogr. 2017 Nov;11(6):468-473. | Original Article |
| 151 | Oda S, Nakaura T, Utsunomiya D, et al.  | 画像診断・治療科 | Clinical potential of retrospective on-demand spectral analysis using dual-layer spectral detector-computed tomography in ischemia complicating small-bowel obstruction.       | Emerg Radiol. 2017 Aug;24(4):431-434.               | Original Article |

|     |   |          |  |   |                  |
|-----|---|----------|--|---|------------------|
| 152 | Nakagawa M,<br>Namimoto T,<br>Shimizu K,et<br>al. | 画像診断・治療科 | Measuring hepatic functional reserve using T1 mapping of Gd-EOB-DTPA enhanced 3T MR imaging: A preliminary study comparing with <sup>99m</sup> Tc GSA scintigraphy and signal intensity based parameters.                  | Eur J Radiol. 2017 Jul;92:116-123.                  | Original Article |
| 153 | Oda S,<br>Utsunomiya D,<br>Morita K,et al.        | 画像診断・治療科 | Cardiovascular magnetic resonance myocardial T1 mapping to detect and quantify cardiac involvement in familial amyloid polyneuropathy.   | Eur Radiol. 2017 Nov;27(11):4631-4638.              | Original Article |
| 154 | Kidoh M,<br>Nakaura T,<br>Funama Y,et<br>al.      | 画像診断・治療科 | Paradoxical Effect of Cardiac Output on Arterial Enhancement at Computed Tomography: Does Cardiac Output Reduction Simply Result in an Increase in Aortic Peak Enhancement?  | J Comput Assist Tomogr. 2017 May/Jun;41(3):349-353. | Original Article |
| 155 | Oda S,<br>Utsunomiya D,<br>Nakaura T,et al.       | 画像診断・治療科 | Identification and Assessment of Cardiac Amyloidosis by Myocardial Strain Analysis of Cardiac Magnetic Resonance Imaging.  | Circ J. 2017 Jun 23;81(7):1014-1021.                | Original Article |
| 156 | Nagayama Y,<br>Nakaura T,<br>Oda S,et al.         | 画像診断・治療科 | Value of 100 kVp scan with sinogram-affirmed iterative reconstruction algorithm on a single-source CT system during whole-body CT for radiation and contrast medium dose reduction: an intra-individual feasibility study. | Clin Radiol. 2018 Feb;73(2):217.e7-217.             | Original Article |
| 157 | Taguchi N,<br>Oda S,<br>Nakaura T,et<br>al.       | 画像診断・治療科 | Contrast enhancement in abdominal computed tomography: influence of photon energy of different scanners.   | Br J Radiol. 2018 Jan;91(1081):20170285.            | Original Article |
| 158 | Tsuda N,<br>Shiraishi S,<br>Sakamoto F,et al.     | 画像診断・治療科 | Quantification of myocardial perfusion reserve using dynamic SPECT images of patients with chronic kidney disease.   | J Cardiol. 2018 Feb;71(2):174-180.                  | Original Article |

小計 7

|     |  |          |  |  |                  |
|-----|--|----------|--|--|------------------|
| 159 | Hirata K,<br>Nakaura T,<br>Okuaki T, et<br>al.   | 画像診断・治療科 | 3D hybrid profile<br>order technique in a<br>single breath-hold 3D<br>T2-weighted fast<br>spin-echo sequence:<br>Usefulness in<br>diagnosis of small<br>liver lesions.   | Eur J Radiol. 2018<br>Jan;98:113-117.                      | Original Article |
| 160 | Iyama Y,<br>Nakaura T,<br>Kidoh M, et<br>al.     | 画像診断・治療科 | Fat Suppressed<br>Contrast-Enhanced<br>T1-Weighted<br>Dynamic Magnetic<br>Resonance Imaging at<br>3T: Comparison of<br>Image Quality<br>Between Spectrally<br>Adiabatic Inversion<br>Recovery and the<br>Multiecho Dixon<br>Technique in Imaging<br>of the Prostate. | J Comput Assist Tomogr.<br>2017 May/Jun;41(3):382-<br>387. | Original Article |
| 161 | Iyama Y,<br>Nakaura T,<br>Iyama A, et<br>al.     | 画像診断・治療科 | Usefulness of a Low<br>Tube Voltage:<br>Knowledge-Based<br>Iterative Model<br>Reconstruction<br>Algorithm for<br>Computed<br>Tomography<br>Venography.   | J Comput Assist Tomogr.<br>2017 Sep/Oct;41(5):811-<br>816. | Original Article |
| 162 | Iyama Y,<br>Nakaura T,<br>Iyama A, et<br>al.     | 画像診断・治療科 | Feasibility of Iterative<br>Model Reconstruction<br>for Unenhanced<br>Lumbar CT.   | Radiology. 2017<br>Jul;284(1):153-160.                     | Original Article |
| 163 | Toya R,<br>Murakami R,<br>Murakami D,<br>et al.  | 放射線治療科   | Radiotherapy for<br>T3N0 glottic<br>carcinoma without<br>cord fixation: elective<br>nodal irradiation or<br>not?   | Oncotarget. 2017 Jul<br>18;8(45):79761-79766.              | Original Article |
| 164 | Toya R, Saito<br>T,<br>Shimohigashi<br>Y, et al. | 放射線治療科   | Four-dimensional<br>cone-beam computed<br>tomography-guided<br>radiotherapy for<br>gastric lymphoma.   | Jpn J Radiol. 2018<br>Feb;36(2):159-163.                   | Original Article |
| 165 | Saito T, Toya<br>R,<br>Matsuyama<br>T, et al.    | 放射線治療科   | Predictors of acute<br>hematologic toxicity<br>attributable to<br>palliative<br>radiotherapy:<br>Analysis of patient<br>characteristics and<br>bone marrow dose-<br>volume parameters.   | J BUON. 2018 Jan-<br>Feb;23(1):261-267.                    | Original Article |

小計 7

|     |   |        |   |  |                  |
|-----|---|--------|---|--|------------------|
| 166 | Toya R, Saito T, Shiraishi S, et al.    | 放射線治療科 | Dose-function Histogram Evaluation Using 99mTc-GSA SPECT/CT Images for Stereotactic Body Radiation Therapy Planning for Hepatocellular Carcinoma Patients: A Dosimetric Parameter Comparison. | Anticancer Res. 2018 Mar;38(3):1511-1516.      | Original Article |
| 167 | Kajiya T, Sugawara H, Kajio Y, et al.   | 神経精神科  | Effect of lamotrigine in the treatment of bipolar depression with psychotic features.   | Annals of General Psychiatry. 2017 Aug 9;16:31 | Case report      |
| 168 | Yano S, Hide T, Shinojima N.            | 脳神経外科  | Surgical Outcomes of Endoscopic Endonasal Skull Base Surgery of Craniopharyngiomas Evaluated According to the Degree of Hypothalamic Extension.   | World Neurosurg. 2017 Apr;100:288-296.         | Original Article |
| 169 | Yano S, Shinojima N, Kawashima J, et al | 脳神経外科  | Intraoperative Scoring System to Predict Postoperative Remission in Endoscopic Endonasal Transsphenoidal Surgery for Growth Hormone-Secreting Pituitary Adenomas.                             | World Neurosurg. 2017 Sep;105:375-385.         | Original Article |
| 170 | Fujimoto K, Yano S, Shinojima N, et al  | 脳神経外科  | Endoscopic endonasal transsphenoidal surgery for patients aged over 80 years with pituitary adenomas: Surgical and follow-up results.   | Surg Neurol Int. 2017 Sep 6;8:213.             | Original Article |
| 171 | Shinriki S, Jono H, Maeshiro M, et al.  | 中央検査部  | Loss of CYLD promotes cell invasion via ALK5 stabilization in oral squamous cell carcinoma.   | J Pathol. 2018 Mar;244(3):367-379.             | Original Article |
| 172 | Nakaguchi Y, Ono T, Maruyama M, et al.  | 中央放射線部 | Validation of a method for in vivo 3D dose reconstruction in SBRT using a new transmission detector   | J Appl Clin Med Phys. 2017 Jul;18(4):69-75.    | Original Article |
| 173 | Kai Y, Toya R, Saito T, et al.          | 中央放射線部 | Plan quality and delivery time comparisons between volumetric modulated arc therapy and intensity modulated radiation therapy for scalp angiosarcoma: A planning study.                       | J Med Radiat Sci. 2018 Mar;65(1):39-47.        | Original Article |

|     |  |          |  |   |                  |
|-----|--|----------|--|---|------------------|
| 174 | Morita K,<br>Oda S,<br>Utsunomiya<br>D, et al.       | 中央放射線部   | Saturation Recovery<br>Myocardial T1<br>mapping with a<br>Composite<br>Radiofrequency Pulse<br>on 3T MR Imaging<br>System  | Magn Reson Med Sci.<br>2018 Jan 10;17(1):35-41.     | Original Article |
| 175 | Shimohigashi<br>Y, Araki F,<br>Maruyama M,<br>et al. | 中央放射線部   | Image quality of four-<br>dimensional cone-<br>beam computed<br>tomography obtained<br>at various gantry<br>rotation speeds for<br>liver stereotactic<br>body radiation<br>therapy with fiducial<br>markers            | Phys Med. 2018<br>Jan;45:19-24.                     | Original Article |
| 176 | Kai N, Oda<br>S,<br>Utsunomiya<br>D, et al.          | 中央放射線部   | Dual-region-of-<br>interest bolus-<br>tracking technique<br>for coronary<br>computed<br>tomographic<br>angiography on a<br>320-row scanner:<br>reduction in the<br>interpatient<br>variability of arterial<br>contrast | Br J Radiol. 2018<br>Jan;91(1081):20170541.         | Original Article |
| 177 | Kaneko T,<br>Fujita M,<br>Ogino Y, et<br>al.         | 救急・総合診療部 | Serum neutrophil<br>gelatinase-associated<br>lipocalin levels<br>predict the<br>neurological<br>outcomes of out-of-<br>hospital cardiac<br>arrest victims.   | BMC Cardiovasc Disord.<br>2017 May 8;17(1):111      | Original Article |
| 178 | Kaneko T,<br>Uezono K,<br>Karashima R,<br>et al.     | 救急・総合診療部 | Factors contributing<br>to the accuracy of<br>initial screening<br>values measured by<br>noninvasive<br>spectrophotometric<br>hemoglobin<br>monitorng in an<br>emergency   | Crit Care Shock.2017; 20:<br>80-84                  | Case report      |
| 179 | Kasaoka S.   | 救急・総合診療部 | Evolved role of the<br>cardiovascular<br>intensive care unit<br>(CICU)   | J Intensive Care. 2017<br>Dec 22;5:72               | Review           |
| 180 | Kaneko T,<br>Tanaka H,<br>Yamada S,et<br>al.         | 救急・総合診療部 | Predictors of<br>inhalation burn injury<br>using fire site<br>information.   | Ann Burns Fire<br>Disaters.2017 Dec; 30:<br>275-277 | Original Article |

小計 7  
計180件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

| 番号 | 発表者氏名  | 筆頭著者の<br>特定機能病院における所属 | 題名   | 雑誌名・<br>出版年月等                               | 論文種別        |
|----|--|-----------------------|--|---|-------------|
| 1  | Akaike K,<br>Ichiyasu H,<br>Nagano J, et<br>al.    | 呼吸器内科                 | アーク溶接時に生じた金属ヒューム吸入が原因と考えられた肺胞出血の1例   | 日呼吸誌 7月<br>2017;6:244-248                   | Case report |
| 2  | Nakashima K,<br>Okamoto S,<br>Tsumura S,<br>et al. | 呼吸器内科                 | インフリキシマブ投与後にABPA様病態で発症し膿胸に至ったアスペルギルス症の1例   | 日呼吸誌 11月<br>2017;6:431-435                  | Case report |
| 3  | Fujimoto D,<br>Adachi M,<br>Irie R, et al.         | 腎臓内科                  | 慢性腎臓病に著明な低カルシウム血症を呈し、偽性副甲状腺機能低下症II型と診断した1例   | 日本内科学会雑誌. 2017<br>10月; 106: 2206-2211       | Case report |
| 4  | Suzuki M.  | 呼吸器外科                 | 胸骨床開胸の要点   | 胸部外科 2018年1月;71<br>巻1号: 10-11               | Case report |
| 5  | Baba H.  | 消化器外科                 | Surgical Case Reportsの現状と展望  | 日本外科学会雑誌 2017<br>年7月;118巻4号:386             | Review      |
| 6  | Iwatsuki<br>M,Yoshida<br>N,Baba H.                 | 消化器外科                 | 胃癌における脾摘の是非  | 臨床外科 2017年9月;72巻<br>9号:1110-15              | Review      |
| 7  | Baba H.  | 消化器外科                 | 外科医と労働時間—働き方改革は可能か?—   | 日本外科学会雑誌 2017<br>年5月;<br>118巻3号:259         | Review      |
| 8  | Baba<br>H,Iwatsuki<br>M,Yoshida N.                 | 消化器外科                 | 消化管癌に対する外科手術の進歩  | 日本消化管学会雑頁                                   | Review      |
| 9  | Shimata<br>K, Lee<br>KJ,Hayashida<br>S, et al.     | 小児外科・移植外科             | 虫垂の癒着で内ヘルニアをきたした1乳児例   | 日本小児外科学会雑誌<br>2017年8月; 53 (5):1032-<br>1036 | Case report |
| 10 | Oya Y,<br>Uchida<br>K,Kawabata<br>S,et al.         | 小児外科・移植外科             | 乳児生体肝移植後早期の門脈血栓症に対する門脈ステント留置   | 日本小児外科学会雑誌<br>2018年2月; 54(1): 59-63         | Case report |
| 11 | Imagawa D,<br>Yatsuda J,<br>Murakami Y,<br>et al.  | 泌尿器科                  | ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術を施行した巨大前立腺Stromal tumor of uncertain malignant potential (STUMP) の1例 | 西日本泌尿器科 2018年1<br>月;80:19-23                | Case report |

小計 11



|    |   |          |   |                                   |                  |
|----|---|----------|---|-----------------------------------|------------------|
| 12 | Anami T,<br>Kurahashi R,<br>Yatsuda J, et<br>al.    | 泌尿器科     | 巨大な嚢胞性副腎褐色細胞腫の1例                              | 西日本泌尿器科 2018年1月;80:13-18          | Case report      |
| 13 | Hara C,<br>Murakami Y,<br>Tanoue K, et<br>al.       | 泌尿器科     | 化学療法先行治療が奏効した巨大精巣腫瘍の1例                        | 西日本泌尿器科 2017年11月;79:516-521       | Case report      |
| 14 | Sakamoto K,<br>Ide J,<br>Karasugi T,<br>et al.      | 整形外科     | 鏡視下治療を行った鎖骨遠位端骨融解症の1例                         | 整形外科と災害外科 2017年5月;66(2): 326-328  | Case report      |
| 15 | Kai Y,<br>Okamoto N,<br>Hiroo S, et<br>al.          | 整形外科     | 痛風結節を伴った膝関節内の限局型腱滑膜巨細胞腫の1例                    | 整形外科と災害外科 2017年12月;66 (3):529-533 | Case report      |
| 16 | Kawakami J,<br>Tokunaga T,<br>Karasugi T,<br>et al. | 整形外科     | 肩関節内と上腕二頭筋長頭腱鞘内に生じた滑膜骨軟骨腫症の1例                 | 整形外科と災害外科 2017年12月;66(3):605-608  | Case report      |
| 17 | Maeda K,<br>Fujimoto T,<br>Taniwaki<br>T.,et al.    | 整形外科     | 下位頸椎におけるダンベル型髄膜腫の1例                           | 整形外科と災害外科 2017年12月;66(4):764-767  | Case report      |
| 18 | Chijoh M, Irie<br>H, Karasugi<br>T, et al.          | 整形外科     | 当科における上腕骨離断性骨軟骨炎の治療について                       | 整形外科と災害外科 2017年12月;66(4): 680-683 | Original Article |
| 19 | Igata T,Mori<br>H,Nishimura<br>Y,et al.             | 皮膚科      | 2灯撮影における顔面正面像の最適な撮影条件の検討                      | 形成外科 2017年11月;60巻11号:1313-1320    | Original Article |
| 20 | Kawano<br>Y,Kagiwara<br>I,Yamada S,et<br>al.        | 皮膚科      | 臨床統計 乾癬患者におけるインフリキシマブ治療継続率 熊本大学における検討         | 臨床皮膚科 2017年6月;71巻7号:555-558       | Original Article |
| 21 | Nakashima<br>S,Miyashita<br>A,Niimori<br>D,et al.   | 皮膚科      | 慢性型頸部放線菌症の1例                                  | 臨床皮膚科 2017年6月;71巻7号:528-532       | Original Article |
| 22 | Honda<br>N,Ishitsu<br>R,Chitioka<br>T,et al.        | 皮膚科      | 【発熱を伴う皮膚病】<br>〈臨床例〉小膿疱を伴う紅斑を呈した川崎病            | 皮膚病診療 2017年5月;39巻5号:511-514       | Original Article |
| 23 | Tsuruta<br>M,Ichihara<br>A,Jono T,et<br>al.         | 皮膚科      | 【発熱を伴う皮膚病】<br>〈臨床例〉肺障害を伴ったカルバマゼピンによる薬剤性過敏症症候群 | 皮膚病診療 2017年5月;39巻5号:487-490       | Original Article |
| 24 | Nagayama Y.   | 画像診断・治療科 | 小児CTにおける低電圧撮影                                 | Rad Fan vol.15 .2017 Jun          | Original Article |
| 25 | Shiraishi S.  | 画像診断・治療科 | 虚血性心疾患における心筋血流シンチ 一定性から定量へ                    | Rad Fan vol.10.2017 Sep           | Original Article |

|    |   |                |  |   |                  |
|----|---|----------------|--|---|------------------|
| 26 | Kawanaka K, Tamura Y, Ikeda O, et al        | 画像診断・治療科       | 肺腫瘍に対するRFA   | IVR会誌 2017;32(2):141-147                | Original Article |
| 27 | Ikeda O.                                    | 画像診断・治療科       | IVRにおける医療者被ばく  | IVR会誌 2017;32(4):14-18                  | Original Article |
| 28 | Nakaura T.                                  | 画像診断・治療科       | 臨床医にとっての機械学習・人工知能入門  | 臨床放射線 2017 Sep;62:1217-1222.            | Original Article |
| 29 | Maruyama T, Hashimoto M, Ishikawa T, et al. | 神経精神科          | 認知症医療と介護連携のための縦断的連携パスの有用性の検証                                   | Dementia Japan.2017 Sep;31(3): 380-388. | Original Article |
| 30 | Yamada K, Shinojima N, Hamasaki T           | 機能神経外科先端医療寄附講座 | 二次性半身ジストニアに対する淡蒼球内節刺激術の意義                                      | 機能的脳神経外科 2017年9月; 56: 23-30             | Original Article |
| 31 | Yamada K, Shinojima N, Hamasaki T.          | 機能神経外科先端医療寄附講座 | パーキンソン病・不随意運動症に対するDBS - false-negative indication の回避を目指して-    | 脳神経外科ジャーナル 2017年4月; 26(4): 280-286      | Review           |
| 32 | Yamada K, Shinojima N, Hamasaki T.          | 機能神経外科先端医療寄附講座 | パーキンソン病・不随意運動症に対するDBSのアップデートと将来展望                              | 脳神経外科ジャーナル 2017年12月; 26(12): 873-881    | Review           |
| 33 | Makino K, Kurada J, Nakamura H, et al       | 脳神経外科          | 小児水頭症患者に対するシャント術後の長期フォローアップの必要性についての検討                         | 小児の脳神経 2017年4月; 42(4): 350-354          | Original Article |
| 34 | Fujimoto K, Otsuka T, Shinojima N, et al    | 脳神経外科          | 初診時に甲状腺クリーゼを合併していたくも膜下出血の1例                                    | 脳卒中 2017年11月;39: 451-455                | Case report      |
| 35 | Kaneko T, Tanaka H, Yamada S, et al.        | 救急・総合診療部       | 熊本県消防防災ヘリ現場救急活用に関する考察  | 日航医誌 2017;18巻1号:3-8                     | Original Article |
| 36 | Kasaoka S, Kaneko T, Irie H, et al.         | 救急・総合診療部       | 心肺蘇生法を実施したバイスタンダーに対する心的ケアに関する救急隊員へのアンケート調査                     | 臨床救急医学会雑誌 2017;20巻:572-576              | Original Article |
| 37 | Kaneko T, Irie H, Karashima R, et al.       | 救急・総合診療部       | 屠殺銃暴発による爆発外傷の1例  | 日外傷会誌 2017;31巻4号:448-452                | Case report      |
| 38 | Tanaka H, Iwashita S, Kaneko T, et al.      | 救急・総合診療部       | 椎骨動脈破裂により脳死とされうる状態となったが移植ドナーにならなかったNF1(von Recklinghausen病)の1例 | 日臨教会誌 2017;20巻6号:733-737                | Case report      |

小計 13

|    |   |          |  |                         |                  |
|----|---|----------|--|-------------------------|------------------|
| 39 | Kaneko T,<br>Tanaka H,<br>Yamada S, et<br>al. | 救急・総合診療部 | 熊本県消防防災ヘリ<br>と熊本県ドクターヘリ<br>の救急現場活動に関<br>する比較検討 | 日航医誌 2017;18巻3<br>号:3-7 | Original Article |
|----|---|----------|--|-------------------------|------------------|

小計 1  
計 39件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

|   |         |
|---|---------|
| ① 倫理審査委員会の設置状況  | 有・無     |
| ② 倫理審査委員会の手順書の整備状況  | 有・無     |
| ・ 手順書の主な内容<br>○研究者、研究責任者、研究部長及び病院長の責務<br>○人を対象とした医学系研究倫理審査申請の受付から審査までの業務手順<br>○研究開始から終了に係る業務手順<br>○研究の倫理、研究実施に必要な知識および技術に関する教育・研修 |         |
| ③ 倫理審査委員会の開催状況  | 年 1 1 回 |

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

|   |           |
|---|-----------|
| ① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況   | 有・無       |
| ② 利益相反の管理に関する規定の整備状況  | 有・無       |
| ・ 規定の主な内容<br>○熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の設置<br>○臨床研究にかかる利益相反申告書の提出<br>○委員会による審査結果、指導・勧告、異議申し立て、情報開示 |           |
| ③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況   | 年 7 2 1 回 |

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

|                           |         |
|---------------------------|---------|
| ① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況     | 年 1 0 回 |
| ・ 研修の主な内容<br>○臨床研究の支援について |         |

- 臨床医学研究と医薬品研究開発の課題と展望
- 再生医療、先進医療について
- 医学研究における統計解析の役割
- 医療機器開発とレギュラトリーサイエンス
- 臨床研究法について

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科にて実施される専門医修練プログラムの主な内容は、以下のとおり。

- ・ 英語論文の抄読会
- ・ 新患カンファレンス
- ・ 手術カンファレンス
- ・ 病理カンファレンス
- ・ 画像診断カンファレンス
- ・ リサーチカンファレンス
- ・ 症例検討会
- ・ 実習トレーニング
- ・ スキルアップセミナー
- ・ 各種勉強会
- ・ 教員レクチャー など

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

|             |      |
|-------------|------|
| 上記研修を受けた医師数 | 268人 |
|-------------|------|

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

| 研修統括者氏名 | 診療科              | 役職等 | 臨床経験年数 | 特記事項 |
|---------|------------------|-----|--------|------|
| 藤井 一彦   | 呼吸器内科            | 講師  | 29年    |      |
| 佐々木 裕   | 消化器内科            | 教授  | 38年    |      |
| 松岡 雅雄   | 血液内科             | 教授  | 35年    |      |
| 松岡 雅雄   | 膠原病内科            | 教授  | 35年    |      |
| 向山 政志   | 腎臓内科             | 教授  | 34年    |      |
| 荒木 栄一   | 糖尿病・代謝・<br>内分泌内科 | 教授  | 34年    |      |
| 辻田 賢一   | 循環器内科            | 教授  | 19年    |      |
| 安東 由喜雄  | 脳神経内科            | 教授  | 34年    |      |
| 福井 寿啓   | 心臓血管外科           | 教授  | 23年    |      |
| 鈴木 実    | 呼吸器外科            | 教授  | 28年    |      |
| 馬場 秀夫   | 消化器外科            | 教授  | 33年    |      |
| 岩瀬 弘敬   | 乳腺・内分泌外<br>科     | 教授  | 38年    |      |
| 日比 泰造   | 小児外科             | 教授  | 19年    |      |
| 日比 泰造   | 移植外科             | 教授  | 19年    |      |
| 神波 大己   | 泌尿器科             | 教授  | 25年    |      |
| 片淵 秀隆   | 婦人科              | 教授  | 35年    |      |
| 中村 公俊   | 小児科              | 教授  | 27年    |      |
| 片淵 秀隆   | 産科               | 教授  | 35年    |      |
| 中村 英一   | 整形外科             | 講師  | 29年    |      |
| 尹 浩信    | 皮膚科              | 教授  | 27年    |      |

|       |             |      |     |               |
|-------|-------------|------|-----|---------------|
| 尹 浩信  | 形成・再建科      | 教授   | 27年 |               |
| 谷原 秀信 | 眼科          | 教授   | 32年 |               |
| 折田 頼尚 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 教授   | 21年 |               |
| 中山 秀樹 | 歯科口腔外科      | 教授   | 21年 |               |
| 山下 康行 | 画像診断・治療科    | 教授   | 36年 |               |
| 大屋 夏生 | 放射線治療科      | 教授   | 30年 |               |
| 橋本 衛  | 神経精神科       | 准教授  | 26年 |               |
| 武笠 晃丈 | 脳神経外科       | 教授   | 23年 |               |
| 山本 達郎 | 麻酔科         | 教授   | 35年 |               |
| 松井 啓隆 | 中央検査部       | 教授   | 22年 | 臨床検査専門研修プログラム |
| 笠岡 俊志 | 救急・総合診療部    | 教授   | 31年 |               |
| 三上 芳喜 | 病理部         | 教授   | 27年 |               |
| 松岡 雅雄 | 感染免疫診療部     | 教授   | 35年 |               |
| 水田 博志 | リハビリテーション部  | 教授   | 39年 |               |
| 松井 邦彦 | 地域医療支援センター  | 特任教授 | 28年 | 総合診療専門研修プログラム |

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

|   |
|---|
| <p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p>   |
| <p>・研修の主な内容</p> <p>【薬剤部】<br/>薬剤部では、職員研修を目的として、定期的に①「薬剤管理指導検討会」及び②「新薬説明会」、また、不定期に③「くすりの勉強会」を開催している。</p> <p>【看護部】<br/>看護部では、教育理念・教育方針のもと、毎年院内教育計画を策定し、実施している。</p> <p>【中央検査部】<br/>特定機能病院として、高度な臨床検査体制を構築するため、別紙の研修をスタッフ全員に対して行っており、臨床検査の精度保証の向上に努めている。</p> <p>【ME 機器センター】<br/>人工呼吸器に関する研修を実施することは、医療事故防止の面で有効と考え毎年実施している。参加者は看護師だけでなく、呼吸リハの関係で理学療法士や作業療法士も参加した。</p> <p>【中央放射線部】<br/>特定機能病院としての高度な救急医療に対応できるよう、救急放射線検査に関する研修を実施している。</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>【薬剤部】<br/>別紙（1）のとおり</p> <p>【看護部】<br/>別紙（2）のとおり</p> <p>【中央検査部】<br/>別紙（3）のとおり</p> <p>【ME 機器センター】<br/>別紙（4）のとおり</p> <p>【中央放射線部】<br/>別紙（5）のとおり</p> |
| <p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>   |
| <p>・研修の主な内容<br/>「個人情報保護」、「院内感染対策」、「医療安全管理」の本院において医療業務に携わる上で、各職員が必ず習得しておくべき基本的かつ重要な事項について周知徹底させる。</p> <p>・研修の期間・実施回数<br/>平成29年4月3日(月)外 ※採用者があり次第、随時実施</p> <p>・研修の参加人数<br/>478名(内訳：4月1日採用者314名、中途採用者164名)</p>   |
| <p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>   |
| <p>・研修の主な内容</p>   |



- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

|         |   |
|---------|---|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 ②. 現状   |
| 管理責任者氏名 | 病院長 谷原 秀信   |
| 管理担当者氏名 | 各診療科長、中央診療施設等の長、医療情報経営企画部長、薬剤部長、看護部長、医療技術部長、栄養管理部長、医療安全管理部長、各課長 |

|                  |                    | 保管場所                                       | 管理方法           |
|------------------|--------------------|--|----------------|
| 診療に関する諸記録        | 規則第二十二條の三第二項に掲げる事項 | 病院日誌                                       | 総務課            |
|                  |                    | 各科診療日誌                                     | 各診療科           |
|                  |                    | 処方せん                                       | 薬剤部            |
|                  |                    | 手術記録                                       | 中央手術部          |
|                  |                    | 看護記録                                       | 看護部            |
|                  |                    | 検査所見記録                                     | 中央検査部          |
|                  |                    | エックス線写真                                    | 中央放射線部         |
|                  |                    | 紹介状  | 各診療科           |
|                  |                    | 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書            | 各診療科           |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第二十二條の三第三項に掲げる事項 | 従業者数を明らかにする帳簿                              | 総務課            |
|                  |                    | 高度の医療の提供の実績                                | 医事課            |
|                  |                    | 高度の医療技術の開発及び評価の実績                          | 医事課            |
|                  |                    | 高度の医療の研修の実績                                | 総務課            |
|                  |                    | 閲覧実績                                       | 総務課            |
|                  | 規則第一條の十一第一項に掲げる事項  | 紹介患者に対する医療提供の実績                            | 医療サービス課        |
|                  |                    | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿                  | 医療サービス課<br>薬剤部 |
|                  |                    | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況                       | 医事課            |
|                  |                    | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況                      | 医事課            |
|                  |                    | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況                     | 医事課            |
|                  |                    | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医事課            |

|                  |                             | 保管場所  | 管理方法     |
|------------------|-----------------------------|---|----------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項 | 院内感染対策のための指針の策定状況   | 医事課      |
|                  |                             | 院内感染対策のための委員会の開催状況  | 医事課      |
|                  |                             | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況  | 医事課      |
|                  |                             | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況                             | 医事課      |
|                  |                             | 医薬品安全管理責任者の配置状況   | 薬剤部      |
|                  |                             | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況  | 薬剤部      |
|                  |                             | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況                              | 薬剤部      |
|                  |                             | 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部      |
|                  |                             | 医療機器安全管理責任者の配置状況  | 経理課      |
|                  |                             | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | ME機器センター |
|                  |                             | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   | ME機器センター |
|                  |                             | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況                 | ME機器センター |

|                                 |  | 保管場所   | 管理方法            |
|---------------------------------|--|--|-----------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録                | 規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項 | 医療安全管理責任者の配置状況                                   | 医事課             |
|                                 |  | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                               | 医事課             |
|                                 |  | 医薬品安全管理責任者の業務実施状況                                | 薬剤部             |
|                                 |  | 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況                        | 医事課             |
|                                 |  | 診療録等の管理に関する責任者の選任状況                              | 医事課             |
|                                 |  | 医療安全管理部門の設置状況                                    | 医事課             |
|                                 |  | 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況                       | 医事課             |
|                                 |  | 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況               | 医事課             |
|                                 |  | 監査委員会の設置状況                                       | 総務課             |
|                                 |  | 入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況                      | 医事課             |
|                                 |  | 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況               | 医事課             |
|                                 |  | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況               | 医療サービス課         |
|                                 |  | 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況        | 医事課             |
|                                 |  | 職員研修の実施状況  | 総務課             |
|                                 |  | 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 | 総務課、経理課、医事課、薬剤部 |
|                                 |  | 管理者が有する権限に関する状況                                  | 総務課             |
| 管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況 | 総務課                                      |  |                 |
| 開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況  | 総務課                                      |  |                 |

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|                          |            |       |
|--------------------------|------------|-------|
| 計画・現状の別                  | 1. 計画      | ②. 現状 |
| 閲覧責任者氏名                  | 事務部長 深澤 博昭 |       |
| 閲覧担当者氏名                  | 総務課長 川添 光芳 |       |
| 閲覧の求めに応じる場所              | 管理棟 3階 応接室 |       |
| 閲覧の手続の概要                 |            |       |
| 病院事務部（総務課総務担当）へ閲覧の要求を行う。 |            |       |

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

|           |         |       |
|-----------|---------|-------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延       | 0 件   |
| 閲覧者別      | 医 師     | 延 0 件 |
|           | 歯 科 医 師 | 延 0 件 |
|           | 国       | 延 0 件 |
|           | 地方公共団体  | 延 0 件 |

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## 規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |       |
|---|-------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況  | ○・無   |
| <p>・ 指針の主な内容：<br/>熊本大学医学部附属病院は、適切な安全安心で質の高い医療サービスを患者及びその家族に提供するために、医療事故、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理を目指す。また、「人間はエラーを犯す」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する。</p>  |       |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況  |       |
| <p>・ 設置の有無 ( ○・無 )</p> <p>・ 開催状況：年 16 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全管理に係る基本方針に関すること</li> <li>2. 医療安全管理のための具体的措置に関すること</li> <li>3. 医療安全に係る従業者の教育及び研修に関すること</li> <li>4. 本院において重大な問題その他医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること</li> <li>5. 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに従業者への周知に関すること</li> <li>6. 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること</li> <li>7. 医療事故発生時の患者や家族への説明及び公表に関すること</li> <li>8. その他医療に係る安全管理に関し必要な事項</li> </ol> |       |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況  | 年 2 回 |
| <p>・ 研修の内容 (すべて)：<br/>新規採用者、中途採用者のオリエンテーションとは別に、全職員を対象に実施しており、医療の質・安全管理部からの重要な通達事項(例：特定機能病院の承認要件の改正点)や、インシデントに関連したテーマの講演会(例：血管外漏出等)を実施している。</p>   |       |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況  |       |
| <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( ○・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br/>インシデントが発生した場合、各部署からインシデントレポートにより医療の質・安全管理部へ報告がある。なお、重大なインシデントについては部署リスクマネージャーから即時にゼネラルリスクマネージャーへ連絡があり、ICに同席するなど初期対応から医療の質・安全管理部が介入し対応している。<br/>インシデントレポートを基に要因分析と再発防止策の検討を医療の質・安全管理部と医療安全管理委員会で行っている。検討した再発防止策は、リスクマネージャー連絡会議において警鐘事例とともに各部署のリスクマネージャーに通達し、その後リスクマネージャーから全職員に周知される。<br/>また、部署リスクマネージャーによる自部署チェック、他部署間の相互チェックや、医療の質・安全管理部運営委員会委員による院内巡視、医療安全管理者によるラウンドなど、定期的な巡回や監査も実施している。</p>  |       |

(注) 前年度の実績を記入すること。

## 規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|   |         |
|---|---------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況   | ○・無     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2. 感染対策委員会、その他の医療機関内の組織に関する基本的事項</li> <li>3. 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li> <li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5. 抗微生物薬適正使用に関する基本方針</li> <li>6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>8. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol> </li> </ul>   |         |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況  | 年 1 2 回 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染防止対策に関する事項の審議</li> <li>2. 院内感染防止対策研修会の企画・審議</li> <li>3. 感染予防に関する事業の企画・実施</li> <li>4. MRSA等の薬剤耐性菌の分離状況についての報告</li> <li>5. 抗MRSA薬適正使用報告</li> <li>6. 感染制御チーム（ICT）からの報告</li> </ol> </li> </ul>  |         |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況  | 年 2 回   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. （医療系）『抗菌薬適正使用推進への取り組み』                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Antimicrobial Stewardship (AS) について</li> <li>・ 抗菌薬適正使用支援の実例</li> </ul> </li> <li>（事務系）『感染制御チーム（ICT）の視点                 <ul style="list-style-type: none"> <li>～全てのことには意味がある～</li> <li>・ ICTとは何かについて</li> <li>・ ICTラウンドについて</li> </ul> </li> <li>2. （医療系・事務系）『インフルエンザ                 <ul style="list-style-type: none"> <li>～あなたはアウトブレイクを防げますか？～</li> <li>・ インフルエンザの予防、発症時の対応について</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul> |         |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況   |         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：             <p>医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師等の多職種からなるICTを組織し、病院感染対策マニュアルの改定、院内感染発生時の対応、院内ラウンド、抗菌薬適正使用の推進、病院感染防止の教育・啓発、職業感染防止対策などの活動を行っている。</p> </li> </ul>   |         |

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |       |
|---|-------|
| ① 医薬品安全管理責任者の配置状況   | ○・無   |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況  | 年 5 回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【院内研修】</p> <p>(1) 平成29年4月5日・「院内における医薬品の取り扱いと薬剤部の紹介」・117名<br/>(講師；副薬剤部長、対象；新採用職員)</p> <p>(2) 平成 29 年 4 月 18 日・「平成 29 年度第 1 回新採用医師を対象とした医薬品安全使用等にかかる研修会」・77 名(新採用医師)</p> <p>(3) 平成 29 年 6 月 9 日・「看護師に必要な薬理作用の基礎知識」・58 名<br/>(講師；薬剤部長、対象；新採用看護師)</p> <p>(4) 平成 29 年 10 月 19 日・「平成 29 年度第 2 回新採用医師を対象とした医薬品安全使用等にかかる研修会」・89 名(講師；薬剤師、対象；新採用医師)</p> <p>(5) 平成 29 年 12 月 13,14,15 日・「平成 29 年度後期院内感染対策研修会及び医療安全のための講演会(医療系)」副作報告と血管外漏出について」・1088 名(講師；薬剤師 G R M、対象；全職員)</p> <p>【病棟別等の対象限定での研修】</p> <p>(1) 平成 29 年 4 月 25 日・「トルツと乾癬治療剤について」・12 名(講師；薬剤師、対象；西病棟 10 階看護師)</p> <p>(2) 平成 29 年 12 月 20 日・「抗菌薬について」・24 名(講師；薬剤師、対象；感染リンクナース)</p> <p>(3) 平成 30 年 2 月 6 日・「糖尿病の治療 ～薬物療法～」・11 名(講師；薬剤師、対象；西病棟 10 階看護師)</p> <p>(4) 平成30年3月22日・「注射剤の配合変化について」・10名(講師；薬剤師、対象；東病棟3階看護師)</p>  |       |
| <p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <p>・ 手順書の作成 (○・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者に薬剤部長を任命(平成19年4月)し、院内に医薬品安全管理専門委員会を設置した。『医薬品の安全使用のための業務手順書』(以下、業務手順書)は平成19年7月に作成した。平成29年9月には、医薬品安全管理専門委員会を開催し、業務手順書を改訂した(第12版)。今回の改訂内容については以下の通りである。</p> <p>(1) 麻薬室業務手順書の版改訂(第6版へ)</p> <p>(2) 錠剤の使用期限の確認時期を追記</p> <p>(3) 医療安全管理マニュアルの版改訂(第7版へ)</p> <p>(4) 救急カートの医薬品リストの掲載場所の変更(ファーストクラス→サイボウズ)</p> <p>(5) 外来処方オーダー時の警告に「患者アレルギー」を追加し、警告突破理由の記載を必須化</p> <p>(6) 調剤内規の版改訂(第 14 版へ)</p> <p>(7) 外来患者へ調剤薬を交付する際、薬学的指導を行う薬に吸入薬を追加</p> <p>(8) 未承認新規医薬品の導入を追記</p> <p>(9) 倫理委員会の名称を変更</p> <p>(10) 試験研究室業務マニュアルの版改訂(第9版へ)</p> <p>また、院内採用医薬品の追加および削除に対応して、本院におけるハイリスク薬リストを改訂した。</p> <p>病棟・外来診療棟等、院内各部署における常備医薬品の管理状況は、担当薬剤師が毎月訪問して確認すると共に、年1回は常備医薬品の全品目を新しいロット製品に入れ替える作業を薬剤部で実施することにより、医薬品の品質管理・安全使用に努めている。業務手順書に基づく業務の実施についてはチェックリストにより年1回確認している。</p> |       |
| <p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○・無)</p>  |       |



・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば):

5-ヒドロキシトリプトファン(以下5-HTP)補充療法

先天的代謝酵素欠損(セピアブテリン還元酵素欠損症)が推定される症例において、神経伝達物質セロトニンの前駆物質である5-HTPの補充療法を行う必要があった。患者は新生児であり、当該物質を含む市販サプリメントの長期投与では添加物も服用することになり有害事象が生じる可能性があった。そのため、純度の高い研究用試薬を使用することとし、当院の未承認新規医薬品等の導入手続きを経て平成29年7月14日から1mg/kg/日で投与が開始され、平成29年10月18日まで使用された。

・ その他の改善のための方策の主な内容:

- 1) 医薬品安全管理責任者は、院内各部署における常備医薬品に関する管理状況、内用剤・外用剤・注射剤の調剤時における疑義照会内容、外来化学療法室における疑義照会事例および病棟薬剤業務に関連した疑義照会事例等について、情報の収集・確認に努め、医療安全管理委員会において、その状況等を報告している。院内で発生した薬剤業務関連のインシデント事例について薬剤師への情報共有・周知を図り、再発防止のための注意喚起に努めている。
- 2) 院内各端末からは、病院情報管理システムを用いて、最新(毎月1回更新)の添付文書情報を閲覧可能としており、また、新規採用医薬品については、毎月発行の院内情報誌「熊大病院・医薬品情報」にて概要と注意事項等の情報を発信する共に、病院情報システム内の院内専用電子掲示板「医薬品情報」にも掲示している。
- 3) 調剤(注射剤調剤を含む)に際しては、質疑応答内容を記録し、処方鑑査、疑義照会および医薬品安全使用の目的に活用している。がん化学療法においては、処方ミスを回避し安全性を確保するため、注射用抗がん剤に対する処方専用のレジメンオーダリングシステムのみでの運用に限定している。注射用抗がん剤の無菌調製は休日も含め全て薬剤部で担当している。
- 4) 治療域の狭い薬物や個体差の大きい薬物等については、薬物血中濃度モニタリング(TDM)による投与設計・管理を推奨し、特に抗MRSA薬については、毎月度開催される感染対策委員会においてTDM実施状況を報告し、TDMに基づいた適正投与を行うように医師に対し周知徹底を図っている。
- 5) 未承認医薬品については、院内では「本院で使用したことのない医薬品であって、“医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律”における承認又は認証を受けていないもの」と定義した上で、薬剤部で調剤(分包依頼、剤形変更などの特殊製剤依頼等も含む)する際には、未承認医薬品の使用が倫理委員会(人を対象とする医学系研究臨床研究部門倫理委員会、臨床倫理委員会)の承認を得ていることを書面にて確認している。医薬品安全管理責任者が指名した薬剤師(担当薬剤師)は未承認医薬品の使用状況及び規程遵守状況等を月1回定期的に確認し、医薬品安全管理責任者へ報告している。
- 6) 平成29年度の新規取組み事項
  - (1) 平成29年1月の病院情報システムの更新に際し、処方オーダ入力のリターンエラーへの切り替え、警告メッセージ突破時の理由コメント入力の義務化を始めとした各機能を追加し医薬品使用の安全対策を強化してきたが、更に禁忌病名チェックについても機能を拡充した。平成29年11月1日より、緊急安全性情報発令の病名を対象とし、併用禁忌・用法用量超過・アレルギー歴などと同様に「警告突破理由」を必須とするシステム運用を開始した。
  - (2) 病棟において注射指示書を印刷した場合、経路/部位ごとに自動ソートされて出力されていたため、抗がん薬の実施順序を間違えたインシデントが発生した。本事案を踏まえ、平成29年11月より、投与タイミング順に印字するシステムへ改修を行った。
  - (3) 他施設における注射剤の異物混入等の事案を勘案し、平成29年12月4日より、医薬品使用前の確認を徹底する目的で、薬剤部製剤室で調製した中心静脈栄養(TPN)の支給容器へ封印シールを貼付することとした。
  - (4) 医薬品の盗難や紛失等を防止する一環として、平成29年11月9日より、薬剤部内の麻薬室、医薬品支給棚及び向精神薬管理棚を中心に監視するモニターを設置した。
  - (5) 医薬品情報室にて作成した以下の資料を、院内情報誌「熊大病院・医薬品情報」にて発信するとともに病院情報システム内の院内専用電子掲示板「医薬品情報」にも掲示し周知を図った。
    - No.361 7月号 「食物アレルギーと禁忌・注意薬剤(当院採用薬)」
    - No.365 11月号 「βラクタム系抗菌薬過敏症患者の抗菌薬療法について」
    - No.369 3月号 「B型肝炎ウイルスの再燃について添付文書に注意記載がある院内採用医薬品」

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |      |
|--|------|
| ① 医療機器安全管理責任者の配置状況   | ○・無  |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況  | 年18回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成29年 4月 輸液ポンプ、人工呼吸器、除細動器の正しい使い方・・・・・・・・・・研修医44名<br/> 4月 閉鎖式保育器の基礎と使用方法・・・・・・・・・・医師1名、看護師5名、医療技術職員13名、一般職員2名<br/> 5月 除細動器の原理と日常点検・・・・・・・・・・看護師10名、医療技術職員10名、一般職員2名<br/> 6月 補助循環装置（IABP、PCPS）・・・・・・・・・・医師1名、看護師3名、医療技術職員15名、一般職員3名<br/> 7月 人工呼吸器のモードをマスターする・・・・・・・・・・医師1名、看護師28名、医療技術職員17名<br/> 7月 放射線治療機器リニアックの安全な使用方法・・・・・・・・・・医療技術職員8名<br/> 8月 人工心臓の基礎・・・・・・・・・・看護師10名、医療技術職員12名、一般職員1名<br/> 9月 血液浄化装置・・・・・・・・・・医師5名、看護師6名、医療技術職員17名、一般職員3名<br/> 10月 放射線治療器RALSの安全な使用方法・・・・・・・・・・医療技術職員8名<br/> 11月 ベースメーカー・・・・・・・・・・医師2名、看護師29名、医療技術職員16名<br/> 11月 放射線治療機器リニアックの安全な使用方法・・・・・・・・・・医療技術職員8名<br/> 11月 除細動器・・・・・・・・・・看護師12名、医療技術職員10名、一般職員3名<br/> 11月 放射線治療機器RALSの安全な使用方法・・・・・・・・・・医療技術職員8名<br/> 12月 補助循環装置とその管理・・・・・・・・・・医師3名、看護師4名、医療技術職員13名、一般職員2名<br/> 平成30年 1月 人工呼吸器・・・・・・・・・・医師1名、看護師34名、医療技術職員18名、一般職員2名<br/> 2月 人工心臓装置・・・・・・・・・・看護師23名、医療技術職員13名、一般職員3名<br/> 3月 高気圧酸素療法について・・・・・・・・・・看護師23名、医療技術職員13名、一般職員3名<br/> 3月 血液浄化装置（アフレーション療法）・・・・・・・・・・医師3名、看護師4名、医療技術職員13名、一般職員1名<br/> 医療機器導入時研修 15回 医師107名 看護師117名 医療技術職員22名</p> |      |
| ② 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況  |      |
| <p>・ 医療機器に係る計画の策定 (○・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>医療機器保守・点検業務手順書に則り、人工心臓装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、直線加速器、RALS、輸液ポンプ、シリンジポンプ、小型シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、低圧持続吸引器、空気除菌・脱臭装置、AED、麻酔器は保守点検に関する計画を策定し、ME機器センター技士ならびに製造販売業者が保守点検を実施している。保守点検後は、その状況を月報として医療機器安全管理責任者に報告し、最終的には病院長が委員長となっている医療安全管理委員会に提出されている。上記の医療機器は、始業点検・終業点検、使用中点検についても医療機器保守・点検業務手順書に則り実施している。なお、医療機器不具合時の対応法について院内ネットワークで閲覧できる状態であり、不具合機器は、医療機器修理依頼書とともにME機器センターに持参してもらっている。</p>  |      |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |      |
| <p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療安全情報で医療機器の不具合に関する事例が報告された際、聞きなれない言葉が出た際には、詳細を記したME機器センターニュースを発行し、各病棟に配布している。また、他施設で起こった医療事故に関しては医療機器の安全使用のための研修会の中でも説明することもある。なお、研修会に参加できなかった医療職員のために当日配布した資料を回覧板として渡し、後日、回収している。</p> <p>医療機器の添付文書はME機器センターで管理するとともに、院内ネットワーク上で何時でも閲覧できる。当センター職員は、院外の講演会、技術講習会に参加して技術の習得に努めている。</p>  |      |

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

|  |                      |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |
|--|----------------------|-------------------|----------------------|------------------|------------------|---------------------|------------------|------------------------|---------------------|
| ① 医療安全管理責任者の配置状況   | 有・無                  |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |
| <p>・責任者の資格（医師 <b>歯科医師</b>）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>管理者を議長として毎週開催される「医療安全対策に関するカンファレンス」及び毎月開催される「医療安全管理委員会」のメンバーとして医療安全管理責任者をはじめ、医療安全管理部門の医療安全管理者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が出席しており、各所掌事項の報告や検討事項について情報を共有している。特に組織横断的に病院全体での検討が必要な事項等においては、医療安全管理責任者と相談した上で、医療安全管理委員会に諮り審議している。</p>   |                      |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況   | 有（12名）・無             |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |
| <p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>○医薬品の安全使用のために必要となる医薬品の使用状況の確認及び関連情報の整理<br/>医薬品安全管理責任者が指名した薬剤師（担当薬剤師）は、病院情報システムから得られたデータ、薬剤部疑義照会システムに記録されたデータ並びに薬剤部病棟業務カンファレンスで報告された事例等を基に、院内における医薬品の使用状況を月1回定期的に確認している。その結果を踏まえて、医薬品安全管理責任者は、重要な添付文書情報、緊急安全性情報、安全性速報、適応外使用・禁忌医薬品使用・未承認医薬品使用（「適応外使用」、「禁忌医薬品使用」及び「未承認医薬品等」の医薬品安全管理に係る情報）を確認・整理している。</p> <p>○医薬品の適正使用に係る情報の院内周知及び周知状況の確認<br/>医薬品安全管理責任者は、担当薬剤師より報告された情報を医療安全管理委員会へ報告し、本委員会の判断の下に、必要に応じて医療安全管理部より院内全体に対し医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知している。“リスクマネージャー連絡会議の通達内容”および日本医療機能評価機構から発信される“医療事故情報収集等事業・医療安全情報”については、院内各部署に書面で配付し、署名にて周知状況を確認している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>○適応外使用及び禁忌医薬品使用に関する情報収集と確認<br/>担当薬剤師による適応外使用及び禁忌医薬品使用に関する情報を月1回定期的に収集した内容について、医薬品安全管理責任者が確認している。</p> <p>○未承認医薬品の使用状況の確認<br/>担当薬剤師による未承認医薬品の使用状況等を月1回定期的に確認した内容について、医薬品安全管理責任者が確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無 <b>有</b>・無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <table data-bbox="175 1724 1404 1870"><tr><td>（所属：薬剤部、職種 副薬剤部長）</td><td>（所属：薬剤部、職種 医療安全支援室長）</td></tr><tr><td>（所属：薬剤部、職種 調剤室長）</td><td>（所属：薬剤部、職種 麻薬室長）</td></tr><tr><td>（所属：薬剤部、職種 注射剤調剤室長）</td><td>（所属：薬剤部、職種 製剤室長）</td></tr><tr><td>（所属：薬剤部、職種 病棟薬剤業務支援室長）</td><td>（所属：薬剤部、職種 医薬品情報室長）</td></tr></table> |                      | （所属：薬剤部、職種 副薬剤部長） | （所属：薬剤部、職種 医療安全支援室長） | （所属：薬剤部、職種 調剤室長） | （所属：薬剤部、職種 麻薬室長） | （所属：薬剤部、職種 注射剤調剤室長） | （所属：薬剤部、職種 製剤室長） | （所属：薬剤部、職種 病棟薬剤業務支援室長） | （所属：薬剤部、職種 医薬品情報室長） |
| （所属：薬剤部、職種 副薬剤部長）  | （所属：薬剤部、職種 医療安全支援室長） |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |
| （所属：薬剤部、職種 調剤室長）   | （所属：薬剤部、職種 麻薬室長）     |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |
| （所属：薬剤部、職種 注射剤調剤室長）  | （所属：薬剤部、職種 製剤室長）     |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |
| （所属：薬剤部、職種 病棟薬剤業務支援室長）   | （所属：薬剤部、職種 医薬品情報室長）  |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |
| ④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況  | 有・無                  |                   |                      |                  |                  |                     |                  |                        |                     |

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・無 )</li><li>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：監査担当医師と診療情報管理士が毎月実施する診療録の監査の中で、患者説明の記録や説明・同意書についても監査を行い確認し、結果を運営審議会において報告している。また、同結果をリスクマネージャー連絡会議においても報告し、部署リスクマネージャー等を通じて規程の遵守について指導を行っている。</li></ul> |
|---|

|                       |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| ⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況 | <input checked="" type="radio"/> ・無 |
|-----------------------|-------------------------------------|

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月実施する診療録の監査実施と集計結果報告<br/>実施者：監査担当医師 228 名、診療情報管理士 9 名<br/>対象：外来診療録及び入院診療録（入院診療計画書や退院時要約を含む）<br/>監査症例数（計）：外来診療録 300 例／毎月、入院診療録 550～650 例／毎月</li><li>・監査結果を院内諸会議にて報告、診療科（監査担当医師）へ報告<br/>監査結果の不備について、主治医宛に症例別報告書にて通知、または医師へ直接連絡</li><li>・毎日実施している「入院診療計画書」及び「退院時要約」の作成状況の確認</li><li>・入職時のオリエンテーションにて、診療録等記載マニュアルをもとに講義</li></ul></li></ul> |
|---|

|                 |                                     |
|-----------------|-------------------------------------|
| ⑥ 医療安全管理部門の設置状況 | <input checked="" type="radio"/> ・無 |
|-----------------|-------------------------------------|

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・所属職員：専従（4）名、専任（3）名、兼任（18）名<br/>うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（9）名<br/>うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名<br/>うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（4）名<br/>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</li><li>・活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療の安全性の確保及び向上に係る方策の立案、推進及び検証に関すること。</li><li>(2) 医療安全管理に係る教育・研修の実施に関すること。</li><li>(3) 医療に係る安全の確保に資する診療状況の把握及び従業者の医療安全に対する意識向上の状況確認に関すること。</li><li>(4) 事故その他医療の質・安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生</li></ol></li></ul> |
|--|

した場合における診療録その他診療に関する記録の確認、当該事象に関わる患者又はその家族への説明、当該事象発生の原因究明その他の対応状況の確認及び当該確認の結果に基づく従業者への必要な指導に関すること。

- (5) 高難度新規医療技術の提供の適否等に関すること。
- (6) 未承認新規医薬品等の提供の適否等に関すること。
- (7) 医療安全管理に係る連絡調整業務に関すること。
- (8) 医療安全管理マニュアルに関すること。
- (9) 熊本大学医学部附属病院医療安全管理委員会に係る事務に関すること。
- (10) 職員のメンタルヘルス支援に関すること。
- (11) 医療事故及び医療紛争の当事者及びその家族の心理的支援に関すること。
- (12) 医療の質・安全管理部長が必要と判断する患者及びその家族への心理的支援に関すること(前号に規定する業務を除く。)
- (13) その他医療の質及び医療安全管理に関し必要な事項

・医療安全に資する診療内容についてのモニタリングの具体例:

中心静脈カテーテルの適正な施行状況や病理部における適切な検体の運用についてモニタリングしている。また、肺血栓予防について、全入院患者へのスクリーニングも含め導入を検討している。

・従事者の医療安全の認識についてのモニタリングの具体例:

「医療安全のための講演会」の受講状況について随時把握し、未受講者についてはeラーニングを受講するよう指導している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（0件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容:

(1) 診療科等の長から申請を受理した場合において、当該申請の内容を確認するとともに、高難度新規医

療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否等について意見を求めること。

(2) 前号の意見の求めに応じ、高難度新規医療技術評価委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科等の長に対し、その結果を高難度新規医療技術提供審査結果通知書により通知すること。

(3) 高難度新規医療技術の適正な手続に基づく提供に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認すること。

(4) 高難度新規医療技術の適正な手続に基づく提供について、従業員の遵守状況の確認を行うこと。

(5) 高難度新規医療技術の提供の適否等について決定したとき、及び前号の従業員の遵守状況の確認をしたときに、その内容について病院長に報告すること。

(6) 高難度新規医療技術評価委員会に係る事務を行うこと。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  ・ 無 )
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (  ・ 無 )

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 ( 1 件 ) 、 及び許可件数 ( 1 件 )

・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (  ・ 無 )

・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業員が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (  ・ 無 )

・ 活動の主な内容：

(1) 診療科等の長から申請を受理した場合において、当該申請の内容を確認するとともに、未承認新規医薬品等評価委員会に対して、未承認新規医薬品等の使用の適否等について意見を求めること。

(2) 前号の意見の求めに応じ、未承認新規医薬品等評価委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、申請を行った診療科等の長に対し、その結果を未承認新規医薬品等使用審査結果通知書により通知すること。

(3) 未承認新規医薬品等の適正な手続に基づく使用に関し、定期的に、及び使用後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認すること。

(4) 未承認新規医薬品等の適正な手続きに基づく使用について、従業員の遵守状況の確認を行うこと。

(5) 未承認新規医薬品等の適否等について決定したとき、及び前号の従業員の遵守状況を確認したときに、その内容について病院長に報告すること。

(6) 未承認新規医薬品等評価委員会に係る事務を行うこと。

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・ 無 )</li><li>・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・ 無 )</li></ul>  |
| <p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 2 5 5 件</li><li>・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 1 6 4 件</li><li>・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 報告の実施状況(発生内容や頻度、その後の患者の転帰等)の確認と、確認結果の管理者への報告。</li><li>2. 報告等の実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための従業者への研修及び指導。</li></ol> |
| <p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 他の特定機能病院等への立入り ( <input checked="" type="radio"/> (病院名：島根大学 ) ・ 無)</li><li>・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ( <input checked="" type="radio"/> (病院名：北海道大学 ) ・ 無)</li><li>・ 技術的助言の実施状況</li></ul> <p>高難度新規医療技術に該当するかどうか判断に迷う相談用フォームを作成してはどうかという助言に対し、医療安全HPにて、高難度に該当するかどうかの相談(難易度Dランクなど)は申請様式「1. 概要」のみを作成し、申請するよう表記した。</p>   |
| <p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 体制の確保状況</li></ul> <p>患者様やご家族からの医療の安全管理に係る相談等に対応する窓口として「患者相談室」を設置しており、直接の相談や電話による相談に対して適切に応じる体制を整えている。</p>   |

|   |
|---|
| <p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の実施状況</li></ul> <p>新規採用者、中途採用者のオリエンテーションとは別に、医療に係る安全管理のための職員研修を全職員を対象に年2回実施しており、医療安全管理部からの重要な通達事項(例:特定機能病院の承認要件の改正点)や、インシデントに関連したテーマの講演会(例:血管外漏出等)を実施している。</p> |
|---|

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1

日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：平成29年度第2回特定機能病院管理者研修（H29.12.25、26）受講済

医療安全管理責任者：平成29年度第4回特定機能病院管理者研修（H30.2.21、22）受講済

医薬品安全管理責任者：平成29年度第2回特定機能病院管理者研修（H29.12.25、26）受講済

医療機器安全管理責任者：平成29年度第5回特定機能病院管理者研修（H30.3.13、14）受講済

いずれも公益財団法人 日本医療機能評価機構主催

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)



## 規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

| 管理者に必要な資質及び能力に関する基準   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容<br/>           医師免許を有し、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）の規定に則った者であるとともに、人格が高潔で学識に優れ、次世代の医療に貢献すべく先端医療研究の推進、優れた医療人の育成および病院の管理運営に関し識見を有し、以下の点に合致する者           <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全管理業務に対する知見・経験</li> <li>2. 病院の管理運営・経営に必要な能力</li> <li>3. 熊本大学医学部附属病院に求められるミッションの遂行</li> </ol> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>・無）</li> <li>・ 公表の方法 熊本大学ホームページによる公表</li> </ul> |  |

## 規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

| 前年度における管理者の選考の実施の有無   |                    | <input checked="" type="radio"/> ・無 |   |                                     |
|---|--------------------|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>・無）</li> <li>・ 公表の方法<br/>熊本大学ホームページ及び院内掲示による公表</li> </ul> |                    |                                     |   |                                     |
| 管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由   |                    |                                     |   |                                     |
| 氏名  | 所属                 | 委員長<br>(○を付す)                       | 選定理由  | 特別の関係                               |
| 竹屋 元裕   | 熊本大学               | ○                                   | 学長が指名する理事                                   | 有・ <input checked="" type="radio"/> |
| 山崎 広道   | 熊本大学               |                                     | 学長が指名する理事                                   | 有・ <input checked="" type="radio"/> |
| 安東 由喜雄  | 熊本大学<br>生命科学部      |                                     | 医学系研究部会議から選出された者                            | 有・ <input checked="" type="radio"/> |
| 水田 博志   | 熊本大学<br>医学部附属病院    |                                     | 医学部附属病院運営審議会から選出された者                        | 有・ <input checked="" type="radio"/> |
| 福田 稠  | 熊本県医師会             |                                     | 熊本県医師会長として、熊本県の医療・保健・福祉全般に豊富な知見を有する         | 有・ <input checked="" type="radio"/> |
| 高橋 毅  | 国立病院機構<br>熊本医療センター |                                     | 医学部附属病院医療安全管理委員会委員として、本院の医療安全管理体制等について深い理解を | 有・ <input checked="" type="radio"/> |

(様式 6-3)

|       |                 |  |  |                                       |
|-------|-----------------|--|--|---------------------------------------|
|       |                 |  | 有する  |                                       |
| 古閑 陽一 | 熊本県<br>健康福祉部    |  | 熊本県の医療に係る担当責任者として、熊本県の医療・保健・福祉全般に豊富な知見を有する | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 |
| 本 尚美  | 熊本大学<br>医学部附属病院 |  | 学長が必要と認める者                                 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 |

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

| 合議体の設置の有無  |               | ①・無 |                                       |
|--|---------------|-----|---------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容<br/>病院の管理運営・経営等に関する重要事項及び病院長候補適任者の選考に関する事項</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況<br/>院内コミュニケーションシステム（ガルーン）により、資料・議事録を掲載し周知</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（①・無）</li> <li>・公表の方法<br/>熊本大学規則集システムや院内コミュニケーションシステム（ガルーン）に掲載し公表</li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・②）</li> </ul> |               |     |                                       |
| 合議体の委員名簿   |               |     |                                       |
| 氏名   | 委員長<br>(○を付す) | 職種  | 役職                                    |
| 谷原 秀信  | ○             | 医師  | 病院長、総合臨床研究部長                          |
| 坂上 拓郎  |               | 医師  | 呼吸器内科長                                |
| 佐々木 裕  |               | 医師  | 消化器内科長、光学医療診療部長                       |
| 松岡 雅雄  |               | 医師  | 血液内科長、膠原病内科長、感染免疫診療部長、がんセンター長         |
| 向山 政志  |               | 医師  | 腎臓内科長                                 |
| 荒木 栄一  |               | 医師  | 副病院長、糖尿病・代謝・内分泌内科長、栄養管理部長、高度医療開発センター長 |
| 辻田 賢一  |               | 医師  | 循環器内科長                                |
| 安東 由喜雄   |               | 医師  | 神経内科長                                 |
| 福井 寿啓  |               | 医師  | 心臓血管外科長                               |
| 鈴木 実   |               | 医師  | 呼吸器外科長                                |
| 馬場 秀夫  |               | 医師  | 消化器外科長                                |
| 岩瀬 弘敬  |               | 医師  | 副病院長、乳腺・内分泌外科長                        |
| 山本 裕俊  |               | 医師  | 小児外科長                                 |
| 日比 泰造  |               | 医師  | 移植外科長、移植医療センター長                       |

(様式 6-3)

|        |  |         |  |
|--------|--|---------|--|
| 神波 大己  |  | 医師      | 泌尿器科長  |
| 片瀨 秀隆  |  | 医師      | 婦人科長、産科長、総合周産期母子医療センター長                        |
| 中村 公俊  |  | 医師      | 小児科長   |
| 中村 英一  |  | 医師      | 整形外科長、リハビリテーション部長                              |
| 尹 浩信   |  | 医師      | 皮膚科長、形成・再建科長、中央材料部長                            |
| 福島 美紀子 |  | 医師      | 眼科長  |
| 折田 頼尚  |  | 医師      | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科長                                   |
| 中山 秀樹  |  | 歯科医師    | 副病院長、歯科口腔外科長、医療の質・安全管理部長                       |
| 山下 康行  |  | 医師      | 副病院長、画像診断・治療科長                                 |
| 大屋 夏生  |  | 医師      | 放射線治療科長、中央放射線部長                                |
| 竹林 実   |  | 医師      | 神経精神科長   |
| 武笠 晃丈  |  | 医師      | 脳神経外科長   |
| 山本 達郎  |  | 医師      | 副病院長、麻酔科長、中央手術部長、集中治療部長、総合臨床研修センター長、ME 機器センター長 |
| 松井 啓隆  |  | 医師      | 中央検査部長、輸血・細胞治療部長                               |
| 三上 芳喜  |  | 医師      | 病理部長   |
| 笠岡 俊志  |  | 医師      | 救急・総合診療部長                                      |
| 宇宿 功市郎 |  | 医師      | 副病院長、医療情報経営企画部長                                |
| 西 一彦   |  | 医師      | 血液浄化療法部長                                       |
| 齋藤 秀之  |  | 薬剤師     | 薬剤部長   |
| 山本 治美  |  | 看護師     | 副病院長、看護部長                                      |
| 羽手村 昌宏 |  | 診療放射線技師 | 医療技術部長   |
| 野坂 生郷  |  | 医師      | 感染制御部長、地域医療連携センター長                             |
| 深澤 博昭  |  | 事務職員    | 副病院長、事務部長                                      |

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 公表の方法  
熊本大学規則集システムによる公表
- ・ 規程の主な内容  
熊本大学予算規則、熊本大学会計職務権限規則により大学本部より配分された予算執行等の権限。
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割
  - ・ 副病院長：病院長の職務の一部を補佐
  - ・ 病院長特別補佐：病院長が命ずる病院における特別な事項を担当し、病院長を補佐
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
人事面の整備として、平成30年度から、病院長特別補佐を新設し、新たに4名を病院長補佐に任命した上で、労務管理などの重要課題の責任者として対応させている。さらに、副病院長を6名から8名に増員し、併せて、任期も2年から1年に短縮し、より多くの人材に副病院長を経験させ、病院のマネジメントに参画する機会を増やしている。  
研修等については、国立大学附属病院長会議等が連携して企画される「病院経営次世代リーダー養成塾」に、若手の副病院長等を出席要請するとともに、手術部の運用改善や医師の働き方改革など、病院運営において課題となる事項を検討するWGの座長に副病院長を指名し、副病院長のマネジメント力のスキルアップを図っている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

| 監査委員会の設置状況  |                          |               |                          |      | ①・無           |
|---|--------------------------|---------------|--------------------------|------|---------------|
| <p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医学部附属病院の医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長から報告を求め、又は必要に応じ確認を実施するとともに、必要に応じ医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べる。</p> <p>監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>熊本大学ホームページによる公表</p> |                          |               |                          |      |               |
| 監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）   |                          |               |                          |      |               |
| 氏名  | 所属                       | 委員長<br>(○を付す) | 選定理由                     | 利害関係 | 委員の要件<br>該当状況 |
| 内門 泰斗   | 鹿児島大学医療安全管理部<br>安全管理部門   | ○             | 医療安全に関する見識を有する者          | 有・①  | 1             |
| 藤木 美才   | ふじき法律事務所                 |               | 法律に関する見識を有する者            | 有・①  | 1             |
| 石崎 哲彦   | 熊本大学肝移植患者会<br>いちよの会 With |               | 医療を受ける者<br>その他の医療従事者以外の者 | 有・①  | 2             |

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容  
熊本大学監事監査において、法令等に従い、業務の適正かつ効果的、効率的、経済的な運営を図ること及び会計経理の適正を確保するための監査を実施。  
熊本大学内部監査において、業務の有効性及び効率性並びに業務処理の適法性について検証するとともに、リスク・マネジメント、内部統制及びガバナンス・プロセスの有効性について評価し、その結果に基づき是正又は改善のための助言、提言を行うための監査を実施。
- ・ 専門部署の設置の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 公表の方法  
熊本大学ホームページによる公表

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

| 開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況   |    |               |      |
|--|----|---------------|------|
| ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況<br>病院の管理運営の状況を点検する外部有識者も含めた「アドバイザー会議（仮称）」を平成 31 年 4 月 1 日に設置予定。 |    |               |      |
| ・ 会議体の実施状況（年回）   |    |               |      |
| ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年回）   |    |               |      |
| ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）  |    |               |      |
| ・ 公表の方法  |    |               |      |
| 病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：  |    |               |      |
| 会議体の委員名簿   |    |               |      |
| 氏名   | 所属 | 委員長<br>(○を付す) | 利害関係 |
|  |    |               | 有・無  |
|  |    |               | 有・無  |
|  |    |               | 有・無  |
|  |    |               | 有・無  |

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。



規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合  
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

| 窓口の状況   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法<br/>    メール、電子掲示板への掲示</li></ul> |

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

|   |     |
|---|-----|
| ① 病院の機能に関する第三者による評価の有無                      | 有・無 |
| ・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期<br>日本医療機能評価機構、平成26年12月 |     |

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

|   |     |
|---|-----|
| ① 果たしている役割に関する情報発信の有無   | 有・無 |
| ・ 情報発信の方法、内容等の概要<br>熊大病院ホームページ、熊大病院ニュース（年2～3回発行）、熊大病院概要（毎年度発行）等を活用し、本院の役割に関する情報を発信している。<br>また、熊本県内外の医療機関と交流を図るため、熊本大学医学部附属病院連携病院長懇談会を設置しているが、当会において、各医療機関と意見交換を密にすることにより、種々の情報発信を行っている。 |     |

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

|   |     |
|---|-----|
| ① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無  | 有・無 |
| ・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要<br>当該科からのコンサルテーションシートに基づき、他科の診療科が必要に応じて診療・治療・検査等を連携して行う。 |     |

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

| 研修名        | 期間             | 実施回数 | 参加人員     | 備考 |
|------------|----------------|------|----------|----|
| ①薬剤管理指導検討会 | 毎月1回1時間程度      | 12回  | 平均 29.3名 |    |
| ②新薬説明会     | 毎月1回1時間程度      | 8回   | 平均 31.8名 |    |
| ③くすりの勉強会   | 必要に応じ開催(1~2時間) | 24回  | 平均 24.5名 |    |

【薬剤部】

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

平成29年度院内教育一覧

| 研修名  | 対象                                | 目標   | 内容   | 方法  | 日時             | 講師   | 場所   | 研修生人数   | 時間数 |       |
|------|-----------------------------------|--|--|---|----------------|--|--|---|-----|-------|
| 基礎研修 | 新規採用者<br>オリエンテー<br>ション            | 平成29年度新<br>規採用者・平<br>成28年度中途<br>採用者<br>約60人                | 病院の組織を知り看<br>護部の一員として組織<br>に慣れ、メンバーシ<br>ップが発揮できる。  | 病院・看護部の組織と<br>機能を学び、看護師とし<br>ての心構えを習得でき<br>る。 | 講義             | 4/3(月)<br>8:30~17:00<br>4/4(火)<br>8:30~9:50<br>13:00~13:50<br>4/5(水)<br>8:30~17:00<br>4/6(木)<br>11:10~11:45<br>4/7(金)<br>14:15~17:00 | 病院長、看護部長、<br>事務部長、<br>各診療・医療技術部<br>門長、<br>事務職員 | 医学総合研究棟<br>3階講習室、山崎<br>研修ホール、東<br>病棟12階多目的<br>ホール | 60人 | 20:30 |
|      | 新人看護師の<br>ための<br>メンタルヘルス          | 平成29年度新<br>規採用者54<br>人、平成28年<br>度中途採用者<br>1人               | メンタルヘルスとは何<br>かを知り、自身の心の<br>健康状態に気づきスト<br>レスに対応できる   | 1)職場における心の健<br>康づくり<br>2)職場におけるメンタル<br>ヘルス対策  | 講義<br>GW       | 4/4(火)<br>10:00~12:00  | 熊本大学大学院生命<br>科学研究部精神看護<br>学教授 宇佐美しおり<br>先生     | 山崎記念館1階<br>研修ホール                                  | 55人 | 2:00  |
|      | 社会人として<br>の基本姿勢と<br>コミュニケー<br>ション | 平成29年度新<br>規採用者:54<br>人、中途採用<br>者:3人                       | 1) 社会人として自覚と<br>責任ある行動が取れ<br>る<br>2) 専門職として主体<br>的に自己研鑽を図るこ<br>とができる<br>3) 医療チーム及び患<br>者、家族との良好なコ<br>ミュニケーションを図<br>ることができる<br>4) 組織における役<br>割、心構えを理解する | 組織における役割・心<br>構え、コミュニケーション<br>の取り方            | 講義<br>演習<br>GW | 4/6(木)<br>8:00~8:50  | 教育委員会<br>本田万里子看護師長                             | 東病棟12階多目<br>的ホール                                  | 57人 | 0:50  |
|      | 看護倫理                              | 平成29年度新<br>規採用者54<br>人、平成28年<br>度中途採用・<br>平成29年正規<br>採用者3人 | 看護師の倫理とは何<br>かを理解し、日常の看<br>護ケアの中で看護師と<br>してどのように行動す<br>べきかを学ぶ  | 看護師の倫理綱領、看<br>護ケアにおける倫理的<br>問題実践事例の検討         | 講義<br>GW       | 4/6(木)<br>9:00~11:00   | 急性・重症患者看護<br>専門看護師<br>吉里孝子看護師長                 | 東病棟12階多目<br>的ホール                                  | 57人 | 2:00  |
| 基礎研修 | 現場における<br>医療安全                    | 平成29年度新<br>規採用者:54<br>人、平成28年<br>度中途採用<br>者:4名             | 医療安全管理に関す<br>る基本的な考え方を<br>理解する   | 1) 組織における医療安<br>全<br>2) ダブルチェックの方<br>法に関して    | 講義<br>演習       | 4/6(木)<br>12:50~14:20  | 田口由美子ゼネラルリ<br>スクマネージャー                         | 東病棟12階多目<br>的ホール                                  | 58人 | 1:30  |

|      |                 |                                      |  |  |                     |                            |   |                     |     |      |
|------|-----------------|--------------------------------------|--|--|---------------------|----------------------------|---|---------------------|-----|------|
|      | 感染対策基礎研修        | 平成29年度新規採用者54人、平成28年度中途採用者・正規採用者4人   | 感染対策の基本を理解し、感染予防のための手指衛生と個人防護具の着脱の実践ができる                     | 1)院内感染対策の基本<br>2)標準予防策と感染経路別予防策<br>3)針刺し・血液体液曝露防止対策<br>4)医療廃棄物の分別方法・取り扱い方法<br>5)演習(個人防護具の着脱方法・手指消毒)      | 講義<br>演習            | 4/7(金)<br>10:15~13:15      | 藤本陽子<br>吉田真由美<br>感染管理認定看護師<br>感染リンクナース23人 | 東病棟12階多目的ホール        | 58人 | 3:00 |
| 基礎研修 | 新規採用者PC研修       | 平成29年度新規採用者(部署の必要に応じて任期付き、育児休業復帰者も可) | KAIJYU2の基本操作を学び、日常業務に活用できる                                   | ・KAIJYU2の基本操作<br>・診療録参照方法のデモンストレーション<br>・操作演習<br>・サイボウズの掲示板、共有フォルダBの閲覧方法とメールの送信受信方法                      | 演習                  | 4/10(月)<br>部署の都合のいい時間帯で2時間 | 看護情報リンクナース                                | 各部署                 | 52人 | 2:00 |
|      | 注射と薬・輸液ポンプ研修    | 平成29年度新規採用者                          | 1)注射と薬のプロセスを理解し、実践に活かす<br>2)輸液ポンプ・シリンジポンプの原理と使用方法を理解し、実践に活かす | 注射と薬プロセスおよび輸液ポンプ・シリンジポンプ使用方法   | 講義<br>演習(部署に分かれて実施) | 4/15(土)<br>8:00~16:45      | 安全リンクナース・実地指導者・教育支援室・看護部安全対策委員会           | 東病棟12階多目的ホール、各部署演習室 | 54人 | 7:45 |
|      | 心電図モニター基礎研修     | 平成29年度新規採用看護師・助産師                    | 心電図モニターの基本を学び、理解できる  | 1)セントラルモニターとベットサイドモニター、送信機について<br>2)心電図モニター装着時、装着中の注意事項<br>3)心電図モニターのアラーム対応とは<br>4)心電図モニターとナースコールの連動について | 講義                  | 4/24(月)<br>13:40~14:30     | 医療技術部ME機器技術部門 臨床工学技士 山下大輔先生               | 東病棟12階多目的ホール        | 52人 | 0:50 |
|      | 看護記録基礎研修(ステップ1) | 平成29年度新規採用者                          | 看護記録の意義を理解し、観察した患者状態を記録できる                                   | ・看護記録の意義<br>・バイタルサイン測定後の記録   | 講義<br>演習<br>GW      | 4/24(月)<br>14:45~16:45     | 塘田貞代美看護師長<br>看護情報委員会                      | 管理棟3階第一会議室          | 53人 | 2:00 |
| 基礎   | 糖尿病看護基礎研修       | 平成29年度採用看護師(任期付看護師除く)52人             | 糖尿病に対する知識・技術を身につけ、安全な看護が提供できる                                | ・糖尿病とは<br>・インスリン療法の基礎知識<br>・血糖降下剤について<br>・実技演習<br>・糖尿病看護とリスクマネージメント                                      | 講義<br>演習            | 5/29(月)<br>13:00~16:45     | 藤本美枝糖尿病看護認定看護師<br>日本糖尿病療養指導士(CDE) 10名     | 東病棟12階多目的ホール        | 52人 | 3:45 |

|      |                             |                             |  |   |                    |  |  |   |     |       |
|------|-----------------------------|-----------------------------|--|---|--------------------|--|--|---|-----|-------|
| 研修   | IV基礎研修                      | 平成29年度新規採用看護師55名、外部より3名     | ①安全な静脈注射を実施するための知識、基本的な技術・態度を習得する<br>②本院の静脈注射実施基準を理解し、倫理的側面を考慮<br>③静脈注射に必要な薬理作用・解剖生理を理解し実践にいかすことができる<br>④静脈注射に必要な安全・感染管理の知識を習得し、実践に活用できる<br>⑤緊急時の報告・連絡ができる | 「静脈注射に必要な解剖・生理」<br>「静脈注射実施基準と法的責任・教育計画」<br>「静脈注射に必要な緊急時の看護」<br>「静脈注射に必要な感染管理」<br>「静脈注射に必要な安全管理」<br>「看護師に必要な薬理作用の基礎知識」 | 講義                 | 6/9(金)<br>8:30~16:00                             | 熊本大学大学院生命科学研究部教授 大林光念先生<br>薬剤師部長 斎藤秀之先生<br>徳永美紀看護師長<br>田口由美子看護師長<br>村上志穂副看護師長<br>藤本陽子副看護師長 | 東病棟12階<br>多目的ホール  | 58人 | 7:30  |
|      | PNS研修                       | 平成29年度新規採用看護師53人            | 1)PNS場面におけるロールプレイを通して、PNSの意義、マインドを理解できる<br>2)自己の行動を振り返り、看護実践に活用できる   | ・PNSの気付き<br>・事例を通して気になった場面を検討する<br>・自己の行動を考える   | 講義<br>GW<br>ロールプレイ | 7/3(月)<br>14:00~15:30                            | PNS新人教育グループ(副看護師長)   | 東病棟12階<br>多目的ホール  | 52人 | 1:30  |
| 基礎研修 | 新人ピアカウンセリング研修               | 平成29年度新規採用者約53人             | ピアカウンセリングによりリアリティショックを緩和する   | ・3ヶ月間の振り返り<br>・気持ちの共有   | GW                 | 7/3(月)<br>15:00~16:45                            | 教育委員   | 東病棟12階<br>多目的ホール、<br>患者多目的室   | 51人 | 1:05  |
|      | 看護記録基礎研修「情報収集の仕方と整理(ステップ2)」 | 平成29年度新規採用看護師               | 看護過程の概念を学び、NANDA-Iの13領域にそった情報収集と整理ができる   | ・看護過程とは<br>・NANDA-Iの13領域にそった情報収集と整理<br>・グループワーク(ペーパー・ペインメント事例を用いた情報の整理)   | 講義・<br>GW・<br>発表   | 7/14(金)<br>13:00~16:45                           | 塘田看護師長   | 東病棟12階<br>多目的ホール  | 49人 | 3:45  |
| 基礎研修 | フィジカルアセスメント基礎研修             | 平成29年度新規採用看護師53名            | 1)フィジカルイグザミネーション技術を修得し、正常と異常のアセスメントができる<br>2)呼吸・循環・意識・腹部のフィジカルアセスメントに必要な知識を学ぶ<br>3)BLS(Basic Life Support)<br>*一次救命処置の概要を理解し、技術を習得する<br>*AEDを正しく理解し、使用できる  | 1)問診・視診・触診・聴診に必要な講義<br>2)フィジカルイグザミネーション技術の演習<br>3)シミュレーションを活用した正常と異常の判断<br>4)BLS                                      | 講義<br>演習<br>GW     | 8/30(水)<br>8/31(木)<br>(※いずれか1日に参加)<br>8:00~16:45 | 吉里孝子 急性・重症患者看護専門看護師<br>田中貞子 集中ケア認定看護師<br>上田郁美 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師<br>村上志穂 救急看護認定看護師        | 中央診療棟7階<br>総合臨床研修センターカンファレンス室・演習室・シミュレーション室   | 26人 | 15:30 |
|      | 新人研修「看護の中の気づき」              | 平成29年度新規採用看護師および平成28年度中途採用者 | 事例の振り返りやグループディスカッションを通して、自己の課題を明確にし、看護実践に活かせる  | 看護の中の気付き<br>・事例を通して看護の振り返りをする<br>・自己の課題を見いだす  | GWと必要時に<br>ロールプレイ  | 12/2(土)<br>8:00~13:00                            | 看護師長   | 管理棟3階第一会議室・管理棟3階第二会議室・管理棟3階第三会議室・西病棟3階カンファレンス室・東12階多目的ホール・患者多目的室・セミナー室2・3、中診棟7階カンファレンス室・演習室 | 52人 | 5:00  |

|      |                |                            |   |   |                |  |   |                           |                        |      |
|------|----------------|----------------------------|---|---|----------------|--|---|---------------------------|------------------------|------|
| 基礎研修 | トランスファー研修      | 平成29年度新規採用者                | 根拠に基づいたトランスファー技術で患者の移乗を安全にできる   | 1)トランスファー技術の理解<br>2)トランスファー技術の習得  | 講義<br>演習       | 10/25(水)<br>10/30(月)<br>17:00~18:00                    | 熊本大学医学部附属<br>病院 理学療法士   | 中央診療棟2階<br>リハビリテーション<br>部 | 1回目:<br>30人<br>2回目:24人 | 2:00 |
|      | 看護統合OSCE       | 平成29年度新規採用者<br>平成28年度中途採用者 | 1)1年間の実践の学びを客観的に評価し、自己の課題を明確にする<br>2)基本的臨床実践能力(看護の基本的姿勢と態度・看護技術・看護管理・接遇)を身につけ、患者に安全・安楽なケアが提供できる         | 模擬患者を設定したシナリオを実践する  | OSCE           | H30年1/23(火)<br>~26日(金)<br>9:00~15:30                   | 教育委員会が評価表に基づいて行う  | 中央診療棟7階<br>臨床研修センター       | 51人                    | 6:30 |
| ラダーI | がん看護(基礎編)      | がん看護経験1年以上                 | がん看護の基礎的知識を理解し、実践に活かすことができる   | ・緩和ケア<br>がん性疼痛看護<br>・がん化学療法看護<br>・がん放射線療法看護<br>・がん患者における精神的ケア<br>・統合事例                          | 講義<br>GW       | 7/21(金)<br>9:00~16:30                                  | がん看護専門看護師<br>石坂 桃子<br>緩和ケア認定看護師<br>高野 いづみ<br>宮本 真紀<br>がん性疼痛看護認定<br>看護師<br>前田 望花<br>がん放射線療法看護<br>認定看護師<br>太田 由利香<br>がん化学療法看護認<br>定看護師<br>森 奈緒美 | 東病棟12階多目的<br>ホール          | 38人                    | 6:30 |
|      | 看護診断           | レベルI以上                     | NANDA分類II 13領域、NANDA看護診断、NIC・NOCの概要を学び、実際に展開できる   | NANDA看護診断分類II 13領域各項目の意味とアセスメント<br>NANDA・NOC・NICリンケージの実際  | 講義<br>GW       | 11/29(水)<br>8:30~16:30                                 | 熊本大学大学院生命<br>科学研究部精神看護<br>学教授<br>宇佐美しおり先生   | 東病棟12階 多<br>目的ホール         | 50人                    | 7:00 |
|      | 看護管理           | クリニカルラダーレベルI               | 1)組織管理の概念を理解し、部署の運営に参画できる<br>2)チームメンバーとして主体的に行動できる  | 1)病院・看護部の組織管理の概念<br>2)医療制度・診療報酬制度<br>3)病院組織とチーム医療<br>4)看護と経営                                    | 講義<br>GW       | 9/26(火)<br>13:30~16:30                                 | 山本 治美副看護部<br>長  | 山崎記念会館 1<br>階研修ホール        | 48人                    | 3:00 |
| ラダーI | 急変時の対応(ラダーI対象) | レベルI                       | 1)急変対応に必要な知識とスキル(気道管理、モニター付き除細動)を修得する<br>2)急変対応時のコミュニケーション、チームワークの必要性について理解し行動できる<br>3)緊急性と優先度の判断が理解できる | 1)急変対応に必要な知識(急変の前兆、波形診断)<br>2)スキル(気道管理・モニター付き除細動)トレーニング<br>3)コミュニケーションとチームワーク概論<br>4)シナリオトレーニング | 講義<br>演習<br>GW | H30/1/20(土)<br>午前:8:00~<br>12:10<br>午後:13:10~<br>17:20 | コメディカル心肺蘇生<br>トレーニング部会・教<br>育委員会  | 中央診療棟7階<br>臨床研修セン<br>ター 他 | 50人                    | 8:20 |

|           |              |   |   |  |                  |                            |  |   |     |      |
|-----------|--------------|---|---|--|------------------|----------------------------|--|---|-----|------|
| ラダーレベルⅡ-1 | がん看護(実践編)    | ラダーⅡ-1以上  | がんやがんの治療に伴う症状へのケアについて理解し実践に活かすことができる                        | ①治療に伴う有害事象への看護ケア(がん化学療法・放射線療法)<br>②がんに伴う苦痛症状への看護ケア(がん性疼痛)<br>③がん看護における症状マネジメント(IASM)<br>④事例検討(グループワーク)   | 講義<br>GW<br>事例検討 | 9/8(金)<br>9:00~16:45       | がん看護専門看護師<br>安達美樹岡本康子<br>がん性疼痛看護認定<br>看護師<br>坂口まみ<br>がん放射線療法看護<br>認定看護師<br>太田由香里           | 東病棟12階多目的ホール  | 22人 | 6:45 |
|           | プリセプター研修:3ヶ月 | 平成29年度実地指導者(プリセプター)、教育担当者                             | プリセプターの悩みを共有し、新人看護師に対する指導・教育技法を学び、新人看護師への支援ができる             | ・新人看護職員研修制度の進捗状況報告と問題点の明確化<br>・ロールプレイ<br>・リフレクション<br>・カウンセリング<br>・アサーティブ訓練<br>・コーチング<br>・面接技法<br>・新人の成長度合いの評価と今後の指導のあり方                        | 講義<br>GW         | 7/6(木)<br>14:00~16:45      | 熊本大学大学院生命科学部精神看護学教授<br>宇佐美しおり先生  | 東病棟12階多目的ホール  | 38人 | 2:45 |
| ラダーレベルⅡ-1 | プリセプター研修:6ヶ月 | 平成29年度プリセプター  | 1) 新人の半年間の成長度合いを評価し、今後の指導内容や方法を検討する                         | 1) 新人の成長度合いの評価と今後の指導のあり方<br>2) 自己の振り返りと指導者としての成長過程の確認  | 講義<br>GW         | 9/22(金)<br>13:00~15:45     | 熊本大学大学院生命科学部精神看護学教授<br>宇佐美しおり先生  | 東病棟12階多目的ホール  | 34人 | 2:45 |
|           | プリセプターシップ研修  | 平成30年度実地指導者(プリセプター)(クリニカルラダーレベルⅡ-1以上) 新副看護師長副看護師長の希望者 | 熊本病院におけるプリセプターシップについて理解し、実践する                               | 1) プリセプターシップの概念<br>2) 効果的な指導・教育技法<br>3) 新人看護師の特性・面接技法  | 講義<br>GW         | H30/3/19(月)<br>13:00~16:45 | 熊本大学大学院生命科学部精神看護学教授<br>宇佐美しおり先生  | 東病棟12階多目的ホール  | 45人 | 3:45 |
|           | 事例研究発表会      | クリニカルラダーレベルⅡ-1看護師                                     | 1) 事例研究の意義を理解する<br>2) 実践と理論の統合ができる<br>3) 研究的態度を養い看護の探求心を高める | 事例研究発表および事例討議  | 発表とグループディスカッション  | 11/11(土)<br>8:00~13:00     | 専長及びファシリテーター<br>看護師長   | 山崎記念館1階会議室、山崎記念館1階研修ホール、山崎記念館2階研修室、管理棟3階第1会議室、中央診療棟7階カンファレンスルーム | 50人 | 5:00 |
| ラダーレベルⅡ-1 | 退院支援         | クリニカルラダーレベルⅡ-1以上                                      | 1) 医療提供体制の現状を知る<br>2) 患者・家族が安心して退院後の療養環境に移行するための支援を学ぶ       | 1) 退院支援・退院調整が必要な背景の理解<br>2) 急性期病院における看護師の役割<br>3) 在宅療養継続のための社会資源活用<br>4) 医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーの役割を理解する<br>5) 医療機関と地域との連携について理解する<br>～訪問看護師の立場から～ | 講義<br>GW<br>発表   | 11/20(月)<br>10:15~17:15    | 特定医療法人萬生会<br>萬生会訪問看護ステーション 管理者<br>北住紀美子先生<br>地域医療連携センター<br>井原国代看護師長<br>高橋京香副看護師長<br>原田薫MSW | 管理棟3階 第一会議室   | 24人 | 6:00 |



|           |                         |  |  |  |                |   |  |                              |   |       |
|-----------|-------------------------|--|--|--|----------------|---|--|------------------------------|---|-------|
| ラダーレベルⅡ・Ⅲ | 看護研究研修<br>コース編          | ラダーレベルⅡ-2以上の看護職員で希望者                                     | 1) 研究に関心を持ち実践と結びつけて考えることができる<br>2) 臨床の問いを明確にして文献検索を行い、研究計画書を作成できる<br>3) 看護研究の一連の流れを展開し、院内外で発表することを旨とする   | 研究テーマの検討<br>・文献検索の実際<br>・研究計画書の作成<br>・研究論文の作成  | 検討             | 1回目:6/1(木)<br>2回目:9/7(木)<br>3回目:12/6(水)<br>14:00~15:30                                  | 熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授<br>宇佐美しおり先生  | 東病棟12階患者多目的室                 | 1回目7人、<br>2回目7人<br>3回目4人                            | 3:00  |
|           | 看護研究基礎研修(5回コース)         | ラダーレベルⅡ-2以上  | 研究の基礎を学び、研究課題を明確にして、研究に取り組むことができる  | ・研究概論<br>・文献クリティーク<br>・文献検索<br>・文献レビュー<br>・文献検索の実際   | 講義<br>演習       | 1回目:6/6(火)<br>2回目:8/1(火)<br>3回目:10/3(火)<br>4回目:12/5(火)<br>5回目:H30/2/6(火)<br>13:00~16:45 | 院内専門急性・重症患者看護専門看護師<br>吉里 孝子<br>がん看護専門看護師<br>岡本 泰子<br>安達 美樹<br>石坂 曉子<br>精神看護専門看護師<br>江田由美子看護師               | 中央診療棟7階カンファレンスルーム、管理棟3階第1会議室 | 1回目:19人<br>2回目:19人<br>3回目:18人<br>4回目:19人<br>5回目:19人 | 18:45 |
|           | フィジカルアセスメント指導者研修(3回コース) | クリニカルラダーⅡ-2以上(3回ともに受講可能な方)約30名(研修受講前e-ラーニングで事例検討自己学習した者) | 1回目:1)フィジカルアセスメントに必要なイグザミネーション技術を向上させ、フィジカルアセスメントを確実に行う<br>2) 指導の根拠を学ぶ<br>2回目:1)心電図の読み方を習得する<br>2) 敗血症とDICを理解する<br>3回目:得られた情報と不足する情報を理解し、フィジカルアセスメントの質を高める | 1回目:意識・呼吸・循環・腹部の診察技法を学ぶ<br>・事例を使用して得られたデータから正常と異常、緊急性を判断する<br>2回目:心電図の講義と演習<br>・敗血症の病態理解とDIC<br>・事例統合<br>3回目:フィジカルイグザミネーションと事例統合 | 講義<br>演習<br>GW | 1回目:6/29(木)<br>2回目:7/31(月)<br>3回目:9/29(金)<br>12:30~16:45                                | 吉里孝子急性・重症患者看護専門看護師<br>田中貞子集中ケア認定看護師<br>上田郁美脳卒中リハビリテーション看護認定看護師<br>村上志穂救急看護認定看護師                            | 中央診療棟7階カンファレンスルーム・演習室        | 1回目:30人<br>2回目:30人<br>3回目:27人                       | 12:45 |
|           | 災害看護                    | クリニカルラダーレベルⅡ-2以上   | ・災害看護の基礎と特殊性について理解する<br>・災害発生時の対応(役割)について理解する<br>・施設見学を通して施設内の災害対応を理解する  | ・災害医療概論<br>・災害看護に必要な基礎的事項<br>・災害発生時の対応(院内災害対策マニュアルの確認)<br>・広域災害での医療支援活動<br>・トリアージ<br>・施設見学                                       | 講義<br>施設見学     | 10/17(火)<br>13:00~16:45   | 救急・総合診療部教授 空岡 俊志医師<br>救急看護認定看護師<br>村上 志穂副看護師長<br>急性・重症患者看護専門看護師<br>吉里 孝子看護師長(エリア別カート説明:中央材料部<br>松田貞恵子看護師長) | 管理棟3階第一会議室                   | 27人   | 3:45  |
|           | メンタルケアトレーニング研修          | クリニカルラダーレベルⅡ-2 30人                                       | メンタルケアトレーニングを通してレジリエンスを高めることができる   | 1) ストレスやメンタルケアに関する基本的な知識<br>2) メンタルケアトレーニング  | 講義<br>GW       | 11/16(木)<br>13:30~16:30   | 熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授<br>宇佐美しおり先生  | 管理棟3階 第一会議室                  | 19人   | 3:00  |

ル  
II  
2  
・  
III

ラ  
ダ  
ー  
レ  
ベ  
ル  
II  
2  
・  
III

ラ  
ダ  
ー  
レ  
ベ  
ル  
II  
2  
・  
III

|                   |                     |   |  |          |   |   |   |  |       |
|-------------------|---------------------|---|--|----------|---|---|---|--|-------|
| PNS研修Ⅱ            | ラダーレベルⅡ-2以上<br>約50名 | PNSの理解を深め、PNSにおいてリーダーシップが発揮できるようになる   | PNSにおける日々のリーダー役割について   | 講義<br>GW | 11/30(木)<br>14:00～17:00   | 福井大学医学部附属病院 総括看護師長<br>PNS担当看護師長<br>上山香代子先生  | 山崎記念館 1階<br>研修ホール                                       | 48人  | 3:00  |
| 現任教育における人材育成と教育技法 | レベルⅡ-2以上<br>19人     | 1)看護実践現場における教育の意義および指導者としての役割を理解する<br>2)チームリーダーとして指導ができる<br>3)効果的な指導・教育技法を学び、実践できる                | ・教育の概念<br>・教育の目的・目標<br>・人材育成<br>・教育技法<br>・評価方法                     | 講義<br>GW | H30.2/16(金)<br>8:30～16:30   | 熊本大学大学院生命科学部<br>宇佐美しおり先生  | 東病棟12階 多目的ホール   | 20人  | 7:15  |
| 家族看護              | レベルⅡ-2以上            | ケアの対象者として家族を捉え家族看護の質向上を図る   | ・家族看護の概念<br>・家族看護理論<br>・家族看護の実践<br>・急性期病院での家族との関わり<br>・在宅に向けての家族看護 | 講義<br>GW | 12/11(月)<br>9:00～16:00  | 高知県立大学 基礎看護学准教授<br>瓜生活子先生   | 管理棟3階第一会議室  | 28人  | 6:00  |
| 看護倫理<br>(3回コース)   | レベルⅡ-2以上<br>23人     | 1. 臨床における倫理的ジレンマに対する問題解決プロセスを理解し、事例を通して深めることができる。<br>2. 倫理的感性を高めることができる                           | ・倫理に関する重要概念の理解<br>・Jonsenの4分割の活用方法についての理解<br>・臨床で体験した倫理的問題に関する事例検討 | 講義<br>GW | 9/5(火)<br>11/7(火)<br>H30/1/30(火)<br>13:00～16:45   | 急性・重症患者看護専門看護師<br>古里 孝子<br>看護専門看護師<br>岡本 恭子<br>安達 美樹<br>石坂 咲子<br>精神看護専門看護師<br>江田由美子 | 管理棟3階第一会議室  | 1回目:23人<br>2回目:22人<br>3回目:22人                                  | 11:15 |
| 事例検討<br>(ロイ看護論)   | ラダーレベルⅢ相当の看護師       | 看護過程に看護理論を活用できる<br>1)ロイの看護理論をもとに看護を展開し事例にまとめることができる<br>2)看護実践における倫理的思考ができる<br>3)ロイの看護理論を自部署に浸透できる | ロイの看護理論を用いた事例検討  | 講義<br>GW | 1回目:10/31(火)<br>2回目:11/24(金)<br>3回目:12/22(金)14:00～16:45   | 聖マリア学院大学教授<br>高純子先生   | 山崎記念館1階<br>研修ホール  | 1回目:7人<br>2回目:6人<br>3回目:7人                                     | 8:15  |
| 事例検討<br>(オレム看護論)  | レベルⅡ-2以上            | 看護過程に看護理論を活用できる<br>1)オレムの看護理論をもとに看護を展開し事例にまとめる<br>2)看護実践における倫理的思考を育てる<br>3)オレムの看護理論を自部署に浸透できる     | ・オレム看護理論について<br>・オレムの看護理論を用いた事例検討                                  | 講義<br>GW | 1回目:10/5(木)<br>13:00～16:45<br>2回目:10/20(金)<br>3回目:11/17(金)<br>4回目:12/18(月)<br>5回目:H30/2/15日(木)<br>14:00～16:45<br>6回目:2/26(月)<br>13:00～16:00 | 熊本大学大学院生命科学部<br>宇佐美しおり先生  | 1回目、2回目、3回目:東病棟12階 多目的ホール<br>4回目:山崎記念館<br>5回目、6回目:第一会議室 | 1回目:18人<br>2回目:16人<br>3回目:17人<br>4回目:18人<br>5回目:17人<br>6回目:17人 | 17:30 |

|       |                   |                                     |   |  |                |  |   |                       |   |       |
|-------|-------------------|-------------------------------------|---|--|----------------|--|---|-----------------------|---|-------|
| 管理研修  | 管理研修Ⅰ 副看護師長管理研修   | 副看護師長                               | ファシリテーション技術を身につけ、チームマネジメント力を高める事ができる  | 1)ファシリテーションスキルについて<br>2)問題解決に向けた話し合いの進め方について<br>3)グループワークの進め方および教育指導について                       | 講義<br>GW<br>発表 | 10/28(土)<br>9:00~16:30   | グローバル・シフト・コミュニケーション 彦田美香子先生             | 奥慶記念ホール               | 60人                                     | 6:30  |
|       | 情報管理看護師長研修        | 看護師長                                | 看護管理者が知っておくべき情報管理が理解でき、実践できる  | ①データ保護やセキュリティ、標準用語の使用について<br>②情報管理と看護師の役割、データマネジメントが及ぼす業務管理について<br>③看護師長が知っておくべき電子カルテの操作機能について | 講義<br>演習       | H30年2/23(金)<br>14:00~16:00   | 情報経営企画部長 医療宇宿功市郎教授<br>看護部 中西裕子看護師長      | 管理棟2階 パソコン研修室         | 38人                                     | 2:00  |
|       | 管理研修Ⅱ 看護師長管理研修    | 看護師長                                | 概念化スキルについて学び、日常の看護管理に活かすことができる  | 1)概念化スキルについて<br>2)コンセプトual思考について   | 講義<br>GW       | H30.2/9(金)<br>12:50~16:50  | 株式会社サフィール 代表取締役 看護管理総合教育研究センター代表 河野秀一先生 | 東病棟12階 多目的ホール         | 32人                                     | 5:00  |
| 指導者研修 | 次世代看護管理者研修        | 新副看護師長                              | 1)社会情勢や当院の経営状況、看護管理に関して現状を把握したうえで、看護管理に役立てることができる<br>2)看護管理者として、副看護師長の役割を理解し組織運営ができる<br>3)看護管理者として、メンタルヘルスについて正しく理解し、自身および他者のメンタルケアができる | 当院の経営状況・労務管理<br>看護管理<br>メンタルケア<br>人材育成   | 講義             | H30/3/15(木)<br>13:30~16:30   | 熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授 宇佐美しおり先生          | 管理棟3階 第一会議室           | 16/1付 副看護師長昇任者2人<br>H30年4/1付 副看護師長昇任者8人 | 3:00  |
|       | 基本的日常生活援助技術指導者研修  | 平成30年度実地指導者(プリセプター)で研修未受講者および新副看護師長 | 基本的日常生活援助技術を根拠に基づいて指導する方法が習得できる   | 日常生活援助技術の詳細シナリオに基づいて演習<br>(臥床患者の排泄・清潔・更衣・体位変換技術)   | 演習<br>体験<br>学習 | H30/3/6(火)<br>8:00~11:45<br>13:00~16:45<br>H30/3/7(水)<br>8:00~11:45<br>13:00~14:50 | 副看護師長<br>教育委員                           | 中央診療棟7階<br>総合臨床研修センター | H30年度実地指導者41人<br>新副看護師長1人<br>副看護師長22人   | 14:00 |
|       | 安全な注射・与薬プロセス指導者研修 | 平成30年度実地指導者(プリセプター)で研修未受講者および新副看護師長 | 安全な注射と薬方法および輸液関連ポンプ使用の指導方法を習得し、根拠に基づいた指導ができる。   | 注射と薬プロセスと輸液ポンプ・シリンジポンプ使用の指導方法に基づいた指導と評価の演習   | 講義<br>演習       | H30/3/6(火)<br>8:00~11:45<br>13:00~16:45<br>H30/3/7(水)<br>8:00~11:45<br>13:00~14:50 | 安全対策委員会                                 | 部署                    | H30年度実地指導者(プリセプター)で研修未受講者41人および副看護師長23人 | 14:00 |

|             |                     |                              |   |  |   |  |   |                            |      |
|-------------|---------------------|------------------------------|---|--|---|--|---|----------------------------|------|
| 部署別         | 看護診断部署別事例検討会        | 毎回指定された部署の看護職員および希望者         | NANDA-I看護診断・NOC・NICリネージを理解し、部署で実践に活用できる   | 看護診断を用いた事例検討   | GW<br>H29/7/24(月)<br>9/25(月)<br>11/27(月)<br>H30/1/22(月)<br>3/26(月)<br>17:15～18:15   | 看護診断WG                                       | 東病棟12階多目的ホール  | 185人                       | 5:00 |
|             | 看護必要度研修             | 全看護職員                        | 重症度、医療・看護必要度とは何かを正しく理解し、適切な評価ができる   | 重症度、医療・看護必要度とは何か事例を通して適正評価を考える   | 講義<br>小テスト<br>8/24(水)<br>8/26(金)<br>8/30(火)<br>8/31(水)<br>9/1(木)<br>17:30～18:30     | 看護部業務委員会<br>業務担当副看護師長<br>会議 重症度、医療・看護必要度グループ | 総合研究棟3階<br>講習室  | 485人                       | 5:00 |
| 対象者別        | セルフマネジメントⅠ研修        | 経年数2～3年目看護師～中堅看護師            | 意欲低下、抑うつ状態の緩和、仕事での充実感や満足感が回復し、自分自身の抑うつの予防や他者への支援ができる  | 離職・うつ予防を目的とした力動的集団精神療法   | 講義<br>10/23(月)<br>15:30～16:30<br>10/24(火)<br>11:00～12:00<br>11/1(水)<br>15:15～16:15  | 熊本大学大学院生命科学研究所 精神看護専門看護師:宇佐美しおり先生            | 10/23-11/1<br>東病棟12階 患者多目的室<br>10/24<br>東病棟12階 セミナー室2 | 1回目:5人<br>2回目:5人<br>3回目:6人 | 3:00 |
|             | セルフマネジメントⅡ研修        | 副看護師長、専門看護師、認定看護師            | 意欲低下、抑うつ状態を緩和し、専門職人または管理者として仕事での充実感や満足感が回復し、自分自身の抑うつの予防や他者への支援ができる  | 仕事での充実感や満足感の回復を目的とした力動的集団精神療法  | 講義<br>12/20(水)<br>16:00～17:00<br>12/21(木)<br>13:30～14:15<br>12/21(木)<br>16:15～17:15 | 熊本大学大学院生命科学研究所 精神看護専門看護師:宇佐美しおり先生            | 東病棟12階 患者多目的室   | 1回目:7人<br>2回目:6人<br>3回目:6人 | 2:45 |
| 対象者別        | 看護補助者研修「業務の基盤となるもの」 | 看護助手・管執勤看護補助者                | 1)看護補助者が医療制度の概要および病棟の組織を理解できる<br>2)看護補助者が医療チームの一員として、看護補助者の役割を自覚し重要な役割を分担していることを認識できる<br>3)業務実施に必要な安全配慮を理解できる | 医療制度の概要及び病棟の機能と組織について、医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務について、看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術について、日常生活にかかわる業務について、守秘義務・個人情報保護について、看護補助業務における医療安全と感染防止等について | 講義<br>11/28(火)<br>15:00～15:30   | 浅尾由美業務担当副看護部長                                | 東病棟12階 多目的ホール   | 22人                        | 0:30 |
| 講演会・発表会・報告会 | 講演会Ⅰ<br>看護部長講話      | 看護部職員<br>*平成29年度新規採用感越しは必須参加 | 看護部の理念・目標を共通理解し、目標に向かって行動できる  | 看護部の理念、方針、平成29年度の目標、教育方針   | 講演<br>4/7(木)<br>17:30～18:40   | 本尚美看護部長                                      | 医学部図書棟3階第一講義室、総合研究棟3階講習室                              | 看護部職員<br>308人(新規採用者54人)    | 1:10 |

|             |                       |                                     |  |   |     |                            |   |                   |      |      |
|-------------|-----------------------|-------------------------------------|--|---|-----|----------------------------|---|-------------------|------|------|
| 講演会・発表会・報告会 | 業務改善報告会               | 看護部職員                               |  | 部署の業務改善実践報告<br>1)「リーダー役割実践のための取り組み」<br>2)「退院支援マニュアル作成による病棟看護師とケアマネージャーの連携状況の変化」<br>3)「血管外漏出の発生防止の取り組みとその後の効果」<br>4)「看護補助者の業務拡大への取り組み」   | 発表会 | 11/7(火)<br>17:30～18:30     |   | 東病棟12階 多目的ホール     | 102人 | 1:00 |
|             | 講演会Ⅱ<br>地域医療連携<br>講演会 | 平成29年度退<br>院支援研修<br>研修生 必須<br>全看護職員 | 医療機関と地域との連<br>携における病院看護<br>師の役割を理解する   | 1)大学病院と地域との<br>連携<br>2)ケアマネージャーの<br>活動内容を通して、病<br>院看護師の役割を理解<br>する  | 講演  | 11/20(月)<br>17:30～19:00    | 株式会社ファーマダ<br>イフ 介護サービス居<br>宅介護支援事業所<br>管理者 介護支援<br>専門員<br>益永 佳子先生 | 東病棟12階多目<br>的ホール  | 86人  | 1:30 |
| 講演会・発表会・報告会 | 講演会Ⅲ<br>PNS講演会        | 看護部職員                               | 福井大学医学部附属<br>病院でのパートナー<br>シップ・ナーシング・シ<br>ステム(PNS)の成果に<br>ついて学び、実践へ<br>つなげることができる | 福井大学医学部附属病<br>院におけるPNSの成果<br>について<br>PNSの進化に必要なこと   | 講演  | 11/30(木)<br>17:30～19:00    | 福井大学医学部附属<br>病院<br>総括看護師長 PNS<br>担当看護師長<br>上山香代子先生                | 熊本市医師会館<br>研修大ホール | 127人 | 1:30 |
|             | 看護研究研修<br>報告会         | 看護部職員                               | 発表活動を通し、研究<br>能力を高め、相互啓<br>発を図る  | 1)オレム看護理論を日<br>常の看護で活かすこと<br>で見てきたもの<br>ーオレムのテンプレート<br>を活用したカンファレン<br>スによる看護師の認識<br>変化ー<br>2)慢性心不全患者のセ<br>ルフモニタリング支援に<br>おける有効な看護介入<br>の検討<br>3)災害時のICU看護師<br>の意識とその要因～熊<br>本地震を経験して～ | 発表会 | H30/2/28(水)<br>17:30～18:30 | 熊本大学大学院生命<br>科学研究部教授<br>宇佐美しおり先生                                  | 医学教育図書棟<br>3講義室   | 89人  | 1:00 |

|             |       |            |  |  |               |  |                                   |              |   |      |
|-------------|-------|------------|--|--|---------------|--|-----------------------------------|--------------|---|------|
| 講演会・発表会・報告会 | 活動報告会 | 看護部職員      | 他部署及び各委員会での取り組みを参考に自部署に応用できる                       | 各部署および委員会の活動報告<br>1) 地域・外来における日本エイズ学会認定HIV感染症看護師の活動<br>2) LTFU外来における看護師の役割と他職種との連携<br>3) 退院前訪問(中学校・自宅)を実施して～人工呼吸器・吸引・酸素吸入が必要な患児の退院支援～<br>4) 「CDEJ会の活動・療養支援への取り組み」日本糖尿病療養指導士会(CDEJ会)<br>5) 東病棟2階で取り組む転倒転落予防について<br>6) 東病棟10階におけるPNSの取り組み～福井大学医学部附属病院PNS研修に参加して～<br>7) カンファレンスの充実に向けた取り組みカンファレンス充実支援グループ | 活動報告          | H30年2月20日(火)<br>17:30～18:30  | 教育委員会                             | 東病棟12階多目的ホール | 105人  | 1:00 |
|             | 研修報告会 | 看護部職員      | 看護部職員公費研修に参加して得た知識・技術を伝達講習により他の看護職員へ還元し、看護の質の向上を図る | 1) 急性期病院で治療を受ける高齢者への効果的な看護ケア<br>2) アドヒアランスを高める高齢者の安全な薬物療法と看護<br>3) 高齢がん患者の治療に伴う倫理的課題と意思決定を支えるケア<br>4) 平成29年度 がん看護専門分野指導者コース<br>がん患者の退院支援・在宅療養支援コース   | 報告(プレゼンテーション) | H30/3/13(木)<br>13:00～16:30   | 平成29年度公費研修受講者                     | 東病棟12階多目的ホール | 71人   | 1:00 |
| 自主研修        | 精神看護  | 全看護職員      | 1年間で各部署1例以上事例提供ができ、問題解決できる                         | 部署からの事例  | GW            | 平成29年<br>1回目:7月20日(木)<br>2回目:10月4日(木)<br>3回目:12月6日(木)<br>4回目:H30年2月15日(木)<br>18:00～19:00     | 熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授<br>宇佐美しおり先生 | 管理棟3階 第一会議室  | 1回目:23人<br>2回目:24人<br>3回目:21人<br>4回目:19人<br>延べ87人 | 4:00 |
|             | 看護倫理  | 看護部長・副看護部長 | 看護における倫理的視点の力量を高め、スタッフおよび患者の相談に対応できる               | 事例検討   | GW            | 平成29年<br>1回目:9月21日(木)<br>2回目:11月16日(木)<br>H30年<br>3回目:1月10日(木)<br>4回目:3月7日(木)<br>18:00～19:00 | 熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授<br>宇佐美しおり先生 | 管理棟3階 第一会議室  | 1回目:27人<br>2回目:23人<br>3回目:24人<br>4回目:25人<br>延べ99人 | 4:00 |

|             |   |   |  |  |                     |   |   |                              |                                    |      |
|-------------|---|---|--|--|---------------------|---|---|------------------------------|------------------------------------|------|
|             | 退院支援は、人生の再構築を支援すること～患者さんが望む栄養療法を叶えるために～ | 看護部職員                                     | 退院支援として患者の栄養について考えることができる  | 栄養療法を考えた療養支援について   | DVD上映による講演          | 1回目:5/10(水)<br>2回目:5/11(木)<br>17:15～18:00 | 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮オフィス 代表<br>京都大学医学部人間健康科学学科非常勤講師<br>聖路加国際医療大学 臨床教授<br>宇都宮 宏子 先生 | 管理棟3階 第一会議室                  | 1回目: 院内78人、院外7人<br>2回目: 院内83人、院外8人 | 1:30 |
| 認定看護師主催自主研修 | 不妊症看護～ART(高度生殖補助医療)を受ける患者への援助～          | 院内看護師                                     | ARTを受ける患者の背景、心理を理解し、治療内容について理解することができる   | 1)講義<br>(1)ARTについて<br>①体外受精、顕微受精-胚移植 治療内容・卵巣刺激方法、採卵、胚移植、胚凍結について<br>・当院におけるプロトコール<br>②ARTの成績、期待される結果、副作用、料金の補助について<br>(2)不妊症看護・症例紹介<br>(3)がん患者の妊孕性温存(生殖医療がん連携センターについて)<br>2)デモンストレーション 実際、体外受精を説明する場面を想定しデモスト施行<br>3)採卵室・培養室見学(受精卵の観察、卵の管理方法について学ぶ) | 講義、デモンストレーション、採卵室見学 | 8/1(火)<br>8/8(火)<br>17:30～19:00           | 不妊症看護認定看護師<br>本田万里子   | 東病棟12階多目的ホール                 | 1回目23人<br>2回目24人                   | 3:00 |
|             | 根拠に基づいた新生児集中ケア                          | 新生児の看護に興味のあるラダーII-1以上の看護職者                | 新生児感染症の病態と治療の知識を深めることができる、フィジカルアセスメント能力の向上を図ることができる                                | 1)新生児感染症の病態と症状アセスメント<br>2)抗生剤や循環管理の治療について3)事例を用いたフィジカルアセスメント   | 講義<br>演習            | 10/6(金)<br>17:30～19:00                    | 新生児集中ケア認定看護師 斉藤祐子   | 東病棟12階セミナー室                  | 4人                                 | 1:30 |
|             | ストーマケア                                  | 当院のストーマケア研修を受講した者で、現在ストーマケアに関わる事がある部署の看護師 | 通常のケアでは対応が難しい患者のストーマケアのポイントがわかる  | 1)装具の種類、面板・皮膚保護成分の違いと特徴<br>2)トラブル発生時のアセスメントとその対応(漏れが続く時、びらんがひどい時、装具が貼れない時)   | 講義<br>演習            | 3/16(金)<br>17:30～19:00                    | 皮膚・排泄ケア認定看護師<br>増田未歌  | 西病棟3階カンファレンスルーム、東病棟12階多目的ホール | 6人                                 | 1:30 |
| 認定看護師主催自主研修 | 急性期からの安全な離床に向けた全身管理と廃用予防ケア              | ラダーIまたはII看護師                              | 1)安静臥床や寝たきりに伴う廃用症候群について理解することができる<br>2)急性期から始める廃用症候群予防のための根拠とケアを学び、日々の看護に活かすことができる | 1. 安全な離床に向けた、呼吸/循環/認知/筋骨格系/排泄/皮膚の管理<br>2. 急性期からの廃用症候群予防ケアについて<br>3. ポジショニング・呼吸ケアの実技演習  | 講義<br>実技演習          | H30/3/20<br>17:00～18:45                   | 集中ケア認定看護師<br>田中貴子<br>脳卒中リハビリテーション看護認定看護師<br>上田郁美                              | 中央診療棟7階演習室                   | 13人                                | 1:45 |

|                  |                              |  |  |  |  |   |  |  |                    |      |
|------------------|------------------------------|--|--|--|--|---|--|--|--------------------|------|
|                  | せん妄ケア                        | ラダーⅡ以上の看護師   | ①せん妄の正しい基礎知識と治療について学び患者ケアに活かす。<br>②せん妄のリスクアセスメント、予防ケア、発症後ケアを理解し実践に活かす  | ①せん妄の病態と治療<br>②せん妄のリスクアセスメントと予防・発症後ケア  | 講義                                     | H30/3/15(木)<br>17:30~19:00  | 熊本大学病院神経精神科<br>菅原医師<br>精神看護専門看護師<br>江田由美子<br>救急看護認定看護師<br>村上志穂<br>急性・重症患者看護専門看護師<br>吉里孝子   | 管理棟 第一会議室  | 21人                | 1:30 |
| 認定看護師主催自主研修      | 糖尿病看護                        | ラダーⅡ-1以上で糖尿病看護に関心のある方                                | 1)糖尿病患者のセルフケア行動に影響する心理・社会的要因について学ぶ。<br>2)糖尿病患者の行動変化を促進するための援助やコミュニケーションについて理解できる。  | 1)12月5日 患者さんがセルフケアできない背景を考える<br>2)12月12日 患者さんのやる気を引き出すコミュニケーション4に<br>3)12月19日 血糖値の動きを患者さんの支援に活用する方法は?グループワーク   | 講義<br>GW                               | 平成29年<br>12/5(火)<br>12/12(火)<br>12/19(火)<br>17:30~18:30   | 糖尿病看護認定看護師<br>藤本美枝   | 東病棟12階多目的ホール   | 4人                 | 3:00 |
| I<br>V<br>研<br>修 | IVナース研修<br>(静脈注射に必要な知識と筆記試験) | クリニカルラダーレベルⅡ-1以上もしくはレベルⅠ以上の看護師およびパート職員で参加者要件を満たした看護師 | 静脈注射に必要な知識を習得し、実践に活用する<br>本院の静脈注射実施基準と法的責任を理解し倫理的側面を考慮した行動ができる<br>静脈注射に必要な解剖・生理を理解できる<br>静脈注射に必要な薬理を理解できる<br>静脈注射に必要な感染管理の知識を習得し、実践に活用できる<br>静脈注射に必要な安全に関する知識を習得し実践に活用できる<br>緊急時に適切な対処ができる | 本院における看護師・助産師の静脈注射実施基準<br>静脈注射に必要な解剖・生理<br>静脈注射に必要な薬理<br>静脈注射に必要なリスクマネジメント:感染管理<br>静脈注射に必要なリスクマネジメント:安全管理<br>静脈注射に必要な緊急時の看護<br>安全な静脈留置針挿入<br>筆記試験(30分) | DVD<br>視聴、筆記試験<br>筆記試験合格者のみ部署にて技術評価    | 第1回目<br>6/30(金)<br>第2回目<br>平成30年1/31(水)<br>12:00~16:45  | 熊本大学大学院生命科学研究部先端生命医療科学部門医療技術科学講座<br>構造機能解析学分野<br>野教授<br>大林光念先生<br>看護部業務委員会<br>徳永美紀看護師長<br>救急看護認定看護師<br>村上志穂副看護師長<br>感染管理認定看護師<br>藤本陽子副看護師長<br>医療の質・安全管理部 GRM田口由美子看護師長<br>薬剤部<br>叶明子薬剤師 | 東病棟12階多目的ホール   | 第1回目32人<br>第2回目32人 | 9:25 |
| I<br>V           | IVナースインストラクター研修              | クリニカルラダーレベルⅡ以上の看護師                                   | 看護師・助産師が本院の実施基準に沿って静脈注射を実施できる<br>注射と薬プロセスのマニュアル(第7版)指導者用に沿って実践、指導できる   | 筆記試験<br>技術評価・口頭試験<br>(筆記試験合格者のみ)   | 筆記試験<br>80分<br>実技評価1回目:45分<br>2回目:180分 | 1回目<br>平成29年9/27(水) 筆記試験:8:20~9:40<br>平成29年9/27日(水) 実技試験:14時~15時<br>2回目<br>平成30年1/18(木) 筆記試験:8:20~9:40<br>平成30年1/19(金) 実技試験:13:00~16:00 | 業務委員会  | 筆記試験会場:<br>東病棟12階多目的ホール<br>実技試験会場:<br>東病棟12階セミナー室2、看護部多目的室 | 1回目:30人<br>2回目:41人 | 6:25 |



|      |                   |                     |  |   |  |   |   |  |                       |
|------|-------------------|---------------------|--|---|--|---|---|--|-----------------------|
| 研修   | IVナースインストラクター研修   | クリニカルラダーレベルII以上の看護師 | 看護師・助産師が本院の実施基準に沿って静脈注射を実施できるように指導できる<br>注射与薬プロセスのマニュアル(第7版)指導者用に沿って実践、指導できる | 筆記試験<br>技術評価・口頭試問<br>(筆記試験合格者のみ)  | 筆記試験<br>80分<br>実技評価1回目:<br>45分<br>2回目:<br>180分<br><br>1回目<br>平成29年9/27<br>(水) 筆記試験:<br>8:20~9:40<br>平成29年9/27<br>(水) 実技試験:<br>14:00~15:00<br><br>2回目<br>平成30年1/18<br>(木) 筆記試験:<br>8:20~9:40<br>平成30年1/19<br>(金) 実技試験:<br>13:00~16:00 | 業務委員会   | 第1回:管理棟3階第一会議室(筆記・実技)<br>第2回:西病棟3階カンファレンスルーム(筆記)、管理棟3階第一会議室(実技) | 1回目:筆記試験28人<br>実技試験のみ2人<br>2回目:筆記試験33人 | 1:15(24人)<br>2:30(8人) |
| IV研修 | IVナースインストラクター継続教育 | IVナースインストラクター資格取得者  | IVナースインストラクター役割を遂行する能力を向上させる   | 熊本大学医学部附属病院における看護師・助産師の静脈注射実施基準について<br>・IVナースインストラクター役割について<br>・静脈注射を実施する場合の安全確保について<br>・CVポート針抜去及び指導方法について<br>・IVナースインストラクター活動報告について | 講義<br>演習<br><br>平成30年1月28日(水)<br>15時00分~17時00分   | 浅尾 由美業務担当副看護部長<br>吉里 孝子ケアサポート室看護師長<br>岡本 泰子緩和ケアセンター看護師長 | 東病棟12階セミナー室2  | 26人                                    | 2:00                  |

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

| 研修名                          | 期間             | 実施回数 | 参加人員 | 備考           |
|------------------------------|----------------|------|------|--------------|
| 新規採用者<br>オリエンテーション           | 平成29年4月        | 1    | 3    |              |
| 新規採用者<br>オリエンテーション           | 平成29年6月        | 1    | 2    | 育休代替技師       |
| ISO15189に関する研修会              | 平成29年6月21日     | 1    | 52   |              |
| ISO15189に関する研修会(システム)        | 平成29年8月31日     | 1    | 19   |              |
| ISO内部監査員養成セミナー               | 平成30年2月10日     | 1    | 7    |              |
| 時間外緊急検査に関する研修(血液)            | 平成29年4月20日     | 1    | 20   |              |
| 時間外緊急検査に関する定期研修(血液、輸血)       | 平成29年8月24日     | 1    | 33   |              |
| 時間外緊急検査に関する定期研修(生化学・免疫・凝固検査) | 平成30年1月31日     | 1    | 18   |              |
| 時間外緊急検査に関する研修(輸血)            | 平成30年3月29日、30日 | 2    | 27   |              |
| 外部精度管理調査報告会                  | 平成29年5月26日     | 1    | 20   |              |
| 臨床検査セミナー(検査全般)               | 平成29年5月30日     | 1    | 46   | 看護師対象        |
| 出張臨床検査セミナー(検体、微生物)           | 平成30年2月27日     | 1    | 9    | 西病棟10階 看護師対象 |
| 危機管理訓練                       | 平成30年2月22日     | 1    | 36   | 火災発生による避難訓練  |

【中央検査部】

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

| 【ME機器センター】      |               |      |      |                                 |  |
|-----------------|---------------|------|------|---------------------------------|--|
| 研 修 名           | 期 間           | 実施回数 | 参加人員 | 備 考                             |  |
| ペースメーカー         | 平成29年11月2日(木) | 1回   | 45名  | 看護師 29名<br>医療技術職員 16名           |  |
| 高気圧酸素療法         | 平成30年3月15日(木) | 1回   | 39名  | 看護師 23名<br>医療技術職員 13名<br>その他 3名 |  |
| “心電図モニターに関すること” | 平成29年9月5日(水)  | 1回   | 25名  | 医療技術職員 25名                      |  |

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【中央放射線部】

| 研修名            | 期間            | 実施回数 | 参加人員                | 備考            |
|----------------|---------------|------|---------------------|---------------|
| 救急医療に関する研修(講義) | 平成29年7月13日(木) | 1回   | 19名                 | 講師:救急部 田中医師   |
| 救急医療に関する研修(実技) | 平成29年9月22日(金) | 1回   | 放射線技師:10名<br>看護師:8名 | CT急変時シミュレーション |
| 救急医療に関する研修(実技) | 平成30年2月19日(月) | 1回   | 17名                 | MR急変時シミュレーション |

(様式第 8)

熊大病医事第 165 号  
平成 30 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人熊本大学長  
原田 信

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

管理者：平成 29 年度第 2 回特定機能病院管理者研修（H29. 12. 25、26）受講済  
平成 30 年度第 3 回特定機能病院管理者研修（H31. 1. 21、22）受講予定  
医療安全管理責任者：平成 29 年度第 4 回特定機能病院管理者研修（H30. 2. 21、22）受講済  
平成 30 年度第 2 回特定機能病院管理者研修（H30. 12. 2）受講予定  
医薬品安全管理責任者：平成 29 年度第 2 回特定機能病院管理者研修（H29. 12. 25、26）受講済  
平成 30 年度第 4 回特定機能病院管理者研修（H31. 2. 6）受講予定  
医療機器安全管理責任者：平成 29 年度第 5 回特定機能病院管理者研修（H30. 3. 13、14）受講済  
平成 30 年度第 2 回特定機能病院管理者研修（H30. 12. 2）受講予定  
いずれも公益財団法人 日本医療機能評価機構主催

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（3）名、兼任（18）名  
うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（9）名  
うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名  
うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（4）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

2020 年（平成 32 年）4 月までに専従医師 1 名を配置予定